

平成 25 年

兵庫県感染症発生動向調査事業

年 報

兵庫県立健康生活科学研究所

健康科学研究センター

(兵庫県感染症情報センター)

はじめに

風しんは、平成 24 年に年間患者数が 281 名と流行しましたが、平成 25 年はこの 4 倍以上の 1,174 名を記録し、全数把握対象疾病となった平成 20 年以降で最大の流行となりました。この年は、兵庫県では先天性風しん症候群の報告はありませんでしたが、全国的には増加し社会的問題となりました。

また、平成 25 年 1 月に海外渡航歴のない患者が日本で初めて確認された重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、兵庫県でも 8 月に初めて患者が発生し、同様の症状で 5 月下旬に死亡した方の保存血清からも SFTS 感染が確認されたため、患者数は 2 名となりました。

兵庫県における感染症の患者発生に関する調査は、昭和 52 年から県独自の監視体制を発足させて以来、約 37 年にわたる歴史があります。この調査は、兵庫県医師会、郡市医師会、定点医療機関をはじめとする関係機関各位のひとかたならぬご理解とご尽力で成り立っております。

今後もの確な感染症対策のための適切な情報提供を迅速に行えるよう、より一層努力してまいりますので、関係各機関の皆様方には引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

ここに平成 25 年の事業年報をとりまとめました。本書が感染症対策の資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

平成 27 年 2 月

兵庫県立健康生活科学研究所
健康科学研究センター
所長 前田 盛

平成 25 年報告週対応表

報告週	期 間	報告週	期 間
1	12月31日～平成25年1月6日	27	7月1日～7日
2	1月7日～13日	28	7月8日～14日
3	1月14日～20日	29	7月15日～21日
4	1月21日～27日	30	7月22日～28日
5	1月28日～2月3日	31	7月29日～8月4日
6	2月4日～10日	32	8月5日～11日
7	2月11日～17日	33	8月12日～18日
8	2月18日～24日	34	8月19日～25日
9	2月25日～3月3日	35	8月26日～9月1日
10	3月4日～10日	36	9月2日～8日
11	3月11日～17日	37	9月9日～15日
12	3月18日～24日	38	9月16日～22日
13	3月25日～31日	39	9月23日～29日
14	4月1日～7日	40	9月30日～10月6日
15	4月8日～14日	41	10月7日～13日
16	4月15日～21日	42	10月14日～20日
17	4月22日～28日	43	10月21日～27日
18	4月29日～5月5日	44	10月28日～11月3日
19	5月6日～12日	45	11月4日～10日
20	5月13日～19日	46	11月11日～17日
21	5月20日～26日	47	11月18日～24日
22	5月27日～6月2日	48	11月25日～12月1日
23	6月3日～9日	49	12月2日～8日
24	6月10日～16日	50	12月9日～15日
25	6月17日～23日	51	12月16日～22日
26	6月24日～30日	52	12月23日～29日

目 次

1. 事業の概要

- 1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム 1
- 1. 2 地域の区分と地域別定点数 4

2. 患者発生状況

- 2. 1 概要 6
- 2. 2 腸管出血性大腸菌感染症、風しん及び各定点把握対象疾病の動向 7
 - (1) 腸管出血性大腸菌感染症 8
 - (2) 風しん 9
 - (3) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く） .. 10
 - (4) RS ウイルス感染症 11
 - (5) 咽頭結膜熱 12
 - (6) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 13
 - (7) 感染性胃腸炎 14
 - (8) 水痘 15
 - (9) 手足口病 16
 - (10) 伝染性紅斑 17
 - (11) 突発性発しん 18
 - (12) 百日咳 19
 - (13) ヘルパンギーナ 20
 - (14) 流行性耳下腺炎 21
 - (15) 急性出血性結膜炎 22
 - (16) 流行性角結膜炎 23
 - (17) 細菌性髄膜炎
（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く） .. 24
 - (18) 無菌性髄膜炎 25
 - (19) マイコプラズマ肺炎 26
 - (20) クラミジア肺炎（オウム病を除く） 27
 - (21) 性器クラミジア感染症 28
 - (22) 性器ヘルペスウイルス感染症 30
 - (23) 尖圭コンジローマ 32
 - (24) 淋菌感染症 34
 - (25) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 36
 - (26) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 37
 - (27) 薬剤耐性緑膿菌感染症 38

3. 病原微生物検出状況

(1) 細菌による食中毒（疑）事例	39
(2) その他の細菌検査	39
(3) クドア（ヒラメ寄生虫）の検査	39
(4) 腸管出血性大腸菌感染症事例	40
(5) 結核 QFT 検査	41
(6) インフルエンザ流行予測調査検査成績	46
(7) 日本脳炎流行予測調査結果	46
(8) 肝炎ウイルス検査結果	46
(9) リケッチア等の検査	47
(10) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス等検出結果	47
(11) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数	48

4. 資料

(1) 全数把握対象疾病の患者数	53
(2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数	56
(3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数	59
(4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数	62
(5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数	64

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

1. 事業の概要

1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム

図1に患者情報に関する兵庫県感染症発生動向調査システムを示す。コンピュータ・オンライン・システムは、結核およびその他の感染症の患者情報を迅速に収集、解析、還元することにより、適切な予防措置を講じ、流行を未然に防止することを目的として、昭和62年に結核・感染症サーベイランスシステムとして導入された。平成4年以降は厚生行政総合情報システム（WISH）上での運用となり、平成10年に対象疾病の若干の増加と一部疾病名の変更および患者の年齢階級区分の変更が行われた。同時にシステムの名称も兵庫県結核・感染症発生動向調査システムと改められた。

平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」が施行された。これに伴い、当研究センター内に基幹地方感染症情報センターが設置され、政令市を含む兵庫県全域の感染症情報の集計・解析・情報還元の中核を担うこととなった。

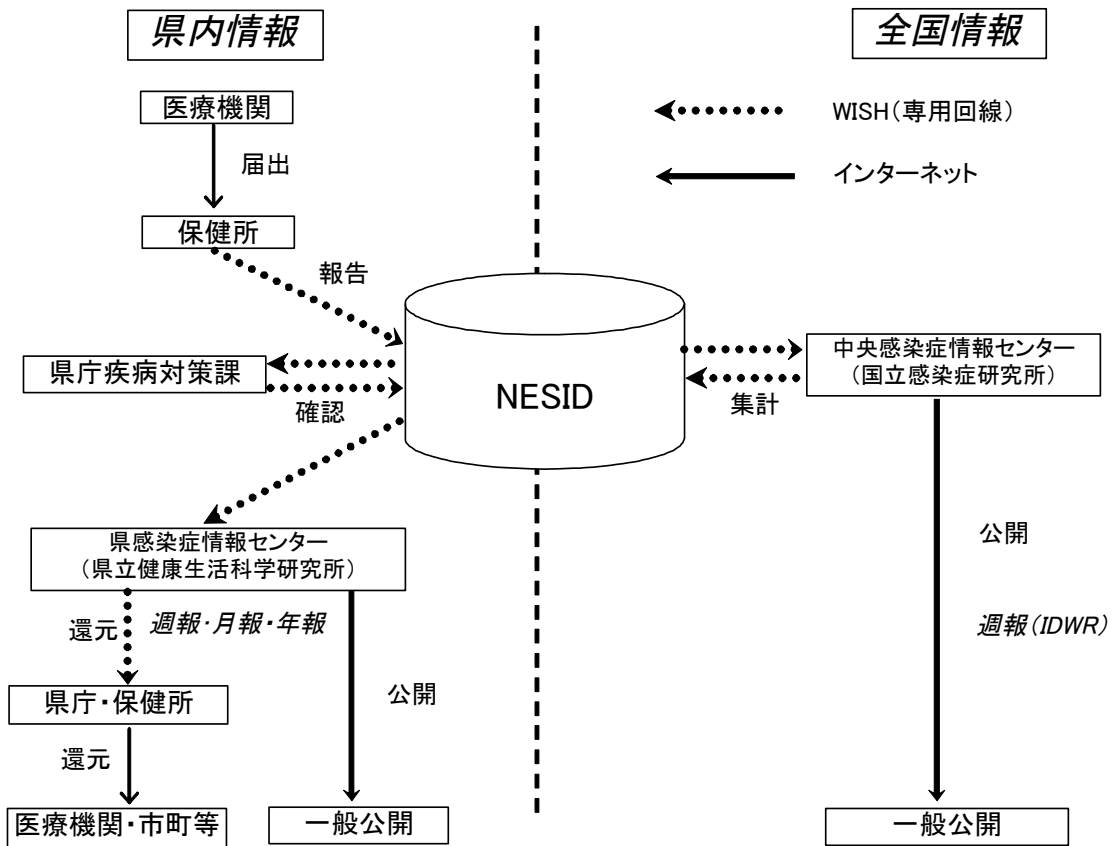
なお、この時点では結核は感染症法には一元化されず、従来の結核予防法の対象疾病のままとされたため、感染症発生動向調査の対象疾病とはならなかった。平成15年11月5日、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律」が施行されるに伴い感染症発生動向調査も変更点があった。

平成18年4月からは感染症発生動向調査システムが全面的に新しくなった。従来は全国の保健所、都道府県及び政令市、国の各レベルにおいて情報を集積し、それらを取り扱うためのデータベースプログラムを全ての保健所に至るまで所有していたが、新システム（NESID）では情報は全て国レベルで一元管理され、ブラウザで情報を取り扱う方式となった。ネットワークは従来どおりWISHを用い、インターネットからは隔離されたクローズドなイントラネットとなっている。回線は国と全国の地方自治体を相互接続した広域ネットワークであるLGWAN（総合行政ネットワーク）を用いている。新システムにより、情報伝達の迅速化、セキュリティ向上、対象疾病等に変更があった場合の迅速対応（全国にプログラムを配布し、インストールする必要がないため）が図られた。

平成19年4月には感染症法の改正があり、発生動向調査対象疾病の類型分けの変更や結核予防法の統合等の変更があった。感染症法の改正がその後も行われた結果、平成25年12月31日現在の対象疾病は疑似症を含めて109疾病（表1、表2）となっている。

当感染症情報センターでは、表1、表2に示す感染症発生動向調査システムの対象疾病である1類～5類感染症、新型インフルエンザ等及び指定感染症の合計107疾病（疑似症を除く）のうち、全数把握対象疾病（81疾病）については県内すべての医療機関からの患者発生届出を、定点把握対象疾病（26疾病）については県内に指定された医療機関（全294定点）からの報告を、保健所を通じて集計・解析し、感染症の動向に関するコメント・グラフを付し週報、月報及び年報として保健所、市町、医師会、医療機関等に還元するとともに、ホームページを通じて広く県民に公開している。

図1 兵庫県感染症発生動向調査システム



NESID : National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases 厚生労働省感染症サーベイランスシステム

表1 全数把握の対象疾病（81疾病）

	対 象 疾 病
1 類感染症（7疾病）	(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱
2 類感染症（5疾病）	(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群* A 、(12)鳥インフルエンザ(H5N1)
3 類感染症（5疾病）	(13)コレラ、(14)細菌性赤痢、(15)腸管出血性大腸菌感染症、(16)腸チフス、(17)パラチフス
4 類感染症（43疾病）	(18)E型肝炎、(19)ウエストナイル熱* B 、(20)A型肝炎、(21)エキノコックス症、(22)黄熱、(23)オウム病、(24)オムスク出血熱、(25)回帰熱、(26)キャサヌル森林病、(27)Q熱、(28)狂犬病、(29)コクシジオイデス症、(30)サル痘、(31)重症熱性血小板減少症候群* C * 1 、(32)腎症候性出血熱、(33)西部ウマ脳炎、(34)ダニ媒介脳炎、(35)炭疽、(36)チクングニア熱、(37)つつが虫病、(38)デング熱、(39)東部ウマ脳炎、(40)鳥インフルエンザ* D 、(41)ニパウイルス感染症、(42)日本紅斑熱、(43)日本脳炎、(44)ハンタウイルス肺症候群、(45)Bウイルス病、(46)鼻疽、(47)ブルセラ症、(48)ベネズエラウマ脳炎、(49)ヘンドラウイルス感染症、(50)発しんチフス、(51)ボツリヌス症、(52)マラリア、(53)野兎病、(54)ライム病、(55)リッサウイルス感染症、(56)リフトバレー熱、(57)類鼻疽、(58)レジオネラ症、(59)レプトスピラ症、(60)ロッキー山紅斑熱
5 類感染症（18疾病）	(61)アメーバ赤痢、(62)ウイルス性肝炎* E 、(63)急性脳炎* F 、(64)クリプトスポリジウム症、(65)クロイツフェルト・ヤコブ病、(66)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(67)後天性免疫不全症候群、(68)ジアルジア症、(69)侵襲性インフルエンザ菌感染症* 2 、(70)侵襲性髄膜炎菌感染症* 2 、(71)侵襲性肺炎球菌感染症* 2 、(72)先天性風しん症候群、(73)梅毒、(74)破傷風、(75)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(76)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(77)風しん、(78)麻しん
新型インフルエンザ等感染症（2疾病）	(105)新型インフルエンザ、(106)再興型インフルエンザ
指定感染症	(107)鳥インフルエンザ(H7N9)* 3

A** 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。B** ウエストナイル脳炎を含む。***C** 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。***D** H5N1及びH7N9を除く。***E** E型肝炎及びA型肝炎を除く。***F** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

1** 平成25年3月4日より追加。2** 平成25年4月1日より追加。***3** 平成25年5月6日より追加。

表2 定点把握対象疾病（5類感染症・26疾病および疑似症）

患者定点	対 象 疾 病
小児科定点（週報） 129定点、11疾病	(79)RSウイルス感染症、(80)咽頭結膜熱、(81)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(82)感染性胃腸炎、(83)水痘、(84)手足口病、(85)伝染性紅斑、(86)突発性発しん、(87)百日咳、(88)ヘルパンギーナ、(89)流行性耳下腺炎
インフルエンザ定点（週報） 199定点、1疾病	(90)インフルエンザ* G
眼科定点（週報） 35定点、2疾病	(91)急性出血性結膜炎、(92)流行性角結膜炎
STD定点（月報） 46定点、4疾病	(93)性器クラミジア感染症、(94)性器ヘルペスウイルス感染症、(95)尖圭コンジローマ、(96)淋菌感染症
基幹定点（週報） 14定点、6疾病	(90)インフルエンザ* G ※ただし、入院患者に限定する。 (82)のうち病原体がロタウイルスであるもの* 4 、(97)クラミジア肺炎* H 、(98)細菌性髄膜炎* I 、(100)マイコプラズマ肺炎、(101)無菌性髄膜炎
基幹定点（月報） 14定点、4疾病	(99)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(102)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(103)薬剤耐性アシネトバクター感染症、(104)薬剤耐性緑膿菌感染症
疑似症* 5 299定点	法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (108)摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）、(109)発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該感染症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。）

G** 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。H** オウム病を除く。***I** インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

4** 平成25年10月14日より追加。5** 症候群サーベイランスシステムで実施。

1. 2 地域の区分と地域別定点数

図2に、二次医療圏を単位とする地域の区分を示す。表3に、5類感染症の地域別定点数と人口の関係を示す。平成25年の定点医療機関は本誌の65～70ページに示している。

平成25年の定点数は、インフルエンザ199定点、小児科129定点、眼科35定点、STD46定点、基幹14定点である。

図2 地域の区分

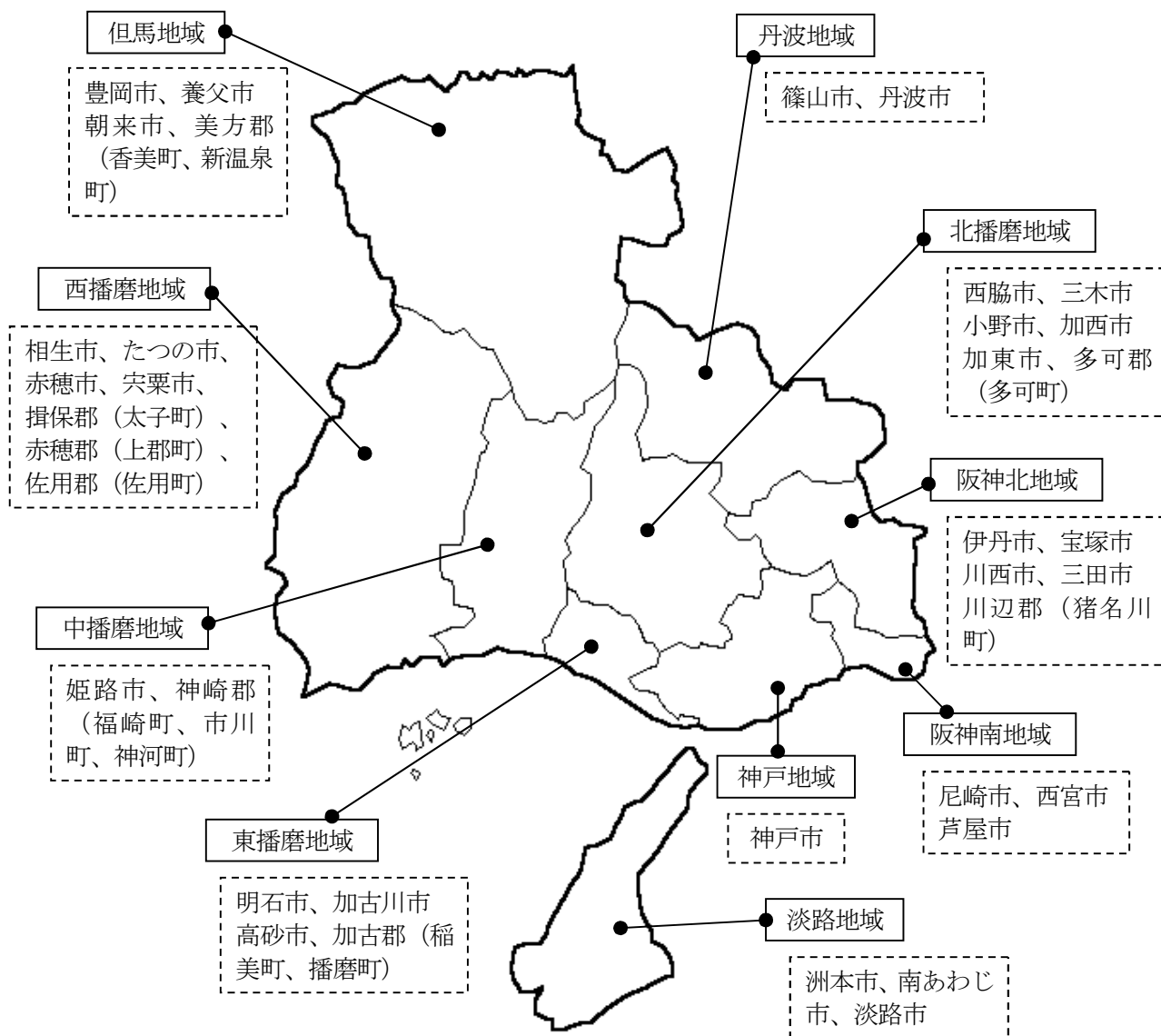


表3 地域別定点数と人口の関係

区 分	人 口 (万人)	人口比 (%)	インフルエンザ ^a 定点		小児科定点		眼科定点		STD定点		基幹定点	
			定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)
神戸地域	154.1	27.7	48	3.2	31	5.0	10	15.4	12	12.8	3	51.4
阪神南地域	103.0	18.5	32	3.2	21	4.9	7	14.7	8	12.9	2	51.5
阪神北地域	72.7	13.1	21	3.5	14	5.2	4	18.2	5	14.5		
東播磨地域	71.6	12.9	25	2.9	16	4.5	5	14.3	6	11.9	1	71.6
北播磨地域	27.9	5.0	13	2.1	8	3.5	2	13.9	3	9.3	1	27.9
中播磨地域	58.0	10.4	21	2.8	14	4.1	4	14.5	5	11.6	1	58.0
西播磨地域	26.6	4.8	14	1.9	9	3.0	1	26.6	2	13.3	2	13.3
但馬地域	17.4	3.1	11	1.6	7	2.5	1	17.4	2	8.7	2	8.7
丹波地域	10.8	1.9	6	1.8	4	2.7			1	10.8	1	10.8
淡路地域	13.9	2.5	8	1.7	5	2.8	1	13.9	2	6.9	1	13.9
合 計	555.9	100.0	199	2.8	129	4.3	35	15.9	46	12.1	14	39.7

(人口：平成25年7月1日推計人口)

2. 患者発生状況

2. 1 概要

2. 1. 1 全数把握対象疾病

付表 1-1～1-3 に、平成 25 年の全数把握対象疾病の患者数を示した。患者数は平成 26 年 10 月 20 日現在の当情報センターにおける把握による。

年間患者報告数は、1 類感染症は報告がなく、2 類感染症は結核 1,451 名 (1,415 名) であった。3 類感染症はコレラ 1 名 (0 名)、細菌性赤痢 1 名 (5 名)、腸管出血性大腸菌感染症 161 名 (95 名)、腸チフス 3 名 (2 名)、パラチフス 1 名 (0 名) であった。

4 類感染症は E 型肝炎 0 名 (1 名)、A 型肝炎 5 名 (5 名)、エキノコックス症 1 名 (0 名)、重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る) 2 名 (—)、チクングニア熱 1 名 (0 名)、つつが虫病 2 名 (2 名)、デング熱 9 名 (8 名)、日本紅斑熱 5 名 (1 名)、日本脳炎 1 名 (0 名)、ライム病 2 名 (0 名)、レジオネラ症 42 名 (49 名) であった。

5 類感染症はアメーバ赤痢 43 名 (29 名)、ウイルス性肝炎 (E 型肝炎及び A 型肝炎を除く) 12 名 (15 名)、急性脳炎 (ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く) 2 名 (10 名)、クロイツフェルト・ヤコブ病 12 名 (6 名)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 15 名 (5 名)、後天性免疫不全症候群 52 名 (46 名)、ジアルジア症 6 名 (7 名)、侵襲性インフルエンザ菌感染症 8 名 (—)、侵襲性肺炎球菌感染症 52 名 (—)、先天性風しん症候群 0 名 (2 名)、梅毒 36 名 (18 名)、破傷風 3 名 (2 名)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 0 名 (3 名)、風しん 1,174 名 (281 名)、麻しん 7 名 (16 名)、であった。

風しんは、全数把握対象疾病となった平成 20 年以降で最大の流行を記録した。

* () 内は平成 24 年の患者数 ; (—) は平成 25 年に追加された疾病

2. 1. 2 定点把握対象疾病

表 4 に週報疾病別年間患者数を、表 5 に月報疾病別年間患者数を示す。

週報対象疾病のうち、インフルエンザ定点及び小児科定点対象疾病で患者数の多い疾病は、感染性胃腸炎 51,604 人、インフルエンザ 43,302 人、手足口病 9,839 人、水痘 7,353 人、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 5,672 人、の順であった。昨年と比較すると、手足口病 [686 人→9,839 人] は患者数が顕著に増加し、インフルエンザ [67,789 人→43,302 人] と感染性胃腸炎 [56,577 人→51,604 人] は患者数が顕著に減少した。眼科定点対象疾病では、流行性角結膜炎の患者数が [656 人→1,104 人] と増加した。基幹定点対象疾病では、マイコプラズマ肺炎の患者数が [484 人→258 人] と減少した。

月報対象疾病のうち性感染症では、性器クラミジア感染症 [854 人→912 人] は患者数が増加し、淋菌感染症 [379 人→350 人] は患者数が減少した。薬剤耐性菌感染症では、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 [31 人→136 人] とメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 [424 人→475 人] の患者数が増加した。

なお、症候群サーベイランスシステムで実施している疑似症については、摂氏 38 度以上の発熱及び呼吸器症状の症例報告が 1 定点から 125 件あった。

表4 疾病別年間患者数（週報）

疾 病 名	患者数	定点あたり (H23)	患者数	定点あたり (H24)	患者数	定点あたり (H25)
インフルエンザ *1	45,858	230.29	67,789	340.65	43,302	217.60
RSウイルス感染症	3,059	23.70	3,917	30.36	4,145	32.13
咽頭結膜熱	3,296	25.53	1,613	12.50	2,677	20.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8,188	63.43	7,023	54.44	5,672	43.97
感染性胃腸炎	46,455	359.85	56,577	438.58	51,604	400.03
水痘	9,567	74.11	8,175	63.37	7,353	57.00
手足口病	19,059	147.63	686	5.32	9,839	76.27
伝染性紅斑	3,383	26.21	805	6.24	313	2.43
突発性発しん	3,599	27.88	3,642	28.23	3,324	25.77
百日咳	293	2.27	136	1.05	86	0.67
ヘルパンギーナ	5,184	40.16	4,804	37.24	4,693	36.38
流行性耳下腺炎	6,823	52.85	1,965	15.23	919	7.12
急性出血性結膜炎	24	0.69	21	0.60	20	0.57
流行性角結膜炎	935	26.73	656	18.74	1,104	31.54
細菌性髄膜炎 *2	15	1.07	17	1.21	19	1.58
無菌性髄膜炎	39	2.79	61	4.36	41	3.42
マイコプラズマ肺炎	165	11.79	484	34.57	258	21.50
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	15	1.07	25	1.79	8	0.67
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルス）	—	—	—	—	1	0.08

*1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

*2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

表5 疾病別年間患者数（月報）

疾 病 名	患者数	定点あたり (H23)	患者数	定点あたり (H24)	患者数	定点あたり (H25)
性器クラミジア感染症	842	18.30	854	18.57	912	19.83
性器ヘルペスウイルス感染症	259	5.63	264	5.74	288	6.26
尖圭コンジローマ	204	4.43	145	3.15	160	3.48
淋菌感染症	395	8.59	379	8.24	350	7.61
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	470	33.57	424	30.29	475	39.58
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	44	3.14	31	2.21	136	11.33
薬剤耐性緑膿菌感染症	6	0.43	6	0.43	4	0.33
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	0	0.00	0	0.00

2. 2 腸管出血性大腸菌感染症、風しん及び定点把握対象疾病の動向

平成25年の感染症発生動向調査事業における週報及び月報の患者情報を解析し、週（月）別患者数、年齢階級別患者数を求めた。STD対象疾病では性別・年齢階級別患者数を求めた。全数把握対象疾病では患者数の多い腸管出血性大腸菌感染症及び風しんを取り上げた。ここで求めた統計表は付表として本誌53～64ページに掲載した。以下に各疾病の動向を示す。

(1) 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の年間患者数は161名で、昨年の95名より増大した。23週（6月上旬）から37週（9月中旬）までが患者発生の多い時期となっていた。

年齢階級別患者発生割合は10歳未満40%、10歳代17%、20歳代11%、30歳代12%、40歳代6%、50歳代6%、60歳以上7%であった。

図 3-1 腸管出血性大腸菌感染症の患者発生状況

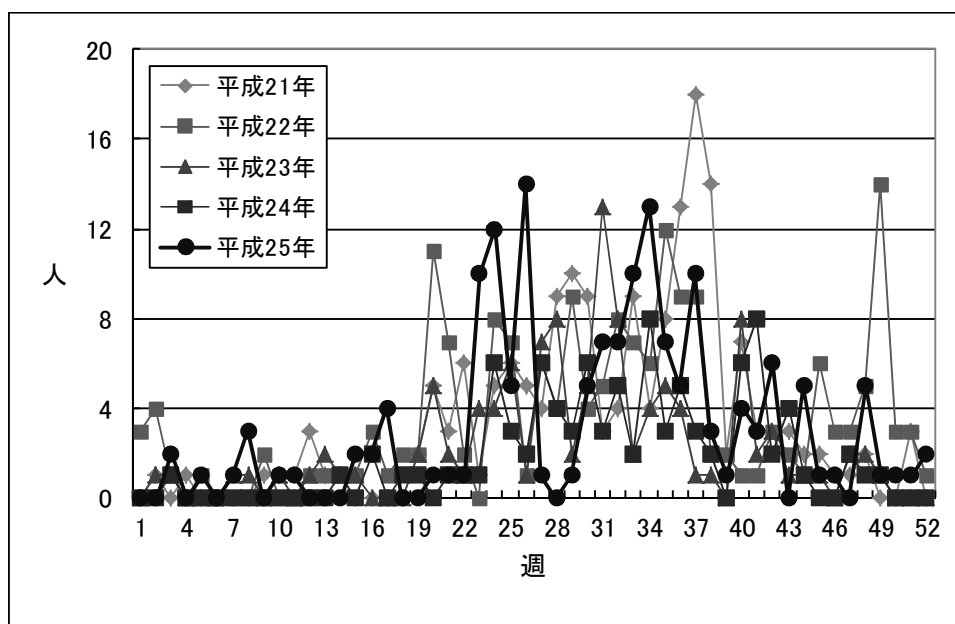
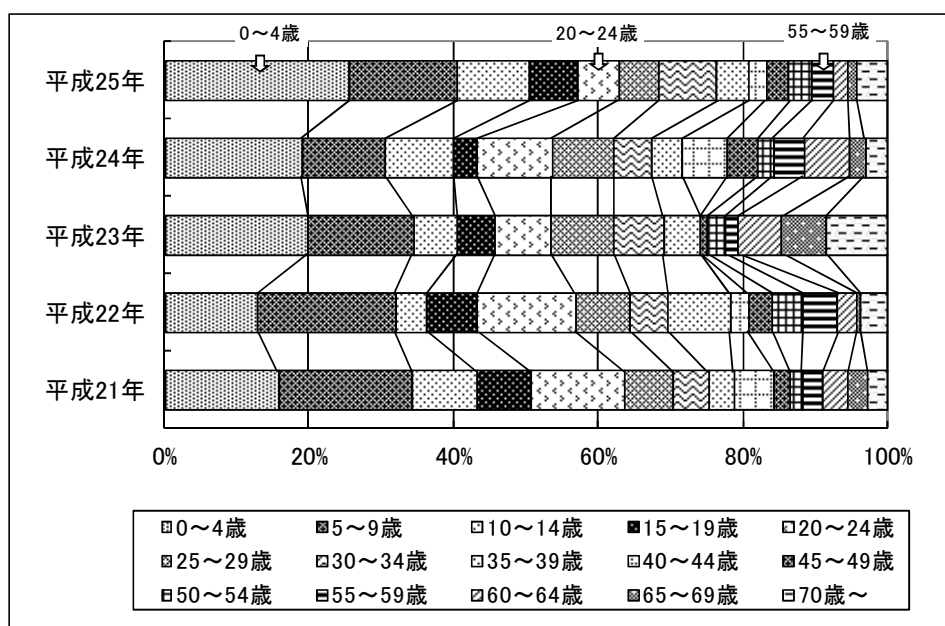


図 3-2 腸管出血性大腸菌感染症の年齢階級別患者発生割合



(2) 風しん

風しんの年間患者数は1,174名（昨年は281名）を記録し、全数対象疾病となった平成20年以降で最大の流行となった。患者の報告は第2週（1月上旬）から始まり、13～25週（3月下旬～6月中旬）は毎週40名以上の報告があった。報告数のピークは21週（5月下旬）で104名を記録した。

平成25年の患者1,174名の性別分布は男性893名、女性281名で、男性患者が全体の76%を占めていた。患者の年齢分布をみると、男性は20～49歳の患者が731名（男性患者の82%）、女性は15～39歳の患者が186名（女性患者の66%）と、特定の年齢層に患者が集積していた。

図 4-1 風しんの患者発生状況

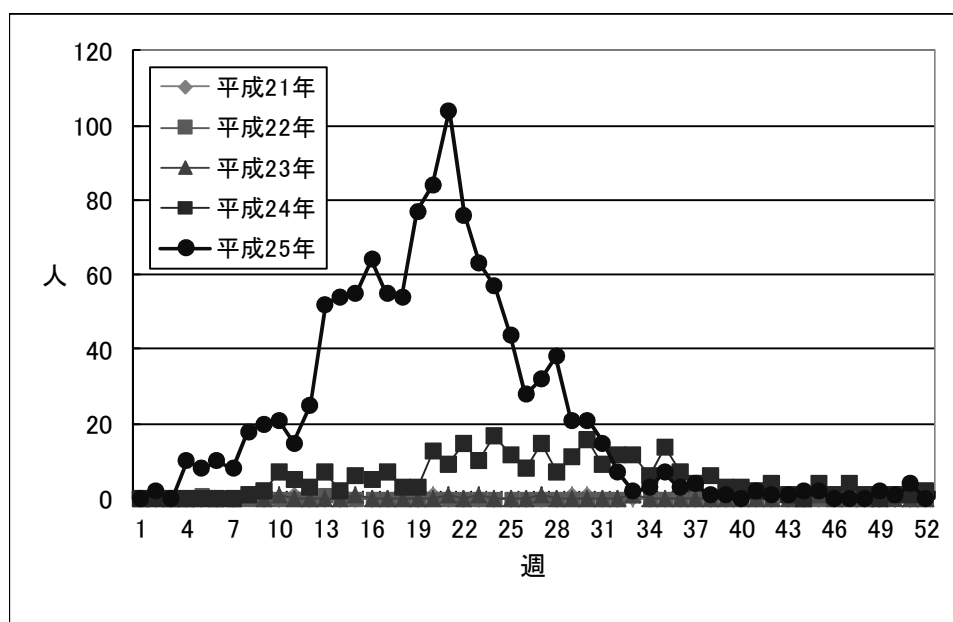
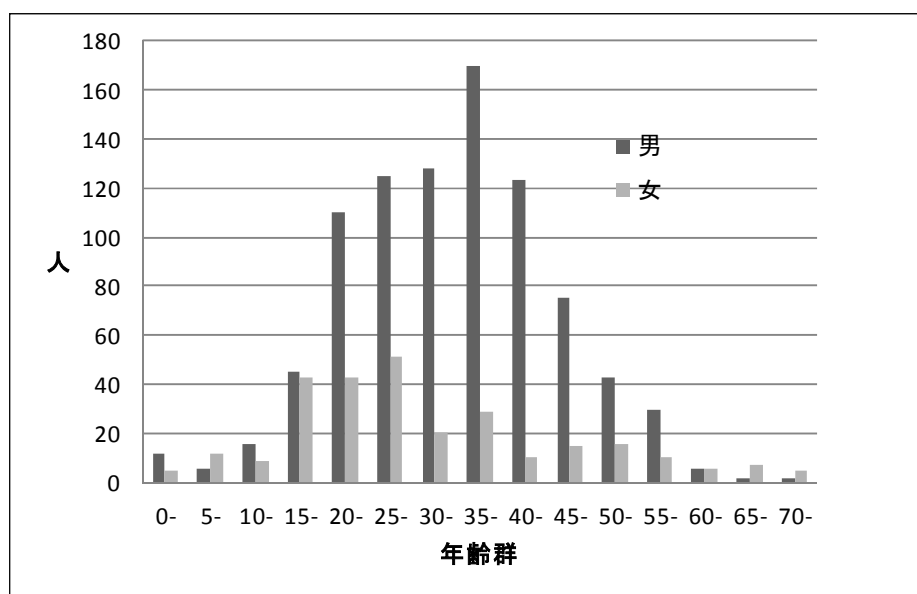


図 4-2 風しん患者の性別年齢分布（平成25年）



(3) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

年間患者数は43,302人（定点あたり217.60人）で、昨年の67,789人（340.65人）より減少した。

週別定点あたり患者数は、第5週（1月下旬）にピーク（36.69人）を示した後15週（4月上旬）まで減少を続けたが、その後は増減を繰り返し、22週（5月中旬）になってやっと流行の目安である1.0人を下回った。

当研究所で行った検査ではA(H1N1)pdm09、A(H3N2)型及びB型のインフルエンザウイルスを203件検出した。インフルエンザウイルスの検出割合から、年初から7週（2月中旬）にかけてはA(H3N2)型が主な原因となった流行、その後はA(H3N2)型とB型が混合した流行と考えられた。A(H1N1)pdm09は散発的な検出にとどまった。

年齢階級別患者発生割合では、9歳以下の患者が全体の53%、14歳以下が全体の89%を占めていた。

図5-1 インフルエンザの週別定点あたり患者発生状況

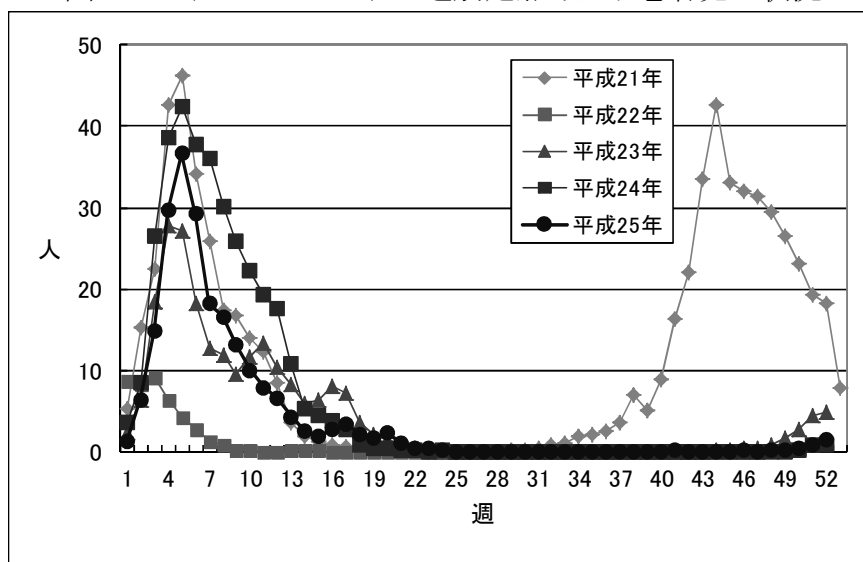
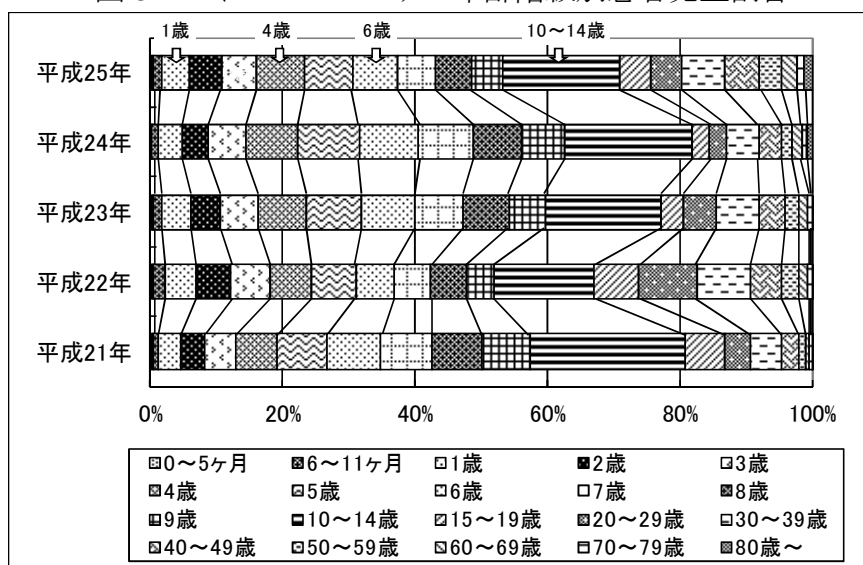


図5-2 インフルエンザの年齢階級別患者発生割合



(4) RS ウイルス感染症

本疾病は平成 15 年 11 月に小児科定点対象疾病となった。患者報告には検査診断が必要だが、平成 23 年 10 月より迅速診断キットによる抗原検査の保険適用が拡大され、従来入院患者に加えて外来患者の乳児（1 歳未満）等にも適用可能となっている。

平成 25 年の年間患者数 4,145 人（定点あたり 32.13 人）は、平成 24 年の 3,917 人（30.36 人）よりも増え、観測開始以降で最大の患者数となった。

週別定点あたり患者数は例年より早い第 35 週（8 月下旬）から増加し、40 週（10 月上旬）以降年末まで 1.5 人前後で推移した。

年齢階級別患者発生割合では、0 歳の患者が全体の 39%、1 歳以下の患者が 70%、2 歳以下の患者が 85%を占めていた。

図 6-1 RS ウイルス感染症の週別定点あたり患者発生状況

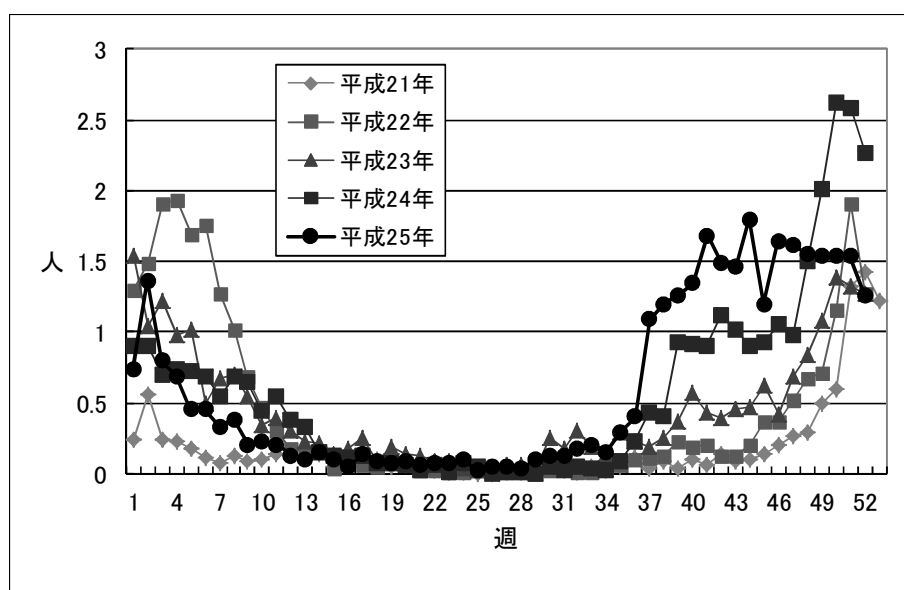
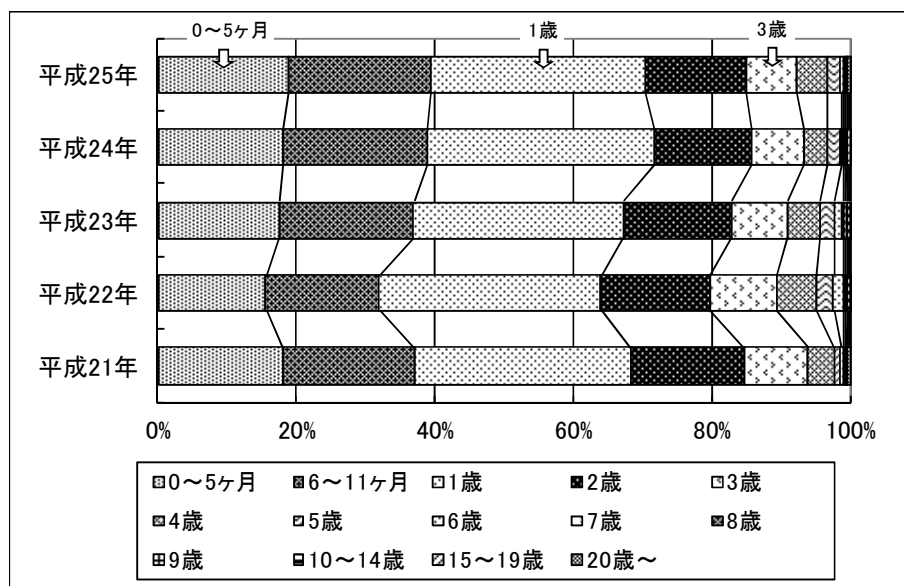


図 6-2 RS ウイルス感染症の年齢階級別患者発生割合



(5) 咽頭結膜熱

年間患者数は2,677人(定点あたり20.75人)で、昨年の1,613人(12.50人)より増大した。

週別定点あたり患者数は第2週(1月上旬)に0.3人を超え、その後は増減を繰り返しながら23週(6月上旬)にピーク(0.72人)を示した。38週(9月中旬)から45週(11月上旬)は再び0.3人以下に減少したが、1年を通じて大きな変動はみられなかった。

年齢階級別患者発生割合は、1歳23%、4歳14%、3歳13%、2歳13%、5歳10%の順で、0~5歳の患者が全体の78%、0~9歳の患者が全体の93%を占めていた。

図7-1 咽頭結膜熱の週別定点あたり患者発生状況

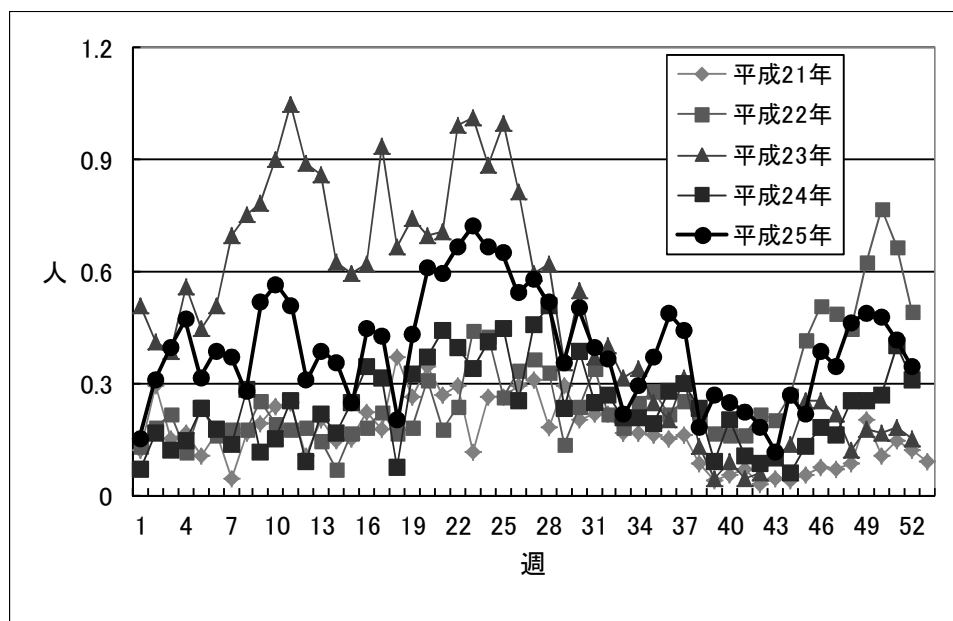
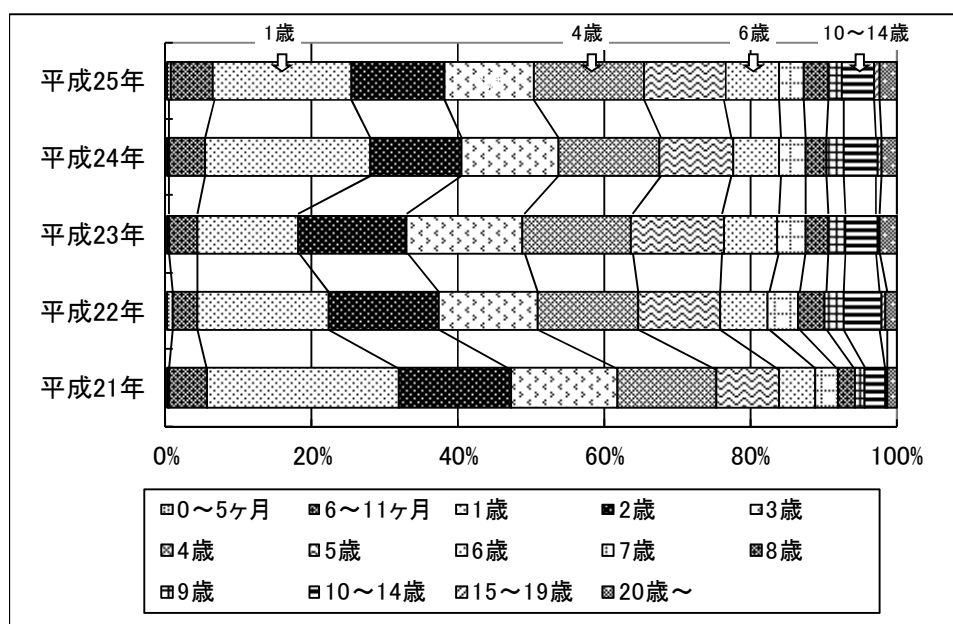


図7-2 咽頭結膜熱の年齢階級別患者発生割合



(6) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間患者数は5,672人(定点あたり43.97人)で、昨年の7,023人(54.44人)より減少した。

例年冬期から初夏に患者数の多い疾病である。週別定点あたり患者数は第4週(1月下旬)から24週(6月中旬)にかけて多く、秋期に向けて減少を続けた後冬期に再び増大するパターンを示した。ただし、学校春休み期間の14週(4月上旬)と大型連休期間の18週(5月上旬)は患者数が減少している。

年齢階級別患者発生割合は5歳16%、4歳14%、6歳14%、7歳10%の順で多く、1~9歳の患者が全体の84%、1~14歳の患者が全体の95%を占めていた。

図8-1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の週別定点あたり患者発生状況

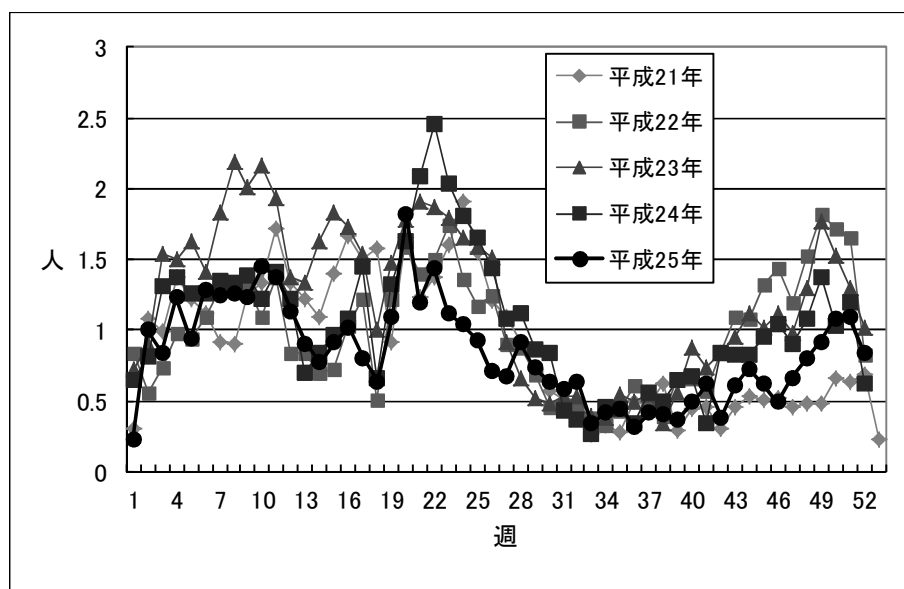
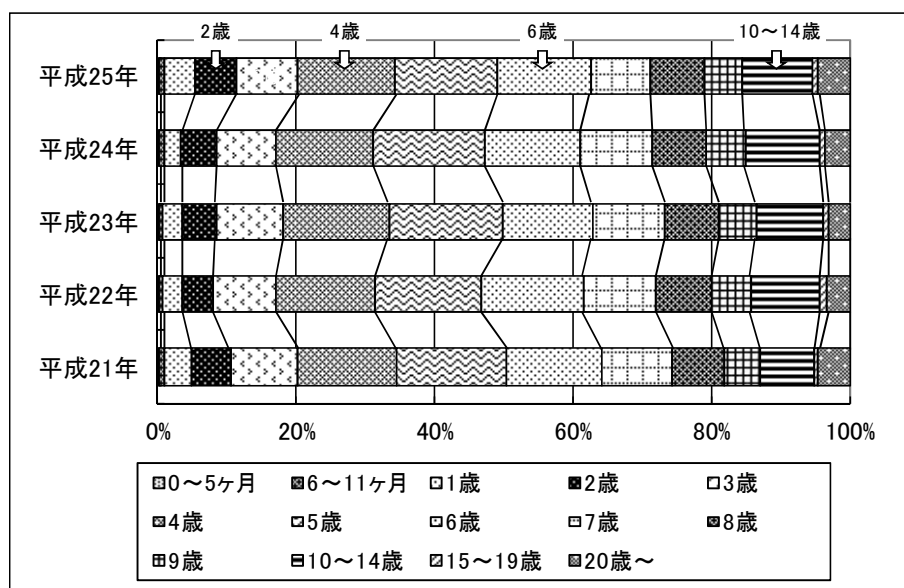


図8-2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年齢階級別患者発生割合



(7) 感染性胃腸炎

年間患者数は51,604人（定点あたり400.03人）で、昨年の56,577人（438.58人）から減少した。週別定点あたり患者数は年明けから23週（6月上旬）にかけて増大し、秋期に向けて減少を続けた後43週（10月下旬）から再び増大するパターンを示した。14週（4月上旬）と18週（5月上旬）の患者数の落ち込みは、学校の春休み期間と大型連休期間に該当している。週別定点あたり患者数のピークは51週（12月中旬）の19.01人であった。

年齢階級別患者発生割合は1歳15%、2歳11%、3歳10%、4歳10%の順で多く、0～5歳が全体の61%、0～9歳が全体の80%を占めていた。

なお、10月14日より基幹定点対象疾病となったロタウイルスによる感染性胃腸炎は、42週（10月中旬）に1人（13歳）の患者報告があった。

図 9-1 感染性胃腸炎の週別定点あたり患者発生状況

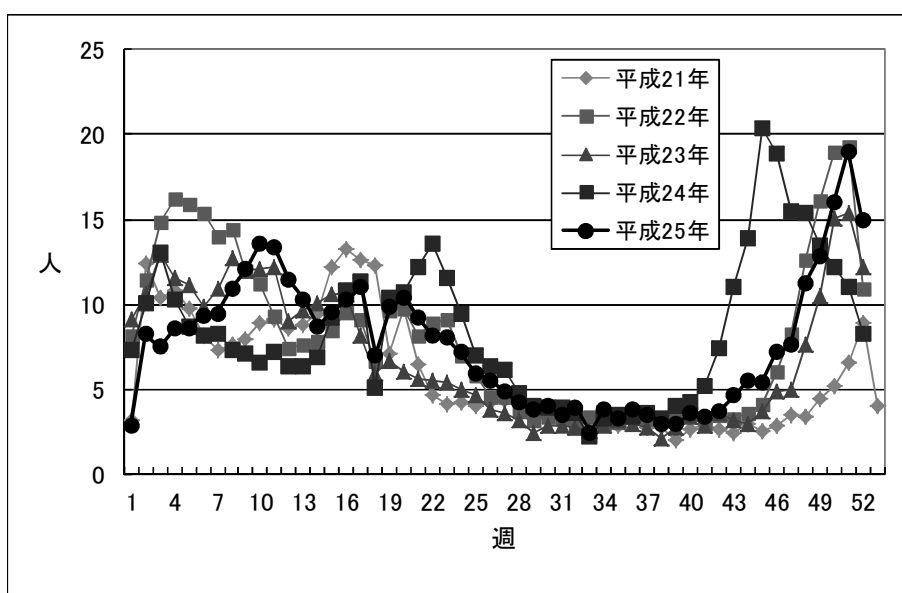
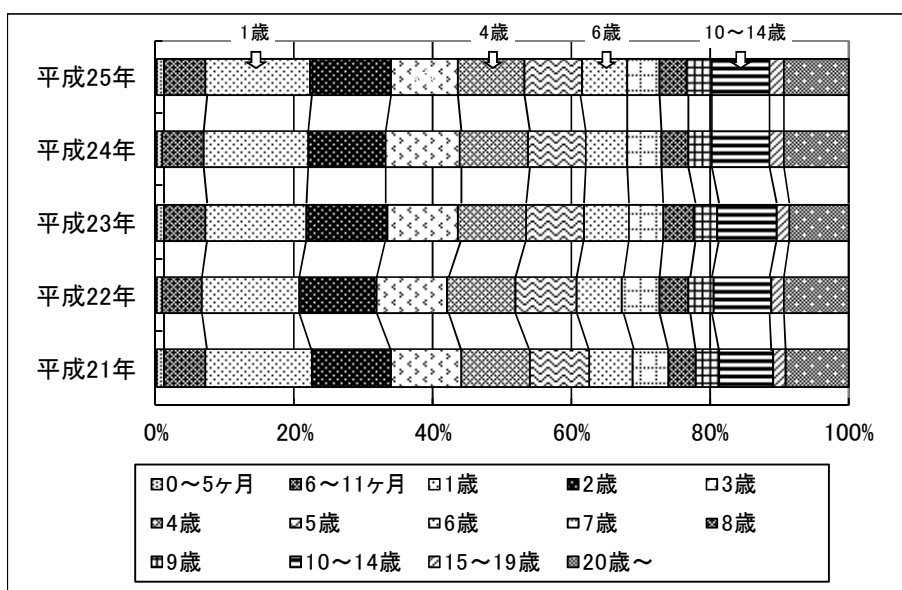


図 9-2 感染性胃腸炎の年齢階級別患者発生割合



(8) 水痘

年間患者数は7,353人(定点あたり57.00人)で、昨年の8,175人(63.37人)から減少した。

週別定点あたり患者数は、例年年明けから5月末頃まで多い状態が続き、夏から秋にかけて減少した後、10月下旬から年末にかけて再び増加するパターンを示すが、本年の傾向も同様であった。

年齢階級別患者発生割合は、3歳17%、2歳16%、4歳16%、1歳15%の順で多く、0~5歳が全体の82%、0~7歳が全体の93%を占めていた。

図 10-1 水痘の週別定点あたり患者発生状況

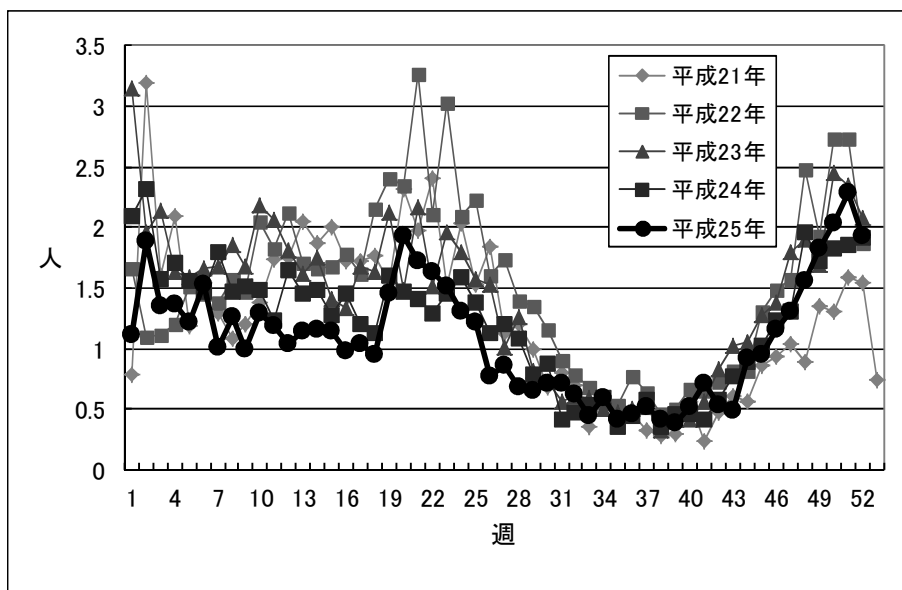
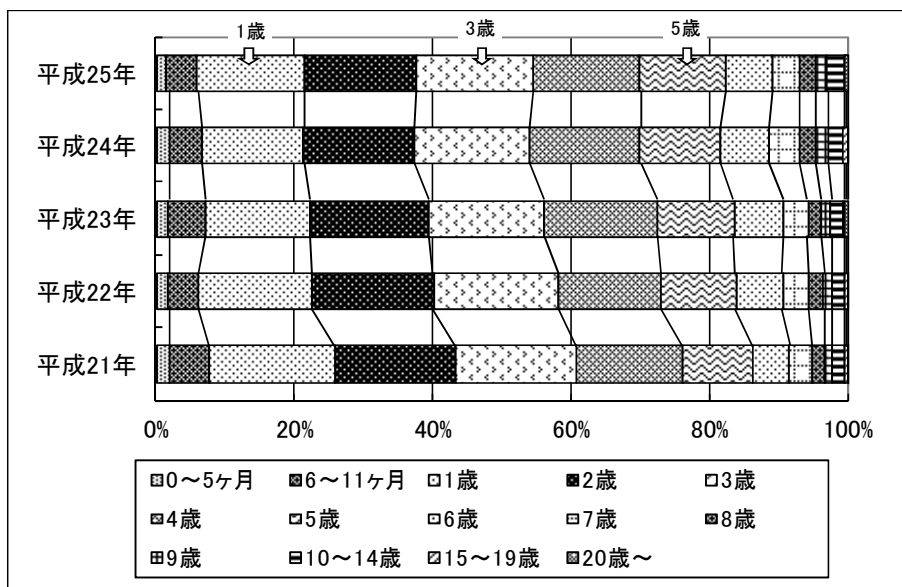


図 10-2 水痘の年齢階級別患者発生割合



(9) 手足口病

年間患者数は9,839人（定点あたり76.27人）で、昨年の患者数686人（5.32人）の14倍以上まで増大した。これには一昨年に手足口病の記録的な流行があり、昨年は患者数が激減していたことも関係している。

週別定点あたり患者数は19週（5月上旬）頃から増加が始まり、30週（7月下旬）にピーク（9.86人）を示した後減少に転じた。

年齢階級別患者発生割合は1歳33%、2歳22%、3歳12%、0歳10%の順で多く、0～5歳で全体の92%を占めていた。

図 11-1 手足口病の週別定点あたり患者発生状況

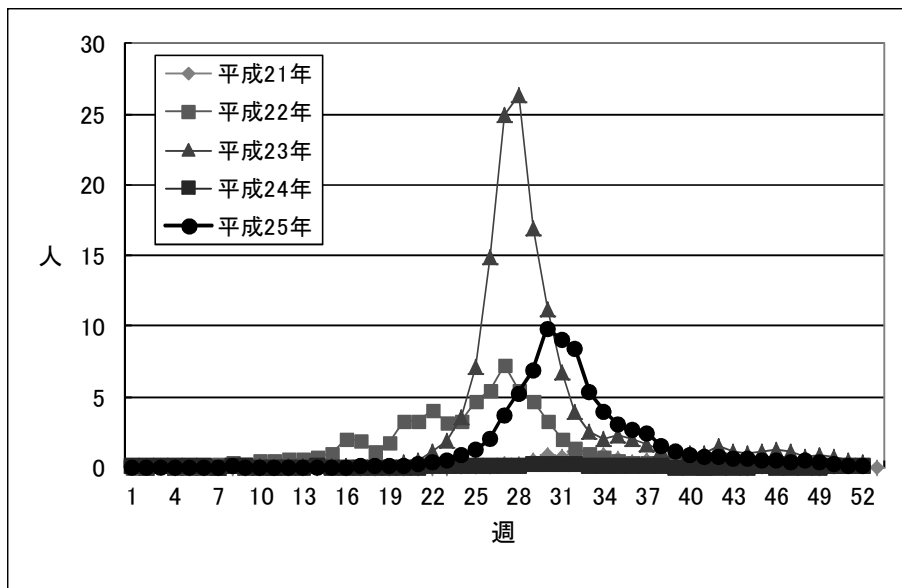
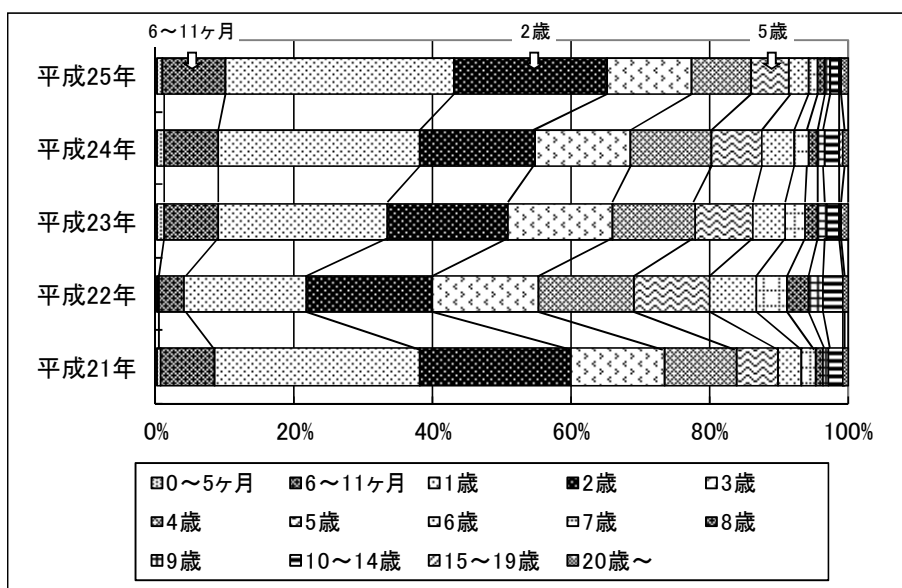


図 11-2 手足口病の年齢階級別患者発生割合



(10) 伝染性紅斑

年間患者数は313人（定点あたり2.43人）で、昨年の805人（6.24人）から減少した。

週別定点あたり患者数は28週（7月中旬）に最大値（0.14人）を示したが、それ以外の全ての週は0.1人未満と低く、1年を通じて患者数の少ない状態で推移した。

年齢階級別患者発生割合は1～7歳の各歳が10%前後と多く、0～9歳が全体の96%を占めていた。

図 12-1 伝染性紅斑の週別定点あたり患者発生状況

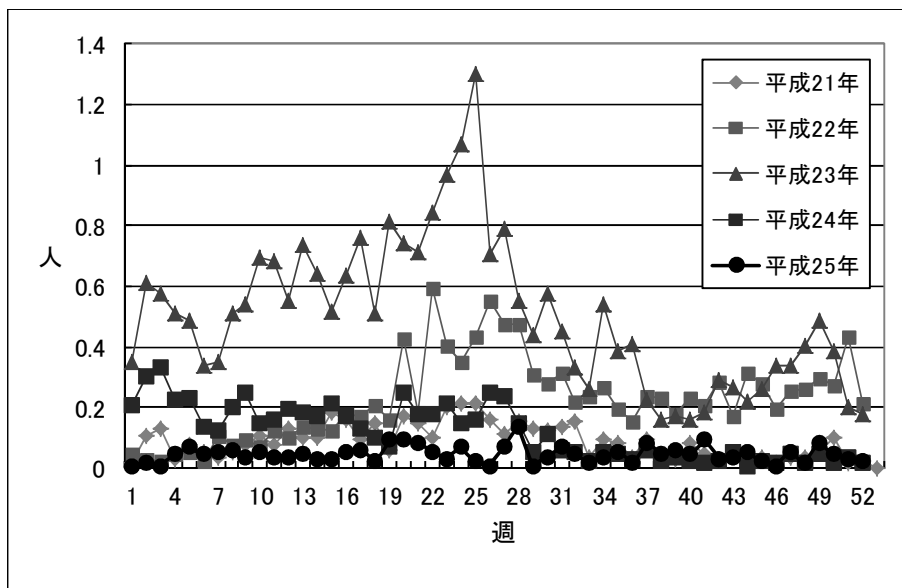
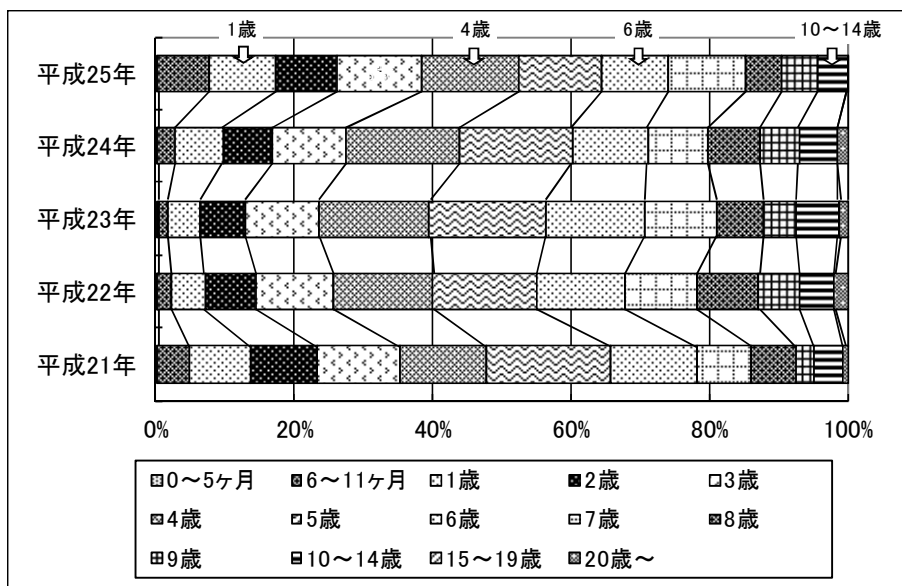


図 12-2 伝染性紅斑の年齢階級別患者発生割合



(11) 突発性発しん

年間患者数は3,324人（定点あたり25.77人）で、昨年の3,642人（28.23人）から減少した。年間患者数の経年的推移に多少のバラツキはみられるが、平成12年以降緩やかな減少傾向を続けている。

突発性発しんは1年を通じて患者が発生し、季節性が明瞭でない疾病である。本年も、16週（4月中旬）から37週（9月中旬）の週別定点あたり患者数が若干多かった以外、明らかな特徴はみられなかった。

年齢階級別患者発生割合の経年変化では、0歳の割合が年々減少し、1歳の割合が増加している。本年は、0歳が全体の42%、1歳が全体の49%を占めていた。

図13-1 突発性発しんの週別定点あたり患者発生状況

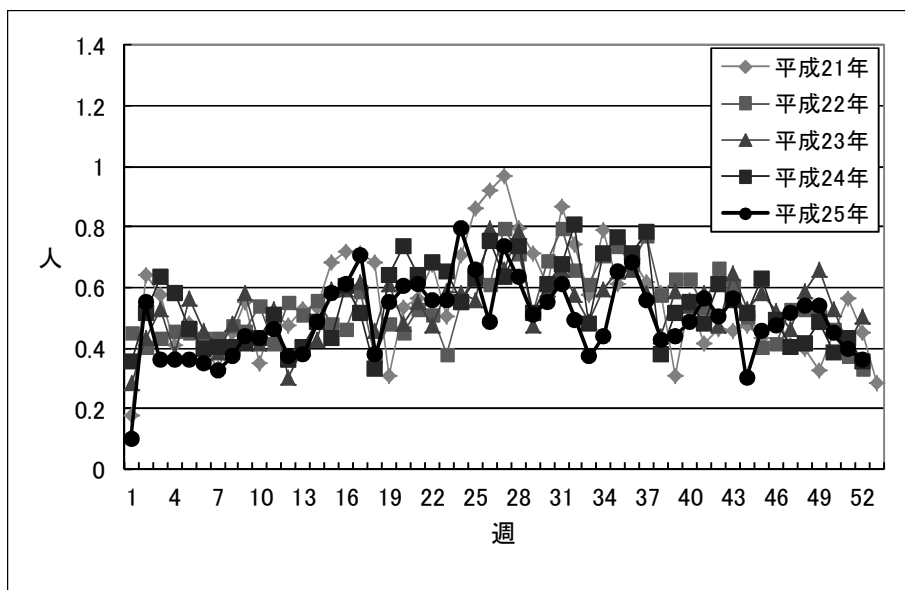
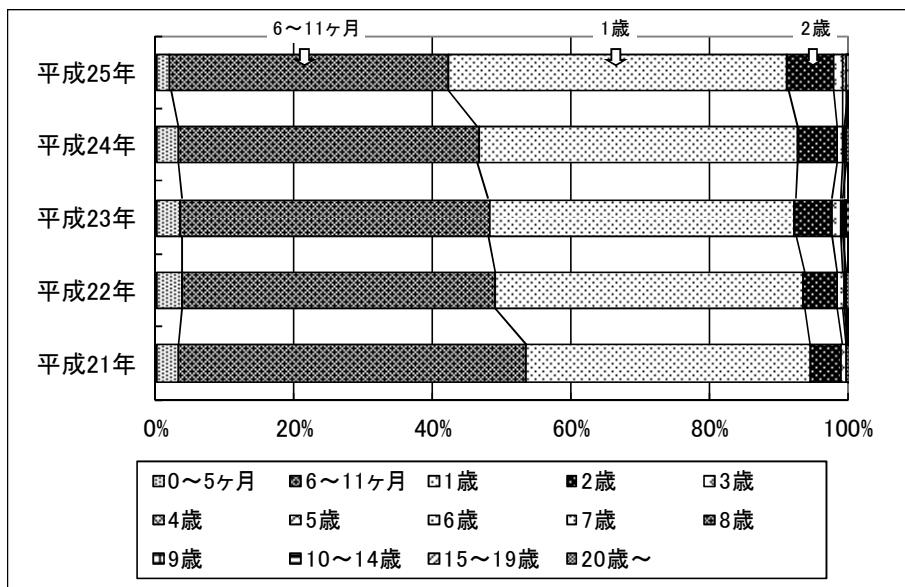


図13-2 突発性発しんの年齢階級別患者発生割合



(12) 百日咳

百日咳は患者発生数が比較的少ない疾病である。年間患者数は86人(定点あたり0.67人)で、
 昨年(平成24年)の136人(1.05人)から減少した。

定点あたり患者数の週別変化に季節性は認められないが、最大値は第30週(7月下旬)の0.08
 であった。

年齢階級別患者発生割合は、0歳20%、1~4歳24%、5~9歳21%、10歳代7%、20歳以上28%
 となっていた。小児科定点からの報告にもかかわらず成人患者の発生割合が多くなっている
 が、10歳以上の割合は平成21年以降減少を続けている。

図14-1 百日咳の週別定点あたり患者発生状況

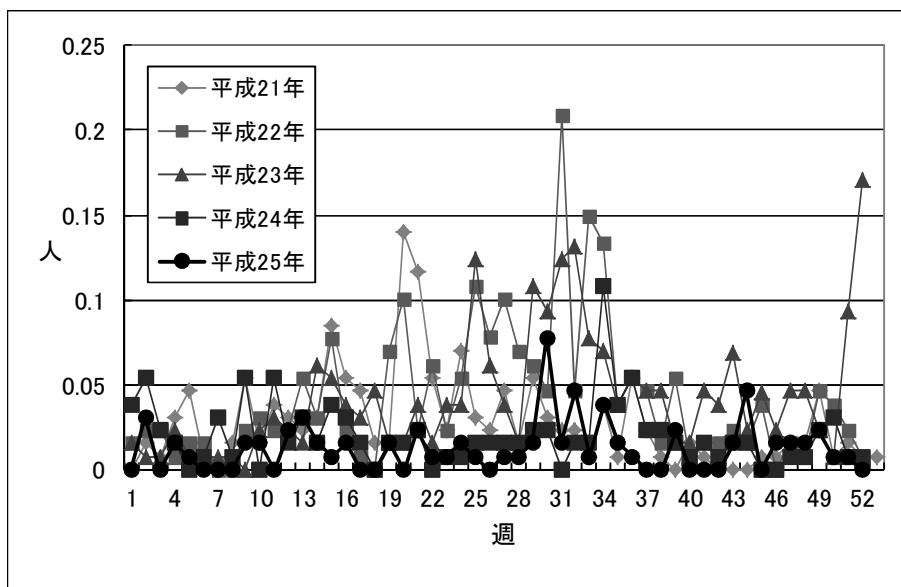
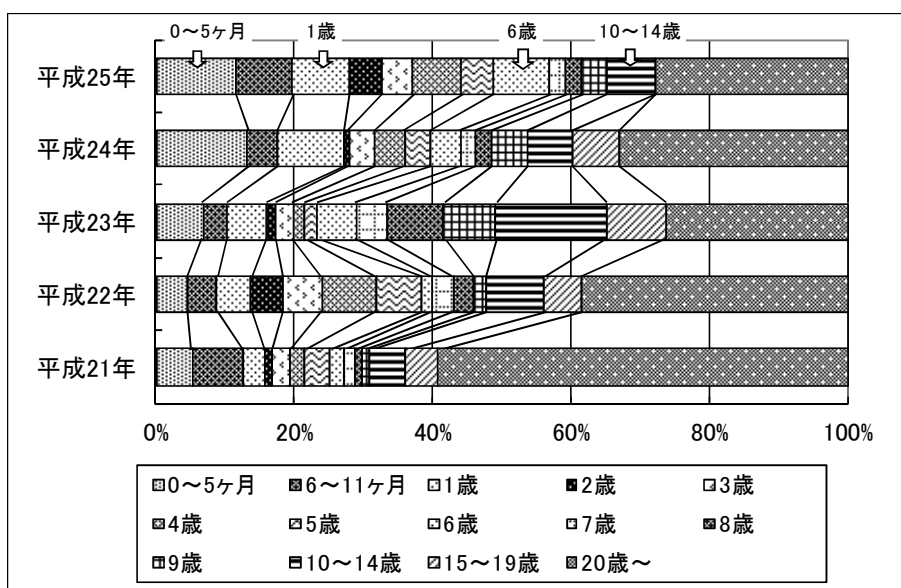


図14-2 百日咳の年齢階級別患者発生割合



(13) ヘルパンギーナ

年間患者数は4,693人（定点あたり36.38人）で、昨年の4,804人（37.24人）からわずかに減少した。

週別定点あたり患者数は21週（5月下旬）頃から増加が始まり、30週（7月下旬）に定点あたり5.17人のピークを示した後減少に転じ、40週（10月上旬）頃に終息した。

年齢階級別患者発生割合は1歳24%、2歳18%、3歳15%の順で、0～5歳の患者が全体の90%を占めていた。

図15-1 ヘルパンギーナの週別定点あたり患者発生状況

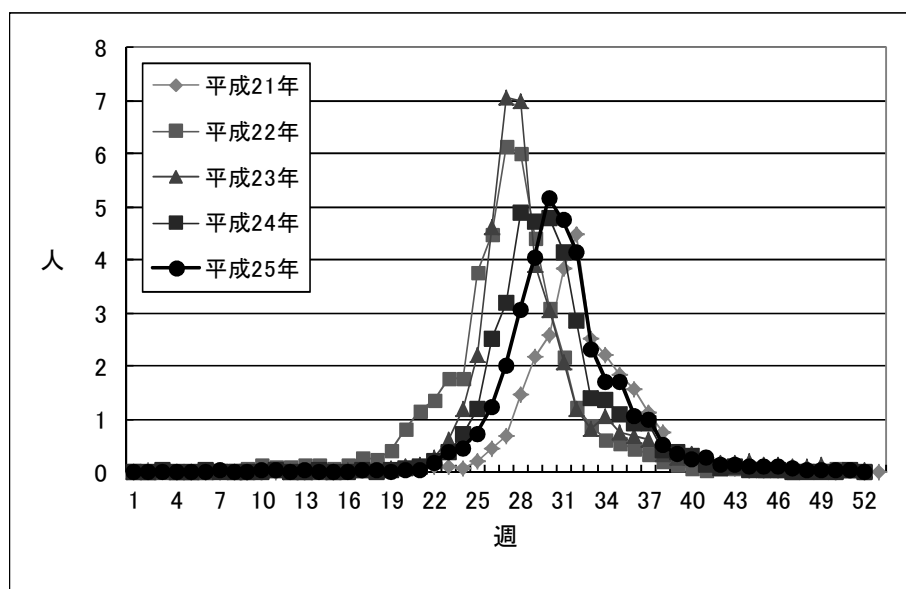
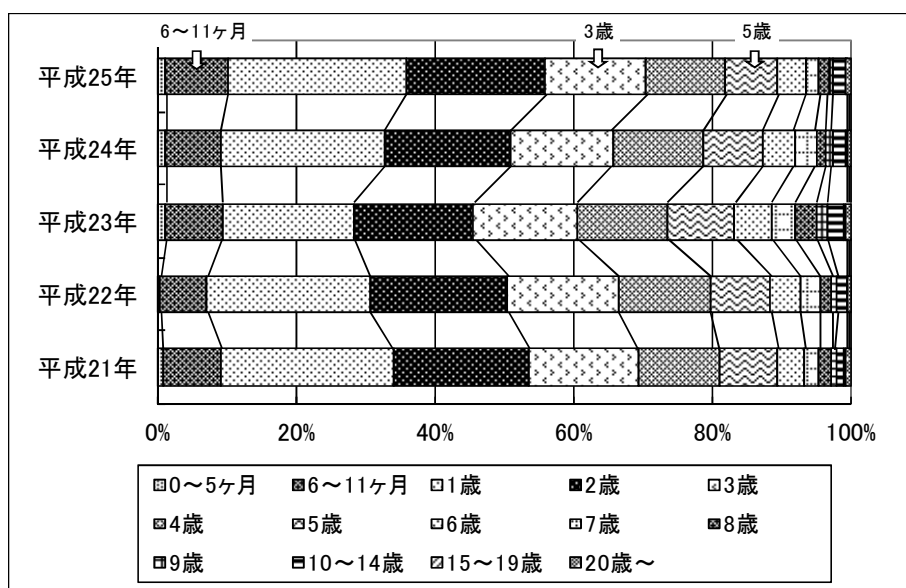


図15-2 ヘルパンギーナの年齢階級別患者発生割合



(14) 流行性耳下腺炎

年間患者数は919人（定点あたり7.12人）で、昨年の1,965人（15.23人）から減少した。

流行性耳下腺炎の流行にはしばしば3～4年周期の変動がみられる。週別定点あたり患者発生状況をみると、平成21年に患者数の増加が始まり、平成22年はピークまで増加した後減少に転じ、平成23年は減少傾向を継続し、平成24年に終息状態に到達した。そして本年は終息したまま1年が経過している。

年齢階級別患者発生割合は5歳19%、4歳16%、6歳14%、3歳10%の順で、2～9歳の患者が全体の87%を占めていた。

図16-1 流行性耳下腺炎の週別定点あたり患者発生状況

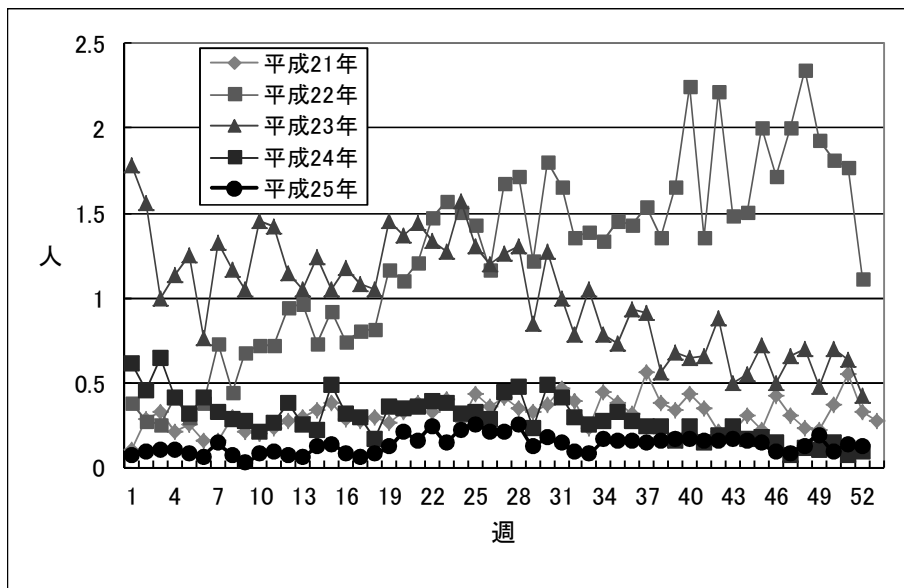
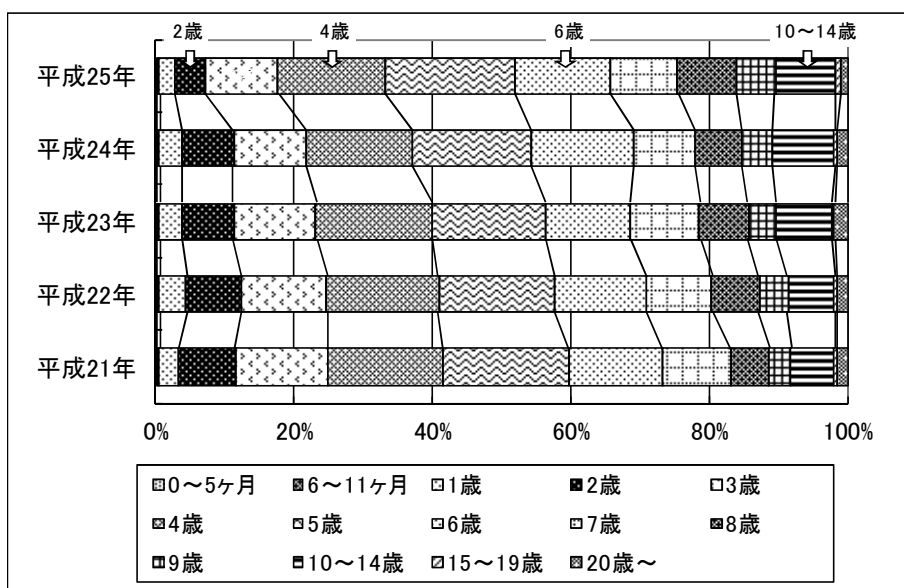


図16-2 流行性耳下腺炎の年齢階級別患者発生割合



(15) 急性出血性結膜炎

年間患者数は、平成19年以降横ばい状態で推移している。昨年の患者数は21人（定点あたり0.60人）、本年の患者数は20人（0.57人）であった。

年齢階級別患者発生割合は40歳代35%が最も多く、20歳以上の患者が全体の90%を占めていた。

図17-1 急性出血性結膜炎の週別定点あたり患者発生状況

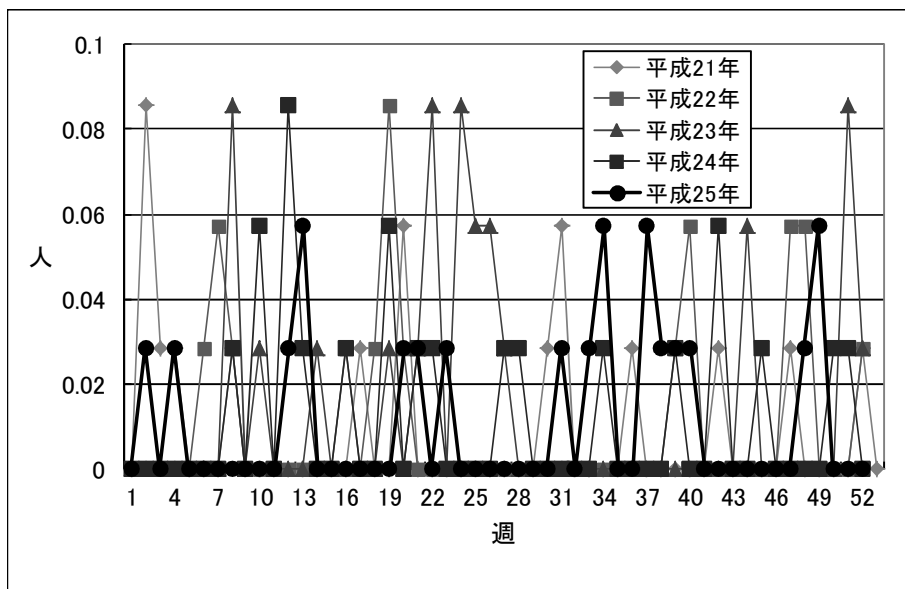
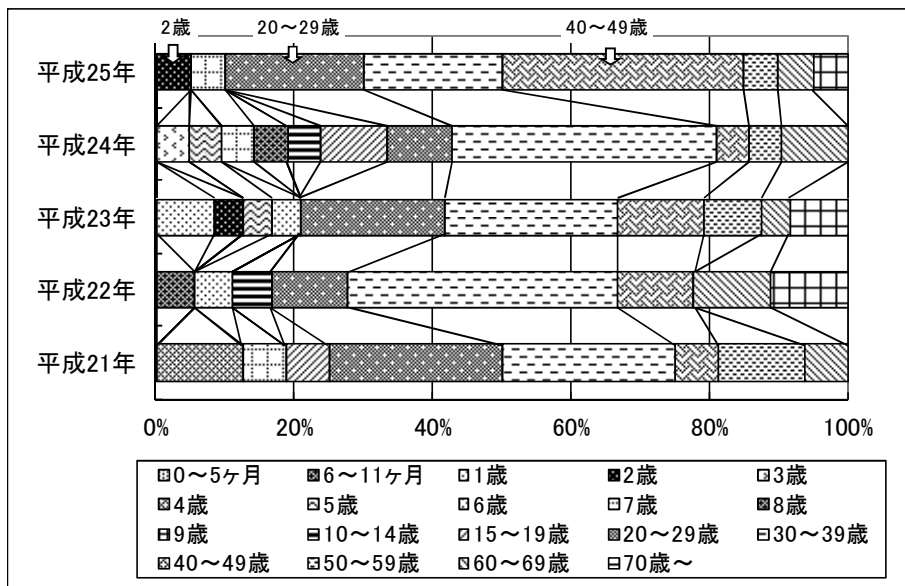


図17-2 急性出血性結膜炎の年齢階級別患者発生割合



(16) 流行性角結膜炎

年間患者数は平成12年以降増減を繰り返しながら減少傾向にあったが、今年は1,104人（定点あたり31.54人）と昨年の656人（18.74人）から増加した。

年齢階級別患者発生割合は0～9歳31%、30歳代20%がやや多いが、各年齢層で患者が発生している。

図18-1 流行性角結膜炎の週別定点あたり患者発生状況

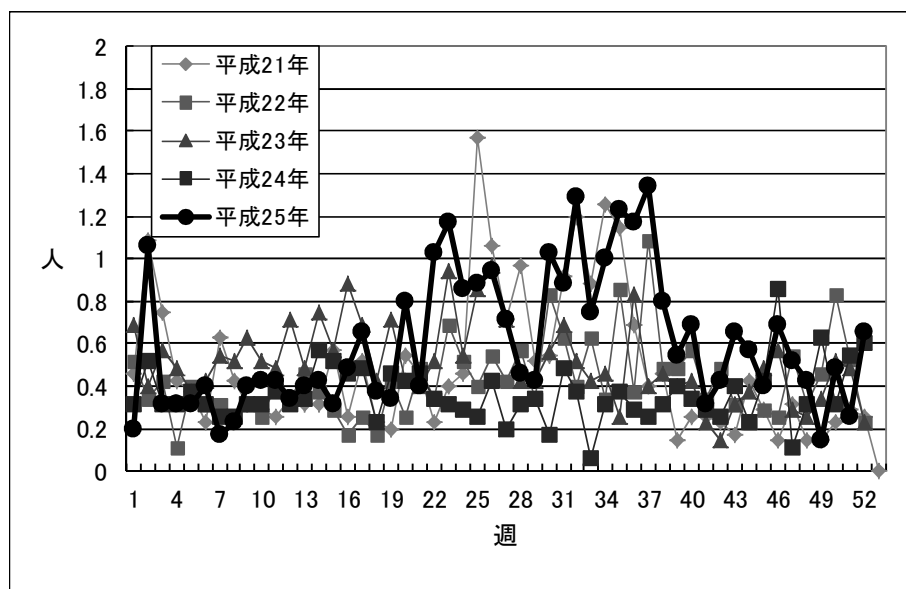
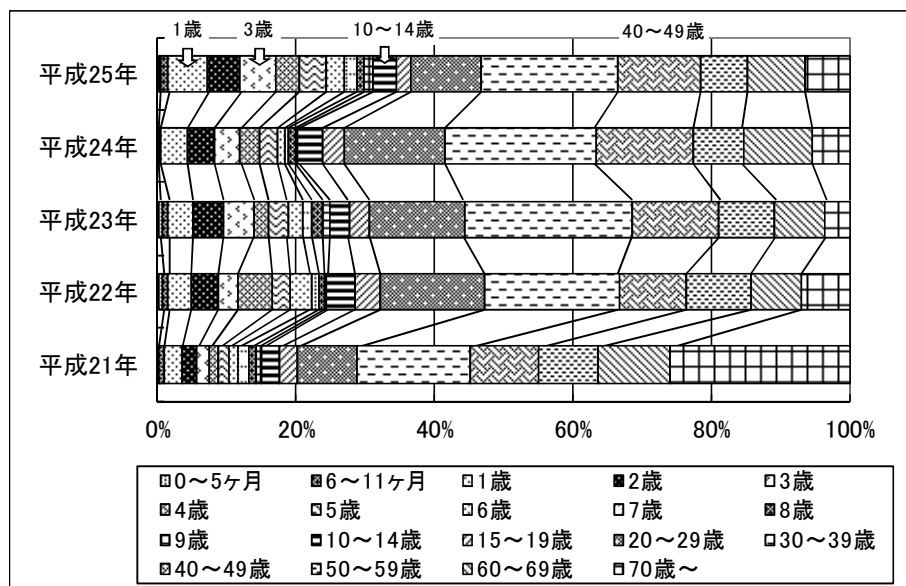


図18-2 流行性角結膜炎の年齢階級別患者発生割合



(17) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

細菌性髄膜炎の年間患者数は平成21年17人、22年14人、23年15人、24年17人、25年19人で、患者数の少ない状況が続いている。

本年の患者の年齢分布は70歳以上5人（26%）、0歳4人（21%）、5～9歳及び50～54歳が各2人（11%）の順となっていた。

図19-1 細菌性髄膜炎の週別定点あたり患者発生状況

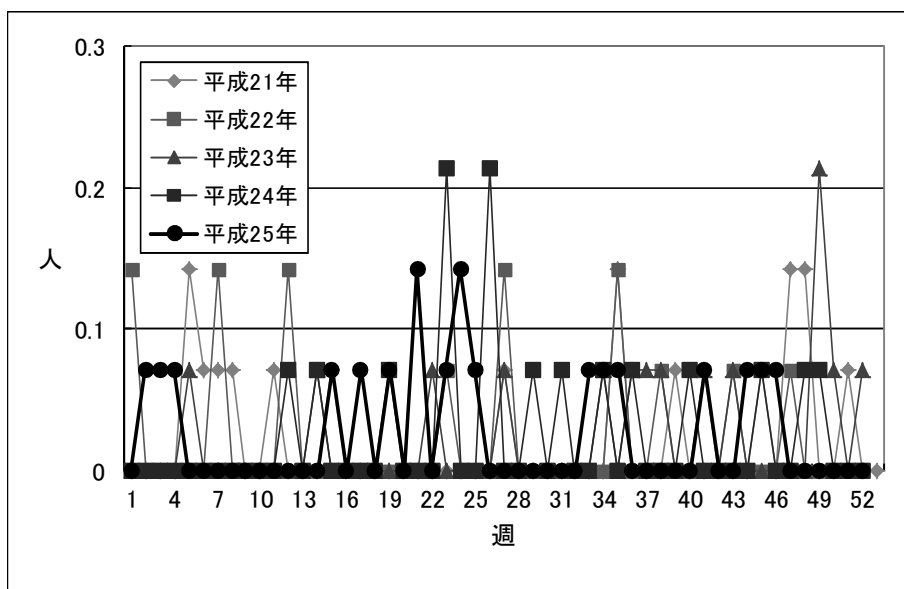
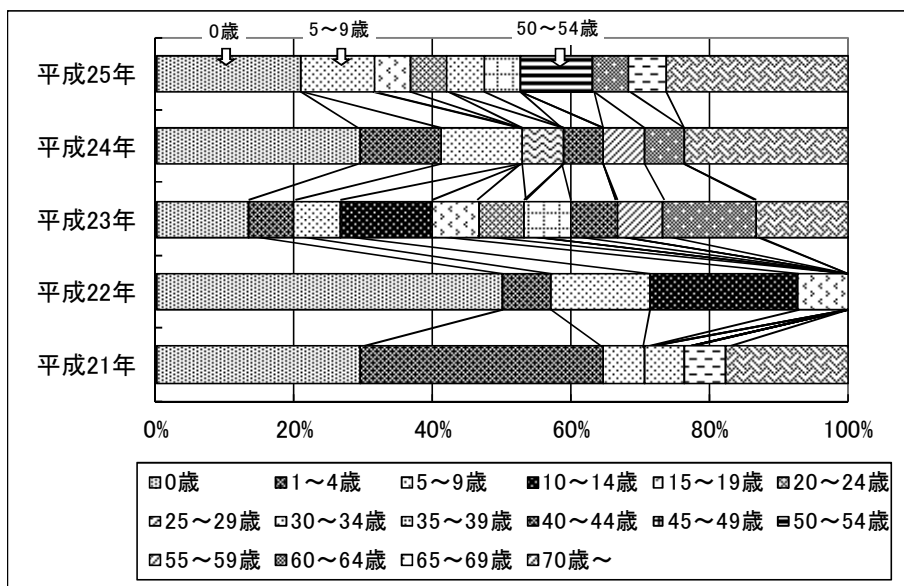


図19-2 細菌性髄膜炎の年齢階級別患者発生割合



(18) 無菌性髄膜炎

無菌性髄膜炎の年間患者数は、平成17年以降20～60人の範囲で増減を繰り返している。本年の患者数は41人であった。

患者の年齢分布は0歳11人（27%）、5～9歳5人（12%）、15～19歳、30～34歳及び70歳以上が各4人（10%）で、0～14歳が全体の46%を占めていた。

図20-1 無菌性髄膜炎の週別定点あたり患者発生状況

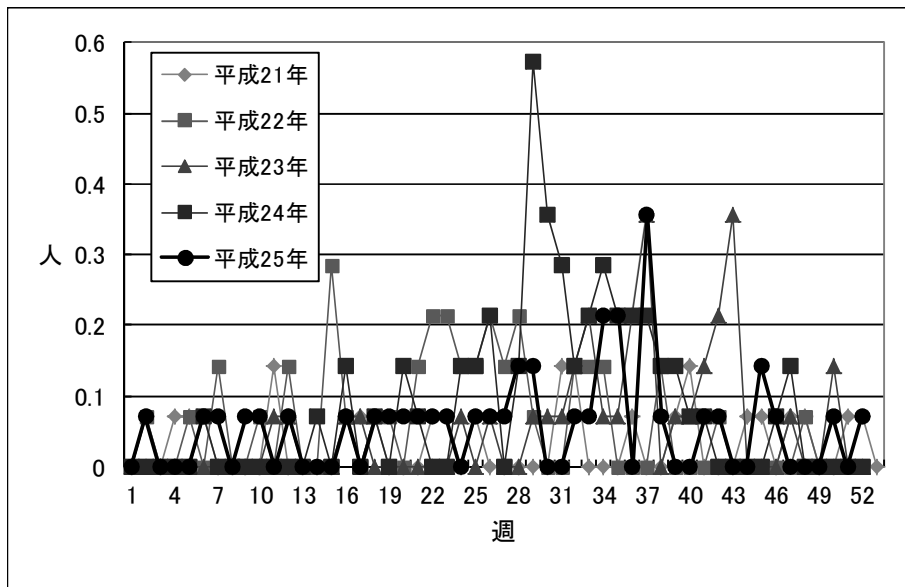
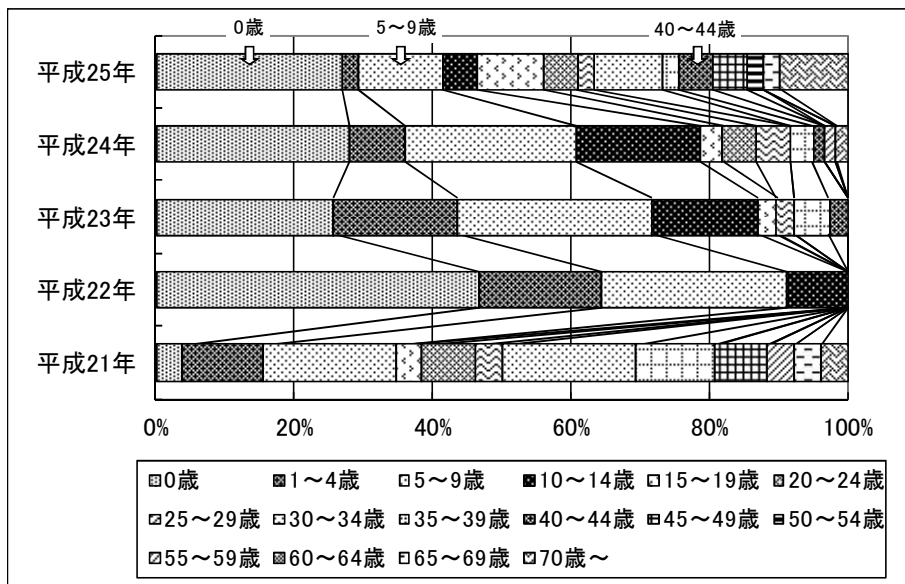


図20-2 無菌性髄膜炎の年齢階級別患者発生割合



(19) マイコプラズマ肺炎

平成22年から増加が始まった年間患者数は昨年484人とピークを示した。本年は患者数が減少して258人であった。

年齢階級別患者発生割合は1～4歳26%、5～9歳17%、10～14歳7%と1～14歳が50%を占めていた。15歳未満の割合が年々減少しているのに対して、70歳以上は12%と増加していた。

図21-1 マイコプラズマ肺炎の週別定点あたり患者発生状況

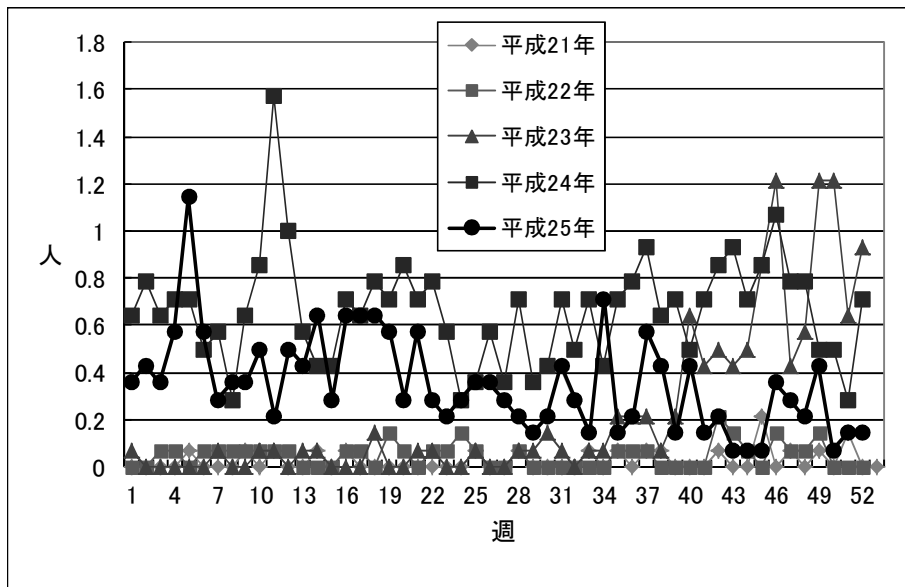
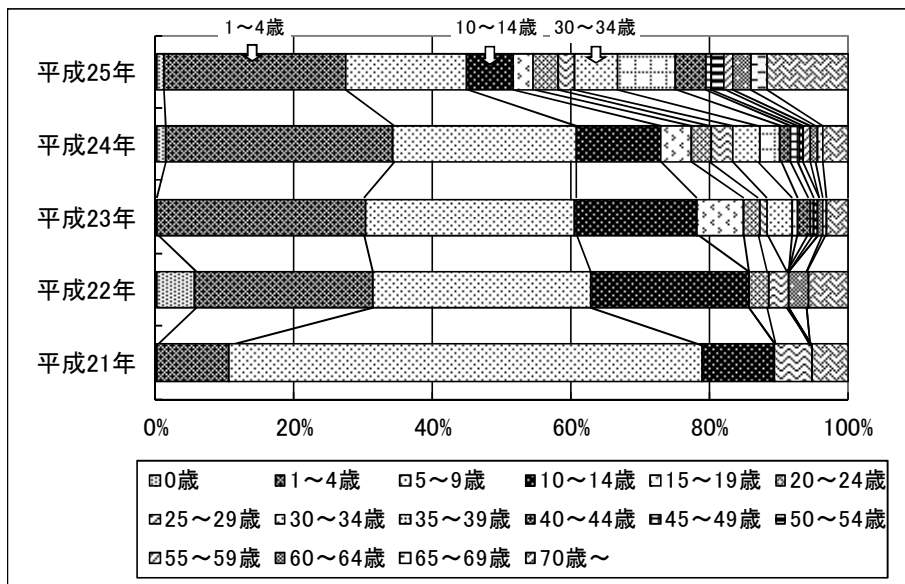


図21-2 マイコプラズマ肺炎の年齢階級別患者発生割合



(20) クラミジア肺炎（オウム病を除く）

年間患者数は昨年の25人から減少して8人であった。

年齢階級別患者は5～9歳の4人が最多で、10～14歳、15～19歳、25～29歳及び70歳以上が各1人であった。

図22-1 クラミジア肺炎（オウム病を除く）の週別定点あたり患者発生状況

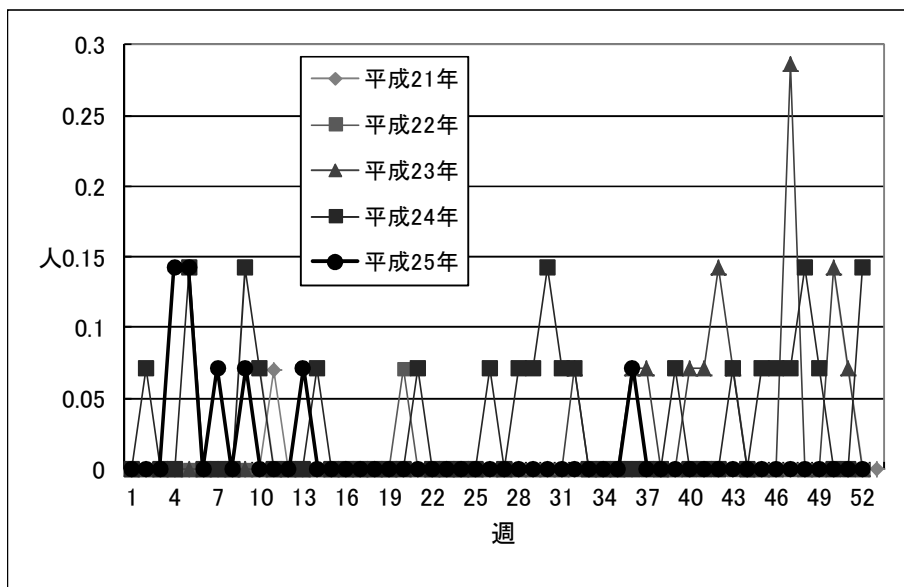
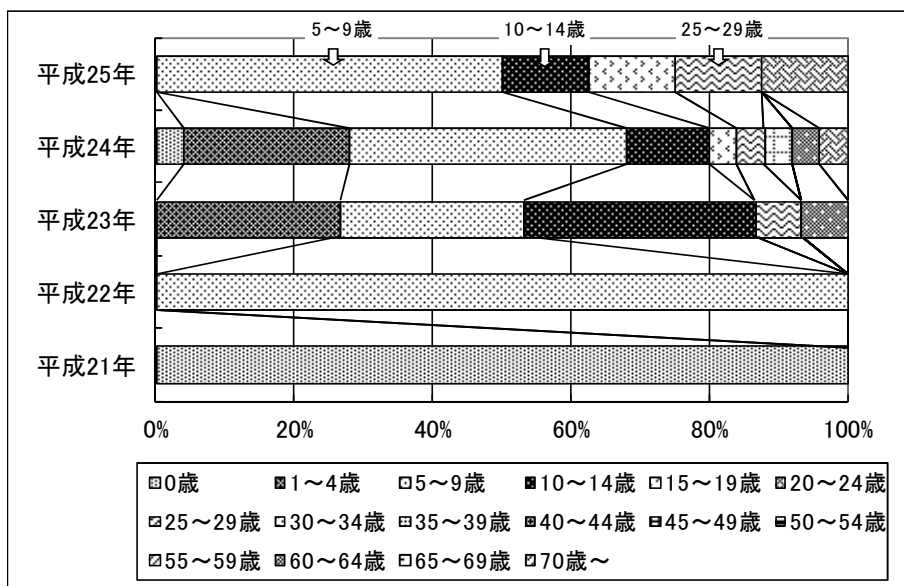


図22-2 クラミジア肺炎（オウム病を除く）の年齢階級別患者発生割合



(21) 性器クラミジア感染症

年間患者数は912人（定点あたり19.83人）で、昨年の854人（18.57人）よりわずかに増大した。性別患者発生割合は、男性54%、女性46%であった。

性別年齢階級別患者発生割合では、男性は20～24歳20%、25～29歳17%、30～34歳16%、35～39歳14%の順で、20～44歳の患者が男性患者の77%を占めていた。女性は20～24歳34%、25～29歳20%、15～19歳20%、30～34歳14%の順で、15～34歳の患者が女性患者の88%を占めていた。

図23-1 性器クラミジア感染症の月別定点あたり患者発生状況

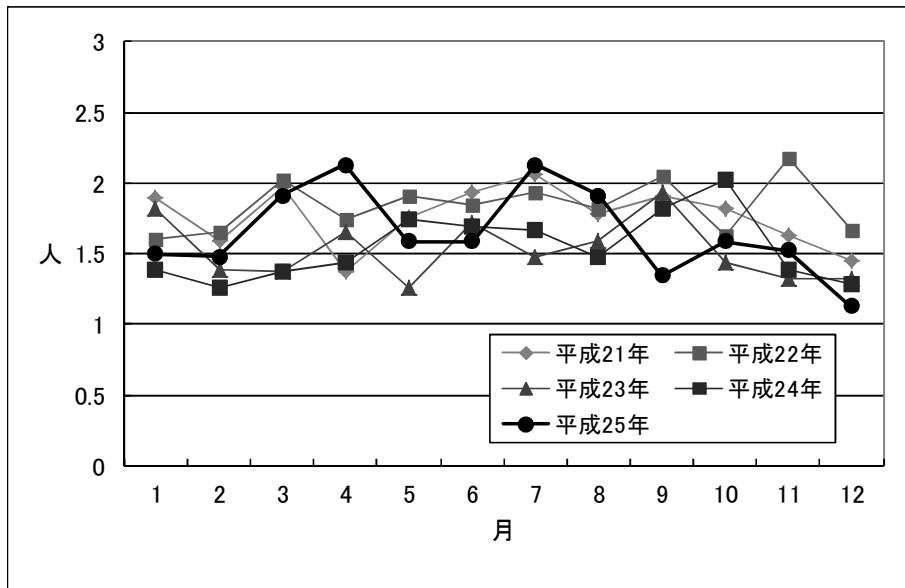


図23-2 性器クラミジア感染症の性別患者発生割合

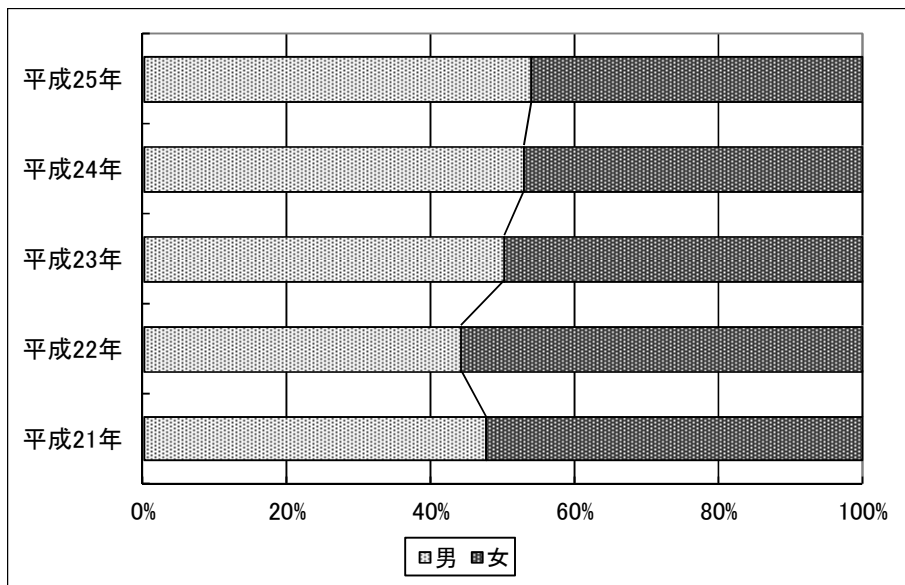


図23-3 性器クラミジア感染症の年齢階級別患者発生割合（男性）

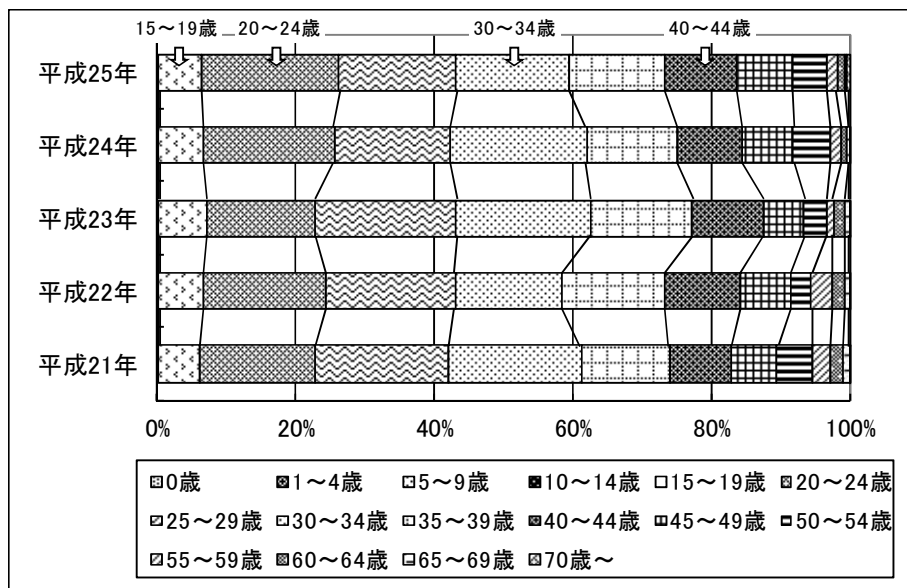
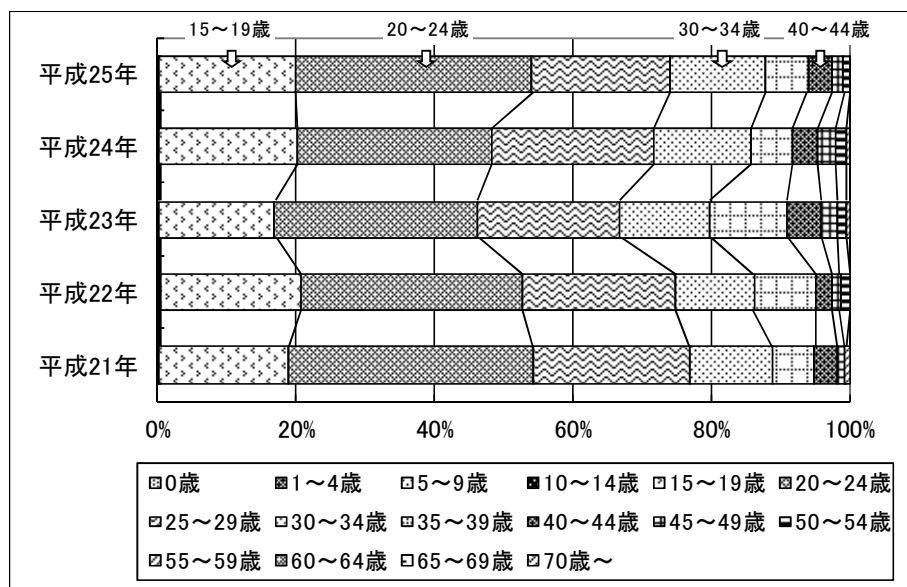


図23-4 性器クラミジア感染症の年齢階級別患者発生割合（女性）



(22) 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者数は288人（定点あたり6.26人）で、昨年の264人（5.74人）よりわずかに増大した。性別患者発生割合は、男性40%、女性60%と女性が多かった。

性別年齢階級別患者は15歳以上の年齢層に分布している。男性は30～34歳18%、40～44歳15%、35～39歳14%、20～24歳11%の順で、20～49歳の患者が男性患者の73%を占めていた。女性は20～24歳14%、30～34歳13%、25～29歳12%、35～39歳11%の順で、20～49歳の患者が女性患者の68%を占めていた。

図24-1 性器ヘルペスウイルス感染症の月別定点あたり患者発生状況

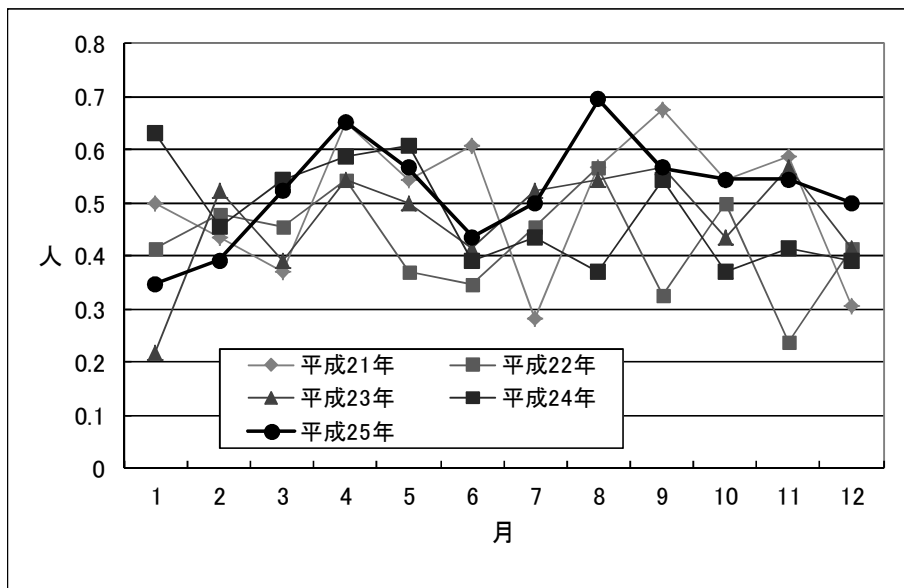


図24-2 性器ヘルペスウイルス感染症の性別患者発生割合

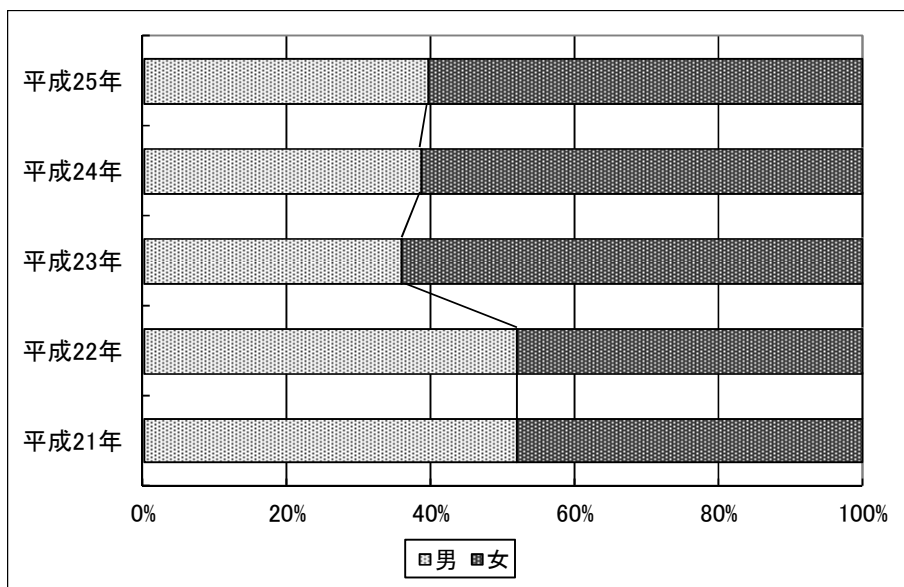


図24-3 性器ヘルペスウイルス感染症の年齢階級別患者発生割合（男性）

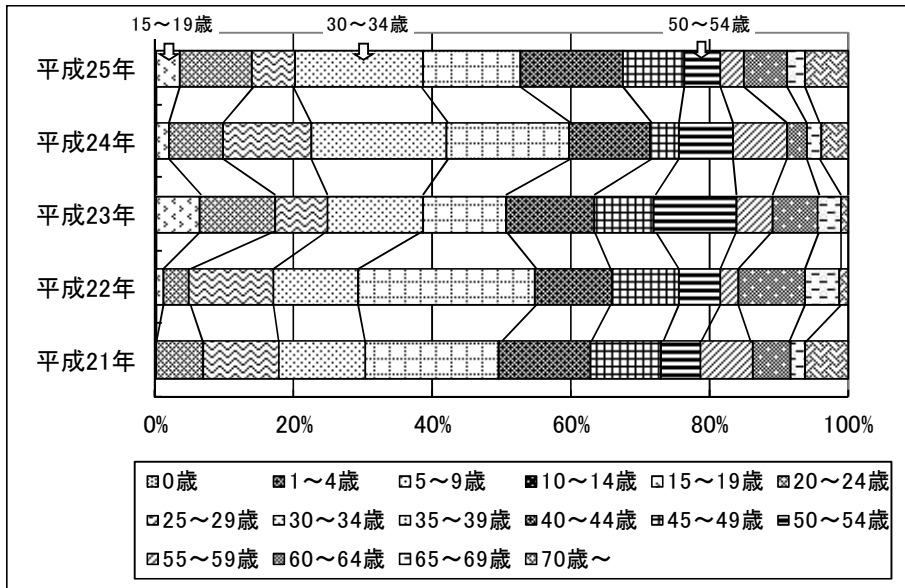
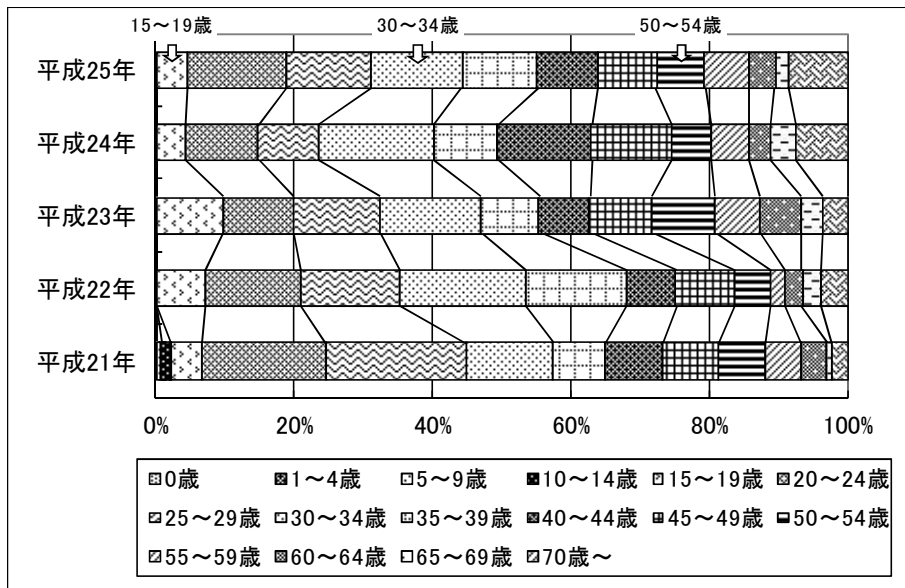


図24-3 性器ヘルペスウイルス感染症の年齢階級別患者発生割合（女性）



(23) 尖圭コンジローマ

年間患者数は160人（定点あたり3.48人）で、昨年の145人（3.15人）よりわずかに増大した。性別患者発生割合は例年と同様で、男性が全体の74%を占めていた。

性別年齢階級別患者発生割合では、男性は25～29歳19%、30～34歳17%、40～44歳15%、35～39歳13%の順で、20～49歳の患者が男性患者の82%を占めていた。女性は20～24歳27%、25～29歳22%、15～19歳20%、30～34歳10%の順で、15～34歳の患者が女性患者の78%を占めていた。

図25-1 尖圭コンジローマの月別定点あたり患者発生状況

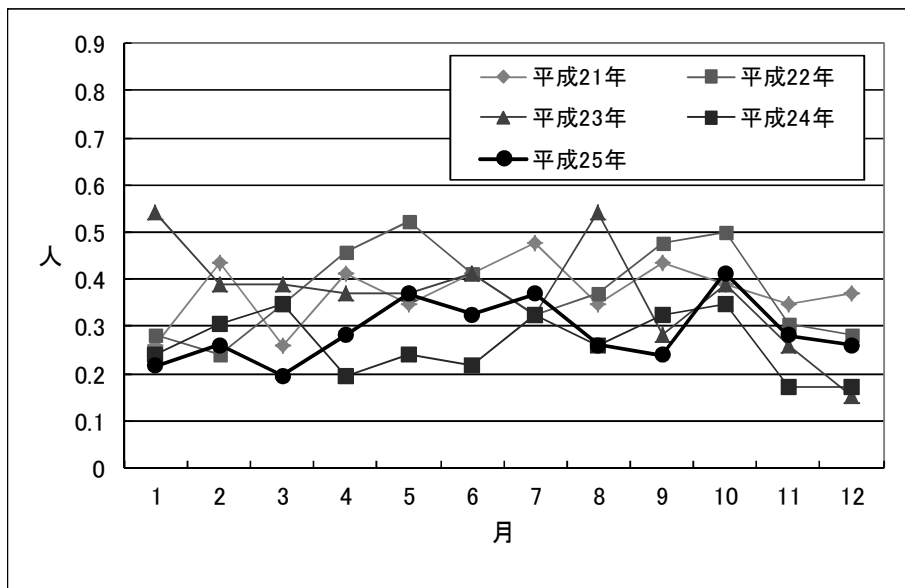


図25-2 尖圭コンジローマの性別患者発生割合

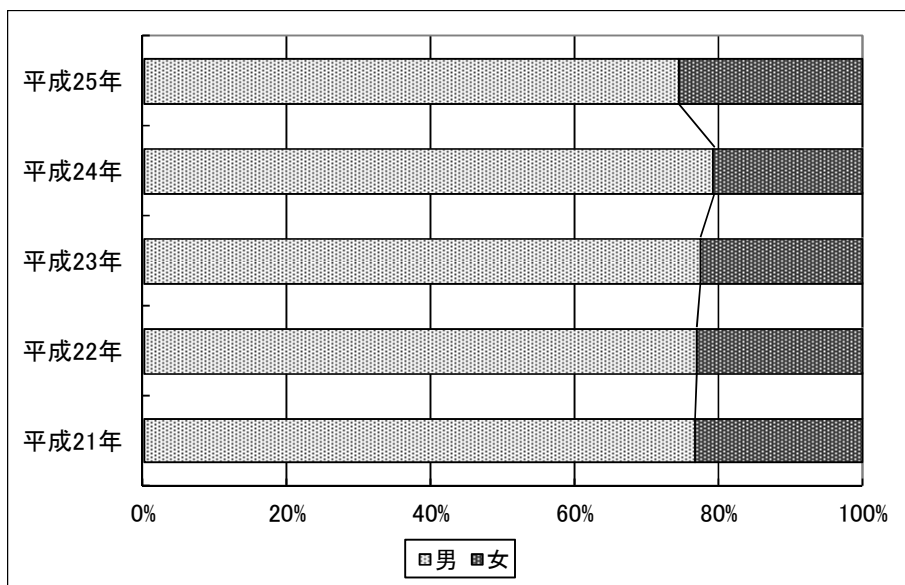


図25-3 尖圭コンジローマの年齢階級別患者発生割合（男性）

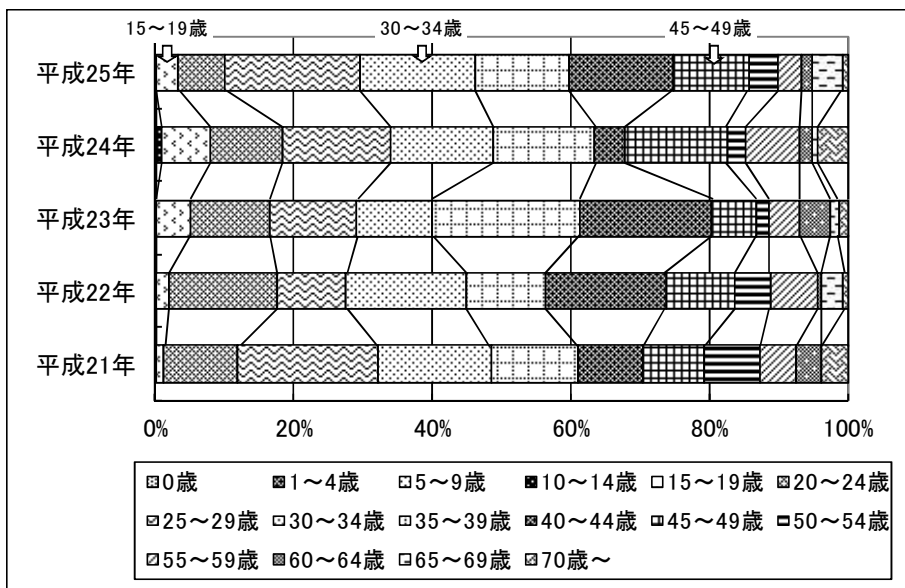
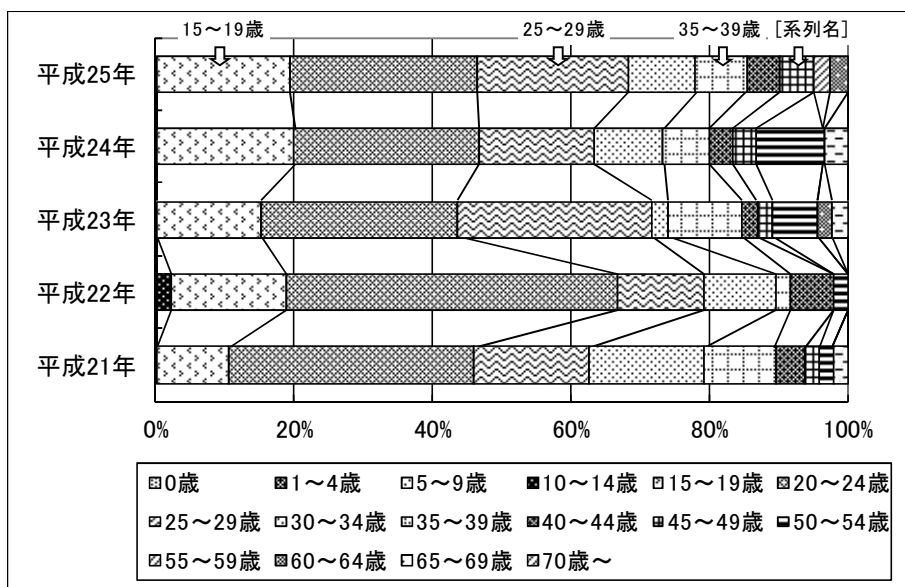


図25-3 尖圭コンジローマの年齢階級別患者発生割合（女性）



(24) 淋菌感染症

年間患者数は350人（定点あたり7.61人）で、昨年の379人（8.24人）よりわずかに減少した。性別患者発生割合は例年同様で、男性患者が全体の86%を占めていた。

性別年齢階級別患者発生割合では、男性は25～29歳19%、20～24歳18%、30～34歳15%、40～44歳12%の順で、15～44歳の患者が男性患者の85%を占めていた。女性は15～19歳31%、20～24歳21%、30～34歳13%、25～29歳10%の順で、15～34歳の患者が女性患者の75%を占めていた。

図26-1 淋菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

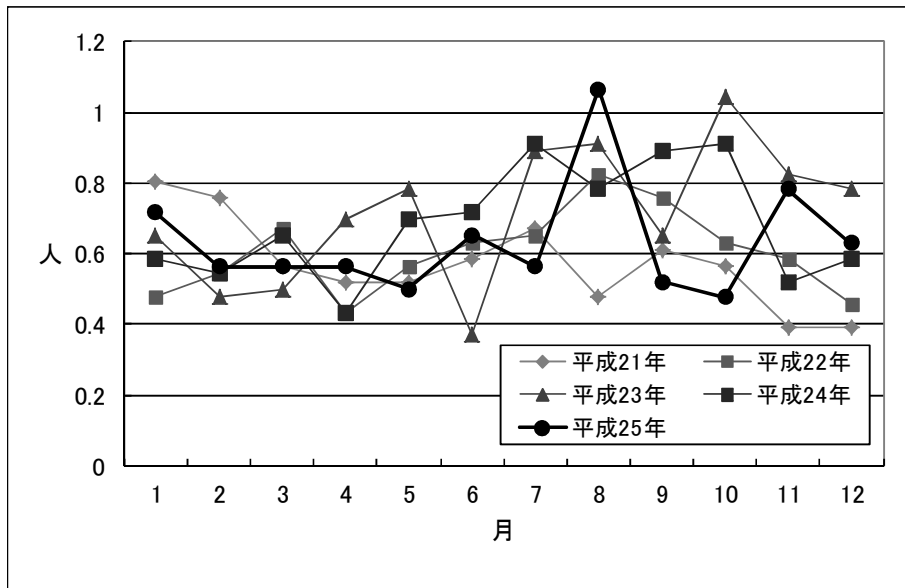


図26-2 淋菌感染症の性別患者発生割合

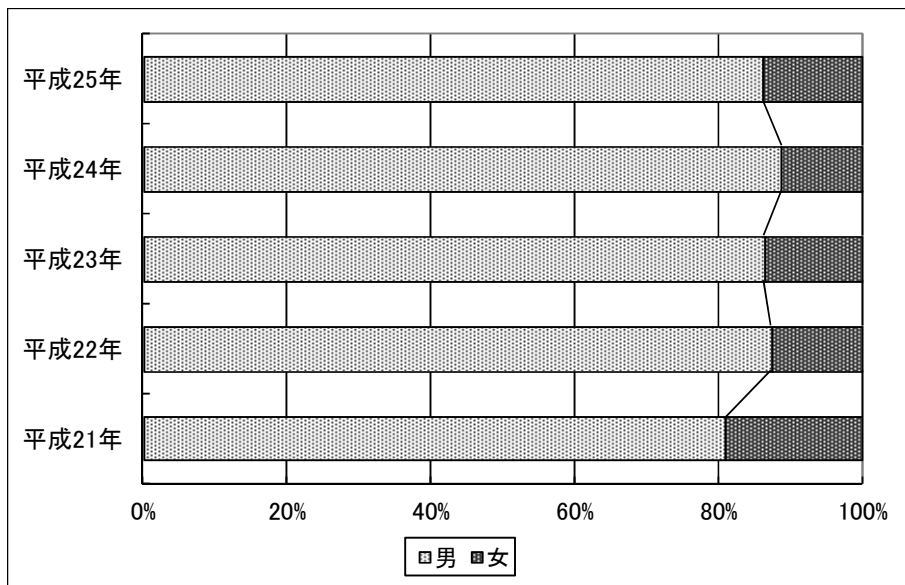


図26-3 淋菌感染症の年齢階級別患者発生割合（男性）

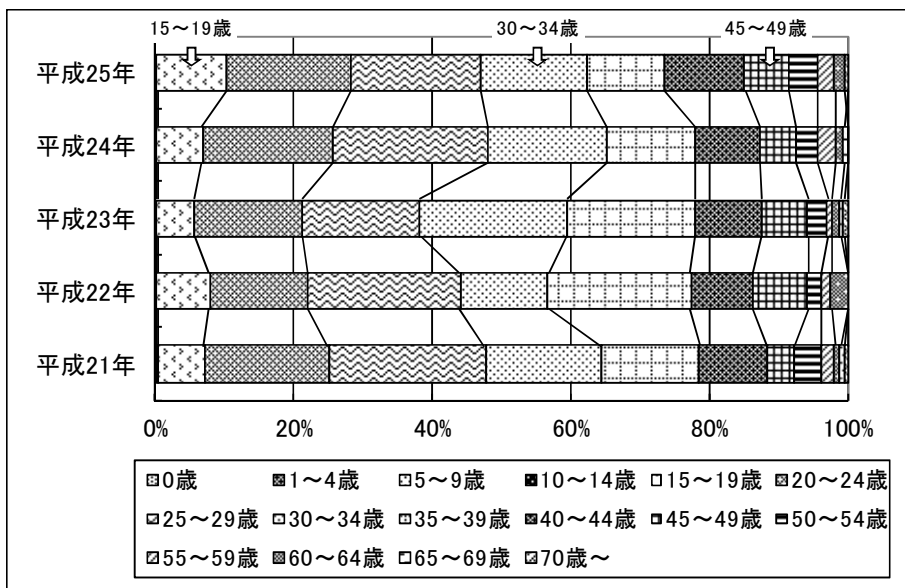
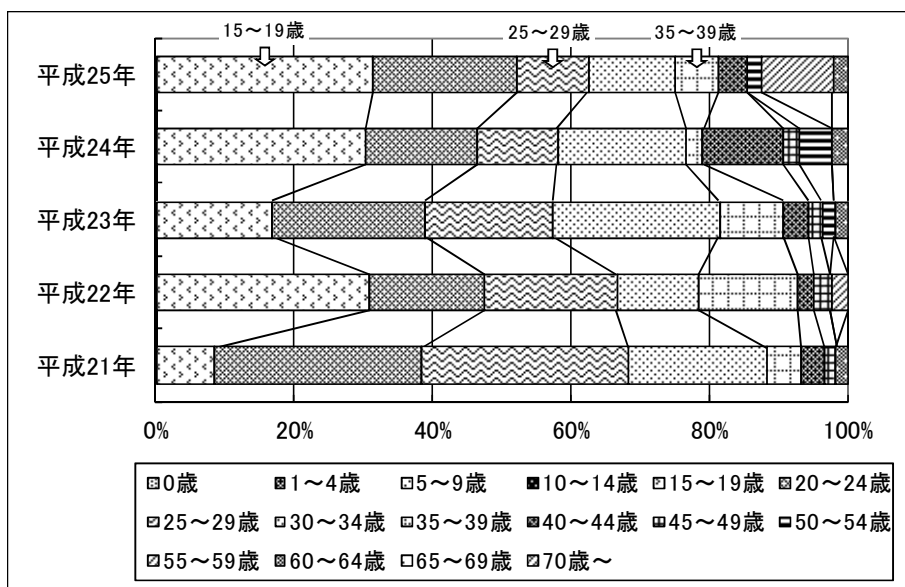


図26-4 淋菌感染症の年齢階級別患者発生割合（女性）



(25) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

年間患者数は475人(定点あたり39.58人)で、昨年の424人(30.29人)よりわずかに増大した。
 年齢階級別患者発生割合は例年と同様で、70歳以上の患者が全体の63%、60歳以上が全体の78%を占めていた。

図27-1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

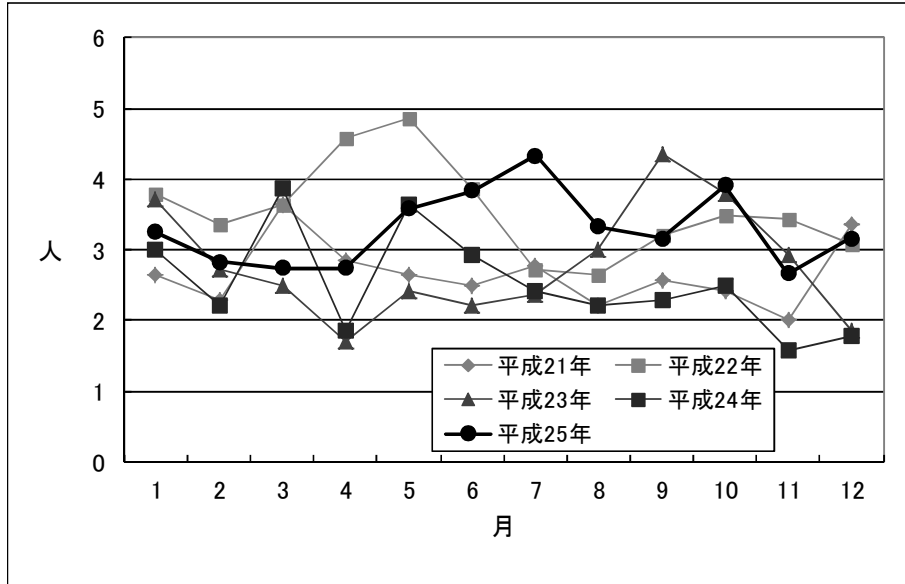
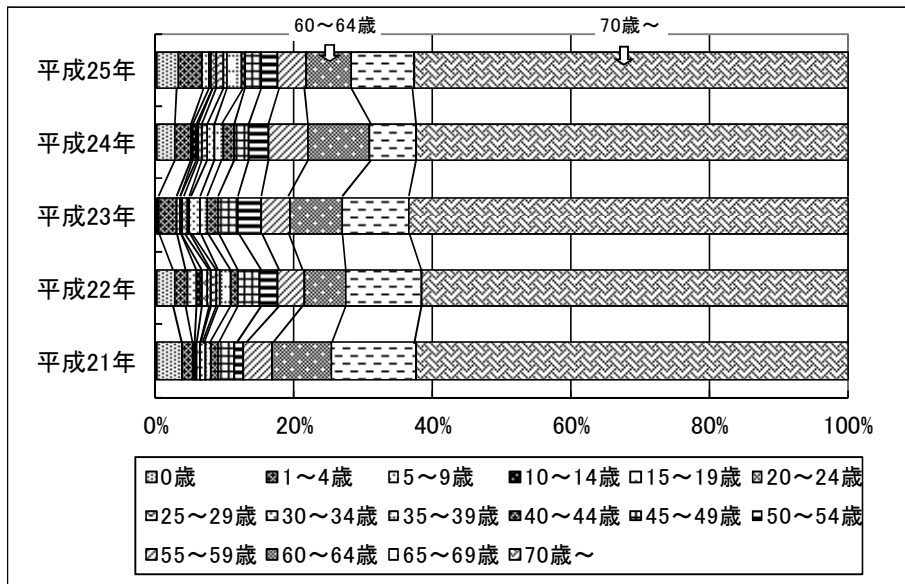


図27-2 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の年齢階級別患者発生割合



(26) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

年間患者数は136人（定点あたり11.33人）で、昨年の31人（2.21人）より増大した。

年齢階級別患者発生割合は、70歳以上の患者が全体の58%、60歳以上が全体の76%を占めていた。

図28-1 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

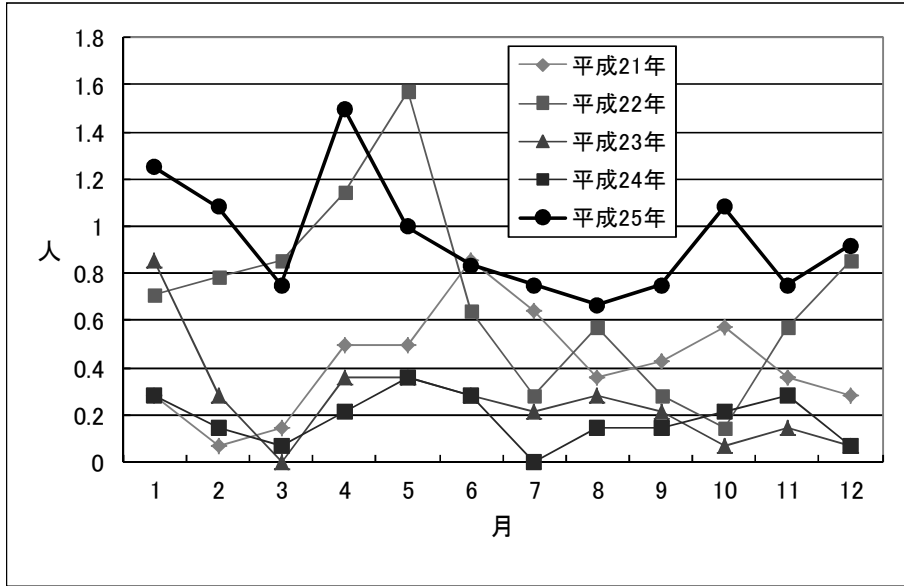
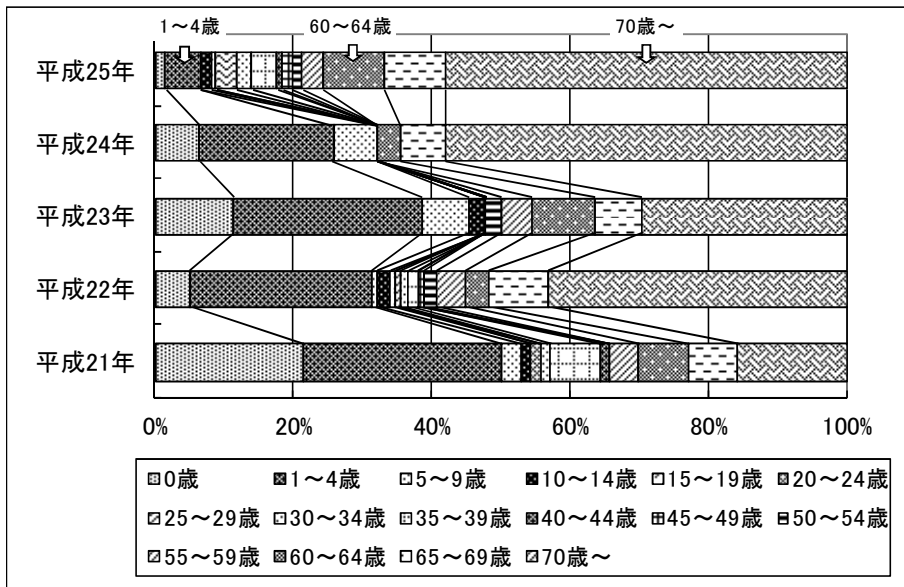


図28-2 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の年齢階級別患者発生割合



(27) 薬剤耐性緑膿菌感染症

年間患者数は4人（定点あたり0.33人）で、昨年の6人（0.43人）より2人減少した。年齢階級別患者数は、50～54歳が1人、70歳以上が3人であった。

図29-1 薬剤耐性緑膿菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

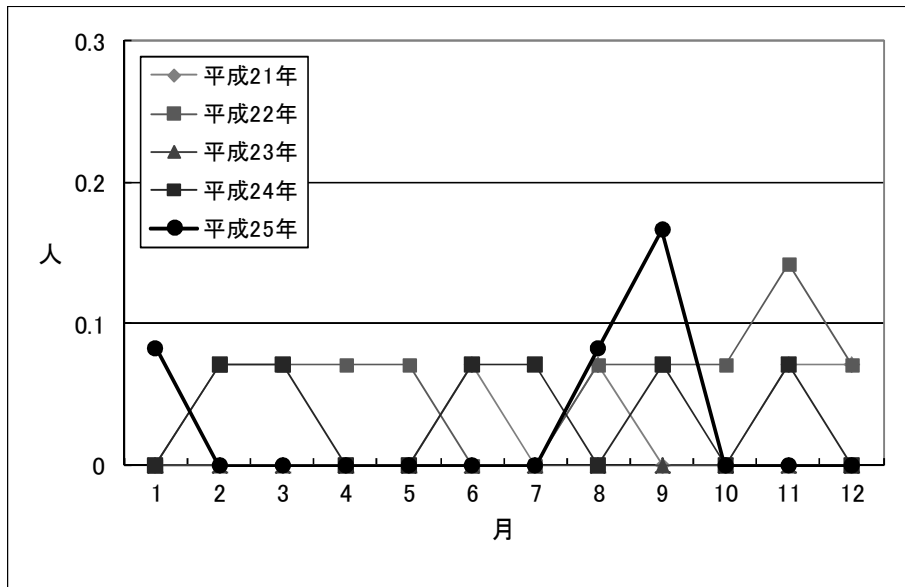
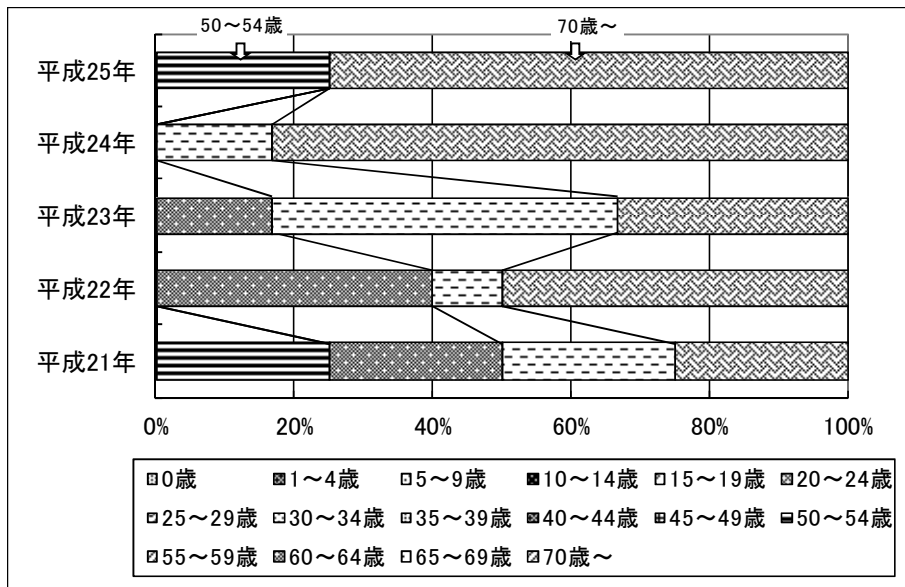


図29-2 薬剤耐性緑膿菌感染症の年齢階級別患者発生割合



薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日より対象疾病となっているが、平成25年までに患者は1人も報告されていない。

3. 病原微生物検出状況

(1) 細菌による食中毒（疑）事例（平成 25 年）

月日	健康福祉事務所	病原菌	件数	当所での検査等	
5.20	加古川	黄色ブドウ球菌	2	病原遺伝子検出、エンテロトキシン産生、 コアグララーゼ型別	
8.14	加古川	黄色ブドウ球菌	1	病原遺伝子検出、エンテロトキシン産生、 コアグララーゼ型別	
8.15	明石	カンピロバクター・ジエジエニ	1	血清型別、病原遺伝子検出	
11.15	洲本	サルモネラ	1	血清型別、ファージ型*	
11.28	洲本	サルモネラ	1	血清型別	
12.17	芦屋	黄色ブドウ球菌	1	病原遺伝子検出、エンテロトキシン産生、 コアグララーゼ型別	
月日	健康福祉事務所	エンテロトキシン検査	件数	陽性件数	陽性検体
5.20	加古川	SE	3	1	牛飯弁当の牛飯

*：国立感染症研究所で実施

(2) その他の細菌検査（平成 25 年）

月日	健康福祉事務所	病原菌	件数	当所での検査等
3.14	宝塚	レジオネラ	1	PCR 法による同定
3.28	洲本	サルモネラ	1	血清型別
11.15	洲本	サルモネラ	1	血清型別
11.28	洲本	サルモネラ	1	血清型別

(3) クドア（ヒラメ寄生虫）の検査（平成 25 年）

月日	健康福祉事務所	病原体	検査件数	陽性検体		陰性検体	
5.15	加古川	クドア	1	1	ヒラメ	0	
6.7	明石	クドア	2	0		2	患者便
10.15	洲本	クドア	1	1	ヒラメ	0	

(4) 腸管出血性大腸菌感染症事例 (平成 25 年)

月日	健康福祉事務所	血清型	毒素型 (VT)	感染者数 (株数)	感染者間の関係等	PFGE型
3.25	龍野	O157:H7	1&2	1		12O157029
3.25	洲本	O26:H-	1	1		12O26005
5.27	洲本	O157:H-	2	5	家族および保母	13O157001
6.11	龍野	O157:H7	1&2	2	家族	13O157002
6.12	加古川	O91:H21	2	1		13O91001
6.13	洲本	O26:H11	1	6	保育所	13O26001
6.17	明石	O26:H11	1	1		13O26002
6.24	洲本	O26:H11	1	7	保育所	13O26001,001b, 13O26003
7.2	伊丹	O157:H-	1&2	1		13O157003
7.3	伊丹	O157:H-	1&2	12	7.2の家族および 保育所とその家族	13O157003,003b
7.5	洲本	O26:H11	1	1	保育所	13O26001
7.5	洲本	O26:H11	1	1		13O26004
7.11	加古川	O26:H11	1	1		13O26002
7.30	宝塚	O157:H7	2	1		13O157005
7.31	龍野	O157:H7	2	1		13O157006
8.9	宝塚	O157:H7	2	1	7.30の家族	13O157005b
8.16	洲本	O26:H11	1	3	家族	13O26005
8.16	洲本	O145:H-	1	3	家族	13O145001
8.16	洲本	O26:H11	1	2	家族	13O26001
8.19	宝塚	O157:H7	2	1		13O157007
9.3	明石	O157:H7	1&2	1		13O157008
8.27	伊丹	O157:H7	1&2	2	同一患者	13O157008b,008c
8.27	伊丹	O157:H7	1&2	1		13O157009
8.27	伊丹	O157:H7	1&2	1		13O157008d
9.3	宝塚	O157:H-	1&2	1		13O157010
9.11	龍野	O157:H7	1&2	6	スポーツ合宿 および家族	13O157004
9.11	赤穂	O157:H7	1&2	1	スポーツ観戦	13O157004
9.24	龍野	O157:H7	1&2	1	スポーツ合宿家族	13O157004
9.27	加東	O157:H7	1&2	2	家族	13O157011
9.27	加東	O157:H7	1&2	2	家族	13O157012,012b
9.27	加東	O157:H7	1&2	3	家族	13O157013,013b
9.27	洲本	O26:H11	1	2	家族	13O26006
10.9	伊丹	O157:H7	1&2	1		13O157014
10.28	洲本	O26:H11	1	2	家族	13O26007
10.29	宝塚	O157:H-	1&2	1		13O157015

月日	健康福祉事務所	血清型	毒素型 (VT)	感染者数 (株数)	感染者間の関係等	PFGE型
11.6	加古川	O157:H7	1&2	1		13O157016
11.11	豊岡	O111:H-	1&2	3	家族	13O111001
11.11	加東	O157:H7	2	1		13O157017
11.15	洲本	O26:H11	1	1		13O26008
11.18	伊丹	O157:H7	2	1		13O157018
11.29	洲本	O157:H-	1&2	1		13O157019
12.12	伊丹	O157:H-	2	1		13O157020
12.13	洲本	O26:H11	1	1		13O26009
12.13	洲本	O157:H7	2	2	家族	13O157021,021b
12.16	加東	O157:H7	1&2	1		13O157022

(5) 結核 QFT 検査 (平成 25 年)

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
1.7	加古川	1	0	0	1	0
1.11	加東	28	1	2	25	0
1.15	明石	1	1	0	0	0
1.21	加古川	10	0	0	10	0
1.21	洲本	7	0	0	7	0
1.21	豊岡	11	0	1	10	0
1.21	赤穂	1	0	0	1	0
1.21	明石	7	0	2	5	0
1.22	伊丹	2	0	0	2	0
1.24	伊丹	2	0	0	2	0
1.28	豊岡	10	1	1	8	0
1.28	明石	7	0	0	7	0
2.4	加古川	3	0	0	3	0
2.4	芦屋	1	0	0	1	0
2.4	明石	3	1	0	2	0
2.18	加古川	3	0	0	3	0
2.18	朝来	21	0	4	17	0
2.18	宝塚	2	0	0	2	0
2.20	加古川	37	8	0	29	0
2.22	龍野	3	0	0	3	0
2.25	宝塚	3	0	1	2	0
2.25	中播磨	9	1	0	8	0
2.25	芦屋	1	0	0	1	0
2.25	伊丹	2	0	0	2	0
3.1	丹波	2	0	0	2	0
3.4	伊丹	1	0	0	1	0
3.4	伊丹	2	0	0	2	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
3.4	宝塚	1	0	1	0	0
3.5	加東	2	0	0	2	0
3.6	丹波	17	0	1	16	0
3.6	丹波	2	0	0	2	0
3.11	朝来	8	0	1	7	0
3.11	加古川	11	2	1	8	0
3.11	明石	1	0	0	1	0
3.13	豊岡	4	0	0	4	0
3.15	龍野	2	0	0	2	0
3.18	朝来	4	1	0	3	0
3.18	加古川	18	2	2	14	0
3.18	芦屋	3	0	0	3	0
3.18	宝塚	4	2	1	1	0
3.18	伊丹	2	0	1	1	0
3.18	明石	3	0	0	3	0
3.18	加東	20	1	1	18	0
3.21	伊丹	1	0	0	1	0
3.25	豊岡	2	0	0	2	0
3.25	加古川	20	2	1	17	0
3.25	宝塚	4	0	0	4	0
3.28	宝塚	1	0	0	1	0
3.29	丹波	5	0	1	4	0
4.1	伊丹	4	0	0	4	0
4.8	加古川	7	0	1	6	0
4.8	宝塚	1	0	0	1	0
4.15	伊丹	1	0	0	1	0
4.15	宝塚	3	0	0	3	0
4.15	洲本	11	2	0	9	0
4.15	芦屋	2	1	0	1	0
4.15	明石	2	1	0	1	0
4.16	洲本	1	0	0	1	0
4.22	龍野	13	2	1	10	0
4.22	加古川	2	0	0	2	0
4.22	宝塚	4	0	1	3	0
4.26	明石	7	0	1	5	1
4.26	丹波	2	0	1	1	0
4.30	伊丹	2	0	0	2	0
5.10	丹波	1	0	0	1	0
5.13	加古川	9	1	0	8	0
5.13	宝塚	9	0	1	8	0
5.13	伊丹	1	0	0	1	0
5.13	明石	10	1	0	9	0
5.17	龍野	6	0	0	6	0
5.20	赤穂	4	1	0	3	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
5.20	伊丹	3	0	0	3	0
5.20	宝塚	1	0	0	1	0
5.21	加東	29	7	4	18	0
5.24	丹波	4	0	0	4	0
5.27	洲本	19	1	0	18	0
5.27	加古川	9	2	0	7	0
5.27	伊丹	5	1	0	4	0
5.27	伊丹	1	0	0	1	0
5.31	伊丹	1	1	0	0	0
5.31	宝塚	2	0	0	2	0
6.4	加東	13	0	0	13	0
6.7	丹波	16	2	0	14	0
6.10	中播磨	3	0	0	3	0
6.10	伊丹	6	0	0	6	0
6.10	伊丹	11	0	0	11	0
6.10	宝塚	4	0	0	4	0
6.10	加古川	39	2	3	34	0
6.10	加古川	12	0	0	12	0
6.10	明石	1	0	0	1	0
6.17	加古川	26	3	0	23	0
6.17	赤穂	3	0	0	3	0
6.17	芦屋	1	0	0	1	0
6.17	宝塚	4	0	0	3	1
6.17	明石	5	0	1	4	0
6.18	加東	4	0	0	4	0
6.24	龍野	7	0	0	7	0
6.24	加古川	1	0	0	1	0
6.24	洲本	20	0	1	19	0
6.24	伊丹	1	0	0	1	0
6.24	宝塚	3	1	0	2	0
6.24	明石	4	0	0	4	0
6.28	丹波	29	1	0	28	0
7.1	伊丹	3	0	0	3	0
7.1	宝塚	6	1	0	5	0
7.2	丹波	1	0	0	1	0
7.5	龍野	5	0	0	5	0
7.5	洲本	6	1	0	5	0
7.8	宝塚	1	0	0	1	0
7.8	朝来	1	0	0	1	0
7.8	朝来	2	0	0	2	0
7.8	伊丹	1	0	0	1	0
7.8	宝塚	6	0	0	6	0
7.8	赤穂	1	0	0	1	0
7.8	明石	1	0	0	1	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
7.16	伊丹	2	0	0	2	0
7.19	龍野	2	0	0	2	0
7.22	伊丹	5	0	0	5	0
7.22	宝塚	8	0	1	7	0
7.26	洲本	5	1	0	4	0
7.29	伊丹	10	0	0	10	0
8.5	丹波	14	0	1	13	0
8.5	明石	1	0	0	1	0
8.6	加東	12	0	0	12	0
8.12	加古川	8	0	1	7	0
8.12	伊丹	1	1	0	0	0
8.12	明石	1	0	0	1	0
8.16	洲本	2	1	0	1	0
8.16	豊岡	7	0	0	7	0
8.19	龍野	13	0	2	10	1
8.19	宝塚	8	0	2	6	0
8.19	明石	12	1	1	10	0
8.26	明石	1	0	0	1	0
8.26	加古川	2	0	0	2	0
8.26	宝塚	7	1	2	4	0
8.30	丹波	30	0	4	26	0
9.2	宝塚	1	0	0	1	0
9.2	芦屋	2	0	0	2	0
9.3	加東	8	0	1	7	0
9.5	豊岡	5	0	0	5	0
9.9	加古川	4	1	0	3	0
9.9	宝塚	2	0	0	2	0
9.9	伊丹	1	0	0	1	0
9.9	明石	6	2	2	2	0
9.12	龍野	4	0	0	4	0
9.13	丹波	3	0	0	3	0
9.24	宝塚	1	0	0	1	0
9.27	洲本	14	1	2	11	0
9.30	宝塚	6	1	0	5	0
9.30	芦屋	6	0	0	6	0
10.1	加東	14	1	0	13	0
10.1	加東	11	0	0	11	0
10.7	加古川	7	1	1	5	0
10.7	宝塚	5	0	0	5	0
10.7	芦屋	1	0	0	1	0
10.7	芦屋	1	0	0	1	0
10.7	明石	4	0	0	4	0
10.9	伊丹	2	0	0	2	0
10.11	丹波	4	0	1	3	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
10.21	加古川	5	0	0	5	0
10.21	明石	1	1	0	0	0
10.21	中播磨	5	0	0	5	0
10.21	宝塚	1	0	0	1	0
10.21	伊丹	2	1	0	1	0
10.21	芦屋	1	0	0	1	0
10.28	洲本	11	1	1	9	0
10.28	宝塚	4	0	0	4	0
10.28	芦屋	1	1	0	0	0
10.28	伊丹	2	0	1	1	0
10.28	明石	3	0	0	3	0
11.8	豊岡	8	0	2	6	0
11.8	丹波	3	0	0	3	0
11.11	加古川	7	2	0	5	0
11.11	宝塚	2	0	0	2	0
11.11	中播磨	7	0	0	7	0
11.11	明石	1	0	0	1	0
11.12	加東	5	0	0	5	0
11.15	洲本	26	2	2	22	0
11.15	丹波	1	0	0	1	0
11.18	豊岡	37	4	5	28	0
11.18	伊丹	3	0	0	2	1
11.18	芦屋	1	0	0	1	0
11.19	加東	12	0	3	9	0
11.25	龍野	4	0	0	4	0
11.25	赤穂	1	0	0	1	0
11.25	芦屋	1	0	0	1	0
11.25	伊丹	4	0	0	3	1
11.27	豊岡	3	1	0	2	0
11.29	丹波	2	0	0	2	0
12.2	宝塚	7	0	0	7	0
12.6	丹波	1	0	0	1	0
12.9	赤穂	1	0	0	1	0
12.9	加古川	1	0	0	1	0
12.9	宝塚	2	0	0	2	0
12.9	明石	3	0	0	3	0
12.11	豊岡	1	0	1	0	0
12.13	洲本	7	0	1	6	0
12.13	洲本	1	0	0	1	0
12.13	丹波	7	0	0	7	0
12.16	宝塚	6	1	1	4	0
12.16	伊丹	3	0	0	3	0
12.20	龍野	3	0	0	3	0
12.24	伊丹	1	0	0	1	0

(6) インフルエンザ流行予測調査検査成績 (平成 25 年)

検体搬入年月	検体数	ウイルス検出数				合計
		A(H1N1) pdm09	A(H3N2)型	B 型		
				Yamagata 系統	Victoria 系統	
2013.1	64	3	56	2	3	64
2013.2	25	0	21	3	1	25
2013.3	41	1	26	12	1	40
2013.4	43	2	17	8	8	35
2013.5	33	0	11	11	11	33
2013.6	4	0	1	0	1	2
2013.7	0	0	0	0	0	0
2013.8	0	0	0	0	0	0
2013.9	0	0	0	0	0	0
2013.10	1	0	0	0	0	0
2013.11	0	0	0	0	0	0
2013.12	4	0	1	1	2	4
合計	215	6	133	37	27	203

(7) 日本脳炎流行予測調査結果：ブタ血清中の HI 抗体価 (平成 25 年)

採血年月日	検査頭数	HI 抗体価								陽性率(%)	2ME 感受性(%)
		<10	10	20	40	80	160	320	≥640		
2013.7.9	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013.7.19	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013.7.23	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013.8.7	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013.8.20	10	9	0	0	0	0	0	0	1	10	100
2013.8.27	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013.9.4	10	8	0	0	0	0	2	0	0	20	100
2013.9.17	10	7	0	0	0	2	0	0	1	30	67

(8) 肝炎ウイルス検査結果 (健康福祉事務所等からの依頼検査) (平成 25 年)

		平成 25 年 (月)												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
B 型肝炎 (血清：HBs 抗原検査)	検体数	38	31	37	42	23	50	55	46	49	43	46	80	540
	陽性数	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	6
C 型肝炎 (血清：HCV 抗体検査)	検体数	38	31	37	41	22	50	54	46	48	43	44	79	533
	陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A 型肝炎 (糞便：遺伝子検査)	検体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) リケッチア等の検査 (平成 25 年度)

疾患名	検体数	検査内容	備考
日本紅斑熱	6	抗体検査、遺伝子検査	
つつが虫病	6	抗体検査、遺伝子検査	
重症熱性血小板減少症候群	11	遺伝子検査	2 検体の確認試験を国立感染症研究所へ依頼
ライム病	1	(抗体検査)	国立感染症研究所へ依頼

(10) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス等検出結果 (平成 25 年)

事例No.	月	日	原因施設	感染経路	原因食	対象者	患者数	検体	検体数	陽性数	検出ウイルス
1	1	7	ホテル	食品疑い	不明	40	19	有症	1	1	NoVG II
2		11	飲食店	食品疑い	カキ疑い	8	6	有症	1	1	NoVG II
3		16	仕出し	食品疑い	不明	37	19	有症	8	8	NoVG II
	従業員							4	2	NoVG II	
	拭き取り							5			
		食品	1								
4	1	12	仕出し	食品疑い	不明		44	有症	15	15	NoVG II
5		15	飲食店	食品疑い	不明	2	2	調理従事者	7		
6		16	弁当	食品疑い	不明	82	38	有症	19	19	NoVG II
	調理従事者							18	7	NoVG II	
	食品							5			
7	2	25	飲食店	食品疑い	不明			調理従事者	2		
8		28	仕出し	食品疑い	不明	40	20	有症	15	15	SaV
								調理従事者	9	3	SaV
	拭き取り							5	1	SaV	
		食品	3								
9	3	5	飲食店	食品疑い	不明			有症	1		
10		6	飲食店	食品疑い	不明	3	3	有症	2	1	NoVG II
11		16	旅館	食品疑い	不明	66	19	有症	20	20	NoVG II
	調理従事者							2	2	NoVG II	
12	4	1	飲食店	食品疑い	不明	3	3	有症	1		
13		1	飲食店	食品疑い	不明	14	9	有症	1	1	NoVG I
								有症	2	2	NoVG I
	有症							1	1	NoVG II	
14	4	4	仕出し	食品疑い	不明			有症	2	1	NoVG II
15		4	仕出し	食品疑い	不明	176	56	有症	1	1	NoVG II
								有症	3	3	NoVG II
16	4	17	飲食店	食品疑い	不明	37	23	有症	14	14	NoVG II
17		27	飲食店	食品疑い	不明			調理従事者	15		
								有症	1	1	SaV
18	5	1	飲食店	食品疑い	不明	17	13	有症	1		
19		11	仕出し	食品疑い	不明	129	35	有症	10	9	SaV
								調理従事者	5	2	SaV
		拭き取り	10								
20	5	23	仕出し	食品疑い	不明	77	63	有症	30	30	NoVG I
								従事者	6	6	NoVG I
								拭き取り	9		
21	6	4	旅館	食品疑い	不明	56	143	調理従事者	9	3	NoVG I
22		7	飲食店	食品疑い	不明	5	4	拭き取り	8	1	NoVG I
								有症	2		
23	7	ホテル	食品疑い	不明	50	7	有症	4			
24	6	20	飲食店	食品疑い	不明	19	10	有症	5	4	NoVG II
								有症	1	1	NoVG II

事例No.	月	日	原因施設	感染経路	原因食	対象者	患者数	検体	検体数	陽性数	検出ウイルス
25	7	5	飲食店	食品疑い	不明	13	7	有症	5	4	NoVG I
								調理従事者	5	3	NoVG I
								拭き取り	7		
26		25	旅館	食品疑い	不明			調理従事者	4		
27	8	8	刑務所	ヒトヒト疑い	不明	55	38	有症	13		
								調理従事者	30		
28		24	飲食店	食品疑い	不明	54	14	有症	5		
								調理従事者	4		
29	10	31	ホテル	食品疑い	不明	74	27	調理従事者	28		
30	11	18	幼稚園	ヒトヒト		30	16	有症	1	1	NoVG II
31		27	飲食店	食品疑い	不明	159	21	有症	16	16	SaV
								調理従事者	4		
32		28	仕出し	食品疑い	不明	50	10	有症	1	1	NoVG I
								調理従事者	9		
33	12	4	飲食店	食品疑い	不明	18	12	有症	5	5	SaV
34		16	飲食店	食品疑い	不明	37	21	有症	15	15(1)	SaV&NoVG II
								調理従事者	10		
35	16	飲食店	食品疑い	不明	134	37	有症	1	1	NoVG II	
36		17	飲食店	食品疑い	不明	34	11	有症	5	4	NoVG II
								調理従事者	10	4	NoVG II
								拭き取り	10		
37		18	飲食店	食品疑い	不明	17	14	有症	1	1	NoVG II
								有症	1	1	NoVG II
38		28	ホテル	食品疑い	不明	48	7	有症	4	3	NoVG II

NoVG I : ノロウイルス G I, NoVG II : ノロウイルス G II, SaV : サポウイルス

(1 1) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数 (平成 25 年)

(インフルエンザの検体を除く)

(検体数)

		平成 25 年												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
検体数		58	71	67	76	82	91	140	111	83	82	88	62	1011
患者数		51	63	66	64	68	76	118	90	63	70	63	52	844
検査材料	咽頭ぬぐい液	21	22	36	35	43	53	98	69	43	22	29	14	485
	鼻腔ぬぐい液	12	15	16	17	15	18	12	13	9	38	30	20	215
	髄液	7	3	5	9	6	9	4	7	7	12	7	3	79
	便	14	28	9	10	12	4	21	14	18	7	15	20	172
	尿	2	3	1	2	5	6	5	4	6	2	5	3	44
	血液	1			2	1			3		1		1	9
	気管吸引液	1					1		1			2	1	6
その他					1									1

(検出件数)

疾患名	平成25年												合計	
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
咽頭結膜熱	Adeno 1	1	1		1								3	
	Adeno 2				2	1	4	3				1	11	
	Adeno 3						1	3	6	2			12	
	Adeno 4			1		2	1						4	
	Adeno 5		1	1									2	
	Adeno 6		1										1	
	CB5							1	2					3
	EV71							1						1
	Rhino				1		2	1						4
滲出性扁桃炎	Adeno 1	1				1							2	4
	Adeno 2		1					1						2
	Adeno 3											1		1
	CA2									1				1
	CA8								1					1
	Rhino		1				1							2
	hMPV		1											1
手足口病	CA6						2	9	3	2				16
	CA8							1						1
	CA16											3		3
	EV71					1	2	3	3					9
	Rhino			1			1	4	2					8
	HHV6							2				1		3
	HHV7						1		2	1				4
ヘルパンギーナ	CA6						1	1						2
	CA8							2	2					4
	CA10						1	1		1				3
	Rhino						1	1		1				3
	HHV7							1						1
無菌性髄膜炎	CB1								1					1
	CB3							1		2	2			5
	Echo 6									4	1			5
	Echo 11										1	1		2
	EV71									1				1
感染性胃腸炎	Noro G II	5	3	1				1		1	1	3	8	23
	Rota	4	16	4	2		1		1				2	30
	Sapo	2	1	2	1							2	1	9
	Astro					2		1						3
	Parecho								1	2			1	4
	Adeno 1					1								1
	Adeno 5					1							1	2
	Adeno 31				1			1						2
	Adeno 41	1												1
	CA6							1						1
	CA8								1					1
	CB5							1						1
	Echo 6											2		2
	Rhino		2	1	1		1		1	1		1	1	9
	HHV6												1	1
	HHV7											1		1

疾患名	平成25年												合計	
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
ウイルス性発疹症	Adeno 1				1									1
	Adeno 2							1						1
	Adeno 31						1							1
	CA6						1							1
	EV71							1						1
	HSV 1						1							1
	Rhino	1	1			1		2					1	6
	HHV6	1	1				1	1	3				2	9
	HHV7					2								2
百日咳	百日咳菌			1	1	1	1		1	1	1	2		9
	Rhino				1	3		1	1			1	1	8
	RS	1			1									2
	PIV 3					1								1
	PIV4								1					1
RSウイルス感染症	RS	6	4	1	1	2		3	2	7	22	11	9	68
	Adeno 1										1			1
	EV68									1		1		2
	Rhino										5	3	1	9
上気道炎	Adeno 2	1		1		1	2							5
	CA2								1					1
	CA4								1					1
	CA6							1	1					2
	CB2										1			1
	CB3								1	1				2
	CB5							2						2
	Echo11										2			2
	EV68									2				2
	EV71							1						1
	RS								2	2		1		5
	PIV1								2	1				3
	Rhino	1	1	1		1	4	4	6	2	1	1		22
	HHV6						1	2				1	1	5
	hMPV		1	1										2
	下気道炎	Adeno 1						1						
Adeno 2				1	3									4
Adeno 3									1					1
Adeno 6									1					1
CA8								2						2
CB5											1			1
Echo 6									1					1
EV68								2	2	4	1	1		10
Rhino		1	1	6	7	5	1	6	2	4	1	2		36
HHV6			1											1
RS					1	1			1	1	4	1	1	10
hMPV			1	3	11			1						16
PIV 1									1	1		1		3
PIV 3									2					2
パラ百日咳菌									1					1
肺炎マイコプラズマ								1					1	

疾患名	平成25年												合計	
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月
その他	Adeno 1		1											1
	Adeno 2					1								1
	Adeno 5			1										1
	CA6							3	5					8
	CA8							1						1
	CB1							1						1
	CB4							1						1
	Echo 11									1			2	3
	Rhino	1	1	1	1	1	1	2		1	2	1	1	13
	HHV6						1					1	1	3
	HHV7					1								1
	Noro G II											1		1
	Parecho											1		1
	RS	1										1		2
	PIV1										1			1
	PIV3						1							1
	HSV	1												1
	EBV	2							1					3
CMV			1									1	2	
MSSA								1					1	
検 出 数 (合 計)		31	41	29	37	30	38	83	66	47	47	49	35	533

CA : コクサッキーウイルス A 群, CB : コクサッキーウイルス B 群, Echo : エコーウイルス,

EV : エンテロウイルス, hMPV : ヒューマン・メタニューモウイルス, PIV : パラインフルエンザウイルス,

HHV : ヒトヘルペスウイルス, HSV : 単純ヘルペスウイルス, CMV : サイトメガロウイルス,

VZV : 水痘帯状疱疹ウイルス, MSSA : メチシリン感受性黄色ブドウ球菌

4. 資 料

(1) 全数把握対象疾病の患者数

付表1-1：全数把握対象疾病の年間患者数（平成25年）	53
付表1-2：全数把握対象疾病の週別患者数（届出のあった疾病）（平成25年）	54
付表1-3：全数把握対象疾病の保健所別患者数（届出のあった疾病）（平成25年）	55

(2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数

付表2-1：週報対象疾病の週別患者数（平成25年）	56
付表2-2：週報対象疾病の週別定点あたり患者数（平成25年）	57
付表2-3：月報対象疾病の月別患者数（平成25年）	58
付表2-4：月報対象疾病の月別定点あたり患者数（平成25年）	58

(3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数

付表3-1：週報対象疾病の保健所別患者数（平成25年）	59
付表3-2：週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（平成25年）	60
付表3-3：月報対象疾病の保健所別患者数（平成25年）	61
付表3-4：月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（平成25年）	61

(4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数

付表4-1：週報対象疾病の年齢階級別患者数（平成25年）	62
付表4-2：週報対象疾病の年齢階級別患者割合（平成25年）	63
付表4-3：月報対象疾病の年齢階級別患者数（平成25年）	64
付表4-4：月報対象疾病の年齢階級別患者割合（平成25年）	64

(5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数

付表5：月報対象疾病の性別患者数と割合（平成25年）	64
----------------------------	----

(6) 定点医療機関一覧表

付表6：定点医療機関一覧表（平成25年1月～12月）	65
----------------------------	----

付表1-1 全数把握対象疾病の年間患者数(平成25年)

疾 病 名			疾 病 名		
		計			計
一 類 感 染 症	エボラ出血熱	0	四 類 感 染 症 (2)	日本脳炎	1
	クリミア・コンゴ出血熱	0		ハンタウイルス肺症候群	0
	痘そう	0		Bウイルス病	0
	南米出血熱	0		鼻疽	0
	ペスト	0		ブルセラ症	0
	マールブルグ病	0		ベネズエラウマ脳炎	0
	ラッサ熱	0		ヘンドラウイルス感染症	0
二 類 感 染 症	急性灰白髄炎	0	発しんチフス	0	
	結核	1451	ボツリヌス症	0	
	ジフテリア	0	マラリア	0	
	重症急性呼吸器症候群*1	0	野兔病	0	
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	ライム病	2	
三 類 感 染 症	コレラ	1	リッサウイルス感染症	0	
	細菌性赤痢	1	リフトバレー熱	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	161	類鼻疽	0	
	腸チフス	3	レジオネラ症	42	
	パラチフス	1	レプトスピラ症	0	
四 類 感 染 症 (1)	E型肝炎	0	ロッキー山紅斑熱	0	
	ウエストナイル熱*2	0	アメーバ赤痢	43	
	A型肝炎	5	ウイルス性肝炎*4	12	
	エキノкокクス症	1	急性脳炎*5	2	
	黄熱	0	クリプトスポリジウム症	0	
	オウム病	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	12	
	オムスク出血熱	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15	
	回帰熱	0	五 類 感 染 症	52	
	キャサヌル森林病	0	後天性免疫不全症候群	52	
	Q熱	0	ジアルジア症	6	
	狂犬病	0	侵襲性インフルエンザ菌感染症*7	8	
	コクシジオイデス症	0	侵襲性髄膜炎菌感染症*7	0	
	サル痘	0	侵襲性肺炎球菌感染症*7	52	
	重症熱性血小板減少症候群*6	2	先天性風しん症候群	0	
	腎症候性出血熱	0	梅毒	36	
	西部ウマ脳炎	0	破傷風	3	
	ダニ媒介脳炎	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	
	炭疽	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	
	チクングニア熱	1	風しん	1174	
	つつが虫病	2	麻しん	7	
デング熱	9	髄膜炎菌性髄膜炎*8	0		
東部ウマ脳炎	0	指定 感 染 症			
鳥インフルエンザ**3	0	鳥インフルエンザ(H7N9)*9	0		
ニパウイルス感染症	0				
日本紅斑熱	5				

*1病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。*2ウエストナイル脳炎を含む。*3H5N1及びH7N9を除く。

*4E型肝炎及びA型肝炎を除く。

*5ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*6病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る(平成25年3月4日より追加)。

*7平成25年4月1日より追加。*8平成25年3月31日までの届出対象。*9平成25年5月6日より追加。

付表1-2 全数把握対象疾病の週別患者数(届出のあった疾病)(平成25年)

疾病名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
二類感染症 結核	6	27	25	33	43	26	19	35	25	28	39	18	27	28	29	30	18	16	22	18	28	32	32	31	29	42	31	
三類感染症 コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腸管出血性大腸菌感染症	0	0	2	0	1	0	1	3	0	1	1	0	0	0	2	2	4	0	0	1	1	1	10	12	5	14	1	
腸チフス	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
四類感染症 A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
重症熱性血小板減少症候群*6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
日本紅斑熱	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	1	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
五類感染症 アメーバ赤痢	1	0	1	0	2	0	0	4	1	1	2	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	2	0	1	2	1	
ウイルス性肝炎*4	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
急性脳炎*5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	
後天性免疫不全症候群	0	0	2	0	3	0	1	1	1	0	2	0	1	1	2	2	0	1	1	1	1	5	2	1	2	3	0	
ジアルジア症	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
侵襲性インフルエンザ菌感染症*7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
侵襲性肺炎球菌感染症*7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	1	2	0	3	2	1	1	1	0	
梅毒	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	3	0	0	2	2	0	1	2	1	2	1	1	
破傷風	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
風しん	0	2	0	10	8	10	8	18	20	21	15	25	52	54	55	64	55	54	77	84	104	76	63	57	44	28	32	
麻疹	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	

疾病名	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	計
二類感染症 結核	32	17	37	26	28	26	35	22	29	26	27	23	31	44	34	33	34	26	23	24	39	22	17	30	29	1451
三類感染症 コレラ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腸管出血性大腸菌感染症	0	1	5	7	7	10	13	7	5	10	3	1	4	3	6	0	5	1	1	0	5	1	1	1	2	161
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
四類感染症 A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
重症熱性血小板減少症候群*6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
つつが虫病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	9
日本紅斑熱	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
レジオネラ症	3	2	0	0	2	2	0	2	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	2	1	3	1	0	42
五類感染症 アメーバ赤痢	0	2	0	2	1	0	2	1	2	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	1	0	1	0	1	43
ウイルス性肝炎*4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	12
急性脳炎*5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	15
後天性免疫不全症候群	0	3	0	0	1	0	2	0	1	2	0	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	1	52
ジアルジア症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症*7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	8
侵襲性肺炎球菌感染症*7	2	2	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	2	2	3	4	1	2	2	3	4	52
梅毒	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	36
破傷風	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
風しん	38	21	21	15	7	2	3	7	3	4	1	1	0	2	1	1	2	2	0	0	0	2	1	4	0	1174
麻疹	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7

*4 E型肝炎及びA型肝炎を除く。

*5 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*6 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る(平成25年3月4日より追加)。

*7 平成25年4月1日より追加。

付表1-3 全数把握対象疾病の保健所別患者数(届出のあった疾病)(平成25年)

疾 病 名		神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
二 類 感 染 症	結核	486	145	102	109	29	80	68	79	117	84
三 類 感 染 症	コレラ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	40	11	10	10	0	20	5	3	3	10
	腸チフス	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
四 類 感 染 症	A型肝炎	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	エキノкокクス症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*6}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	1	3	0	1	0	2	0	1	1	0
	日本紅斑熱	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	13	3	2	4	0	1	4	0	2	5
五 類 感 染 症	ア메ーバ赤痢	11	8	3	8	0	3	3	1	4	0
	ウイルス性肝炎 ^{*4}	4	0	0	2	0	1	2	2	0	1
	急性脳炎 ^{*5}	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	2	0	2	0	2	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	3	1	0	0	0	2	0	2	0
	後天性免疫不全症候群	30	3	5	4	0	3	1	1	2	1
	ジアルジア症	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 ^{*7}	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症 ^{*7}	23	10	6	1	0	1	1	0	5	2
	梅毒	17	1	7	2	0	0	3	1	0	0
	破傷風	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	風しん	317	333	44	139	6	114	91	41	25	12
	麻疹	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0

疾 病 名		龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
二 類 感 染 症	結核	30	25	8	18	7	34	30	1451
三 類 感 染 症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	11	2	0	3	0	1	32	161
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	3
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	1
四 類 感 染 症	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*6}	0	0	0	2	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	1	0	0	0	0	0	2
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3	5
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	0	0	0	7	0	0	1	42
五 類 感 染 症	ア메ーバ赤痢	1	0	0	0	1	0	0	43
	ウイルス性肝炎 ^{*4}	0	0	0	0	0	0	0	12
	急性脳炎 ^{*5}	0	0	0	0	0	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	1	0	0	12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	15
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	0	1	52
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 ^{*6}	0	0	0	0	0	0	0	8
	侵襲性肺炎球菌感染症 ^{*6}	0	0	0	0	0	0	3	52
	梅毒	0	3	0	0	0	0	2	36
	破傷風	0	0	0	1	0	0	0	3
	風しん	10	14	1	5	1	8	13	1174
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	7

^{*4}E型肝炎及びA型肝炎を除く。

^{*5}ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

^{*6}病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る(平成25年3月4日より追加)。

^{*7}平成25年4月1日より追加。

付表2-1 週報対象疾病の週別患者数(平成25年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
インフルエンザ*1	240	1280	2944	5892	7302	5808	3624	3300	2599	2005	1568	1307	852	503	385	536	672	429
RSウイルス感染症	95	176	103	89	59	59	43	50	27	29	27	17	13	20	14	7	18	11
咽頭結膜熱	20	40	51	61	41	50	48	36	67	73	66	40	50	46	32	58	55	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	129	109	159	121	166	161	162	160	187	178	147	117	100	118	132	104	83
感染性胃腸炎	377	1066	969	1103	1109	1209	1224	1412	1559	1752	1719	1473	1333	1129	1235	1327	1430	909
水痘	143	244	175	176	158	198	130	162	128	167	154	135	148	149	147	126	134	122
手足口病	0	5	1	1	1	5	8	12	9	4	2	5	6	3	5	8	16	15
伝染性紅斑	1	2	1	6	9	6	7	8	5	7	5	5	6	4	4	7	8	3
突発性発しん	13	71	47	47	47	45	42	48	57	56	60	48	49	63	75	79	91	49
百日咳	0	4	0	2	1	0	0	0	2	2	0	3	4	2	1	2	0	0
ヘルパンギーナ	1	1	0	2	0	0	3	0	0	5	4	0	4	2	1	0	6	3
流行性耳下腺炎	10	13	14	14	11	9	19	10	4	11	12	10	8	17	18	11	9	11
急性出血性結膜炎	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	7	37	11	11	11	14	6	8	14	15	15	12	14	15	11	17	23	13
細菌性髄膜炎*2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
無菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
マイコプラズマ肺炎	5	6	5	8	16	8	4	5	5	7	3	7	6	9	4	9	9	9
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾 病 名	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
インフルエンザ*1	351	455	217	92	78	46	8	6	0	0	3	2	4	3	0	0	0	2
RSウイルス感染症	10	12	9	10	10	13	4	7	7	5	13	16	16	23	27	20	38	52
咽頭結膜熱	56	79	77	86	93	86	84	70	75	67	46	65	51	47	28	38	48	63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	141	234	155	186	145	134	120	92	87	118	95	83	75	83	44	55	58	41
感染性胃腸炎	1269	1345	1191	1057	1035	926	770	713	637	545	488	519	459	510	316	495	429	496
水痘	188	250	222	210	195	169	158	100	112	89	85	93	92	81	57	76	54	59
手足口病	16	24	33	54	71	119	165	256	478	675	882	1272	1169	1083	687	512	388	344
伝染性紅斑	12	12	11	7	4	9	3	1	9	18	1	5	9	6	2	5	7	2
突発性発しん	71	78	79	72	72	103	85	63	95	82	66	71	79	64	48	57	84	88
百日咳	2	0	3	1	1	2	1	0	1	1	2	10	2	6	1	5	2	1
ヘルパンギーナ	1	5	6	22	50	59	94	156	258	394	520	667	613	533	300	220	221	135
流行性耳下腺炎	16	28	20	32	19	29	33	28	27	33	16	23	19	12	11	22	21	20
急性出血性結膜炎	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0
流行性角結膜炎	12	28	14	36	41	30	31	33	25	16	15	36	31	45	26	35	43	41
細菌性髄膜炎*2	1	0	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
無菌性髄膜炎	1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	2	0	0	1	1	3	3	0
マイコプラズマ肺炎	8	4	8	4	3	4	5	5	4	3	2	3	6	4	2	10	2	3
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾 病 名	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	計
インフルエンザ*1	1	0	1	12	29	2	11	4	12	36	23	44	63	71	192	288	43302
RSウイルス感染症	141	155	163	174	217	192	189	232	155	212	208	201	198	198	198	163	4145
咽頭結膜熱	57	24	35	32	29	24	15	35	28	50	45	60	63	62	54	45	2677
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	52	48	64	80	50	79	94	80	64	86	103	119	140	141	109	5672
感染性胃腸炎	458	386	385	461	443	481	598	710	694	928	981	1446	1655	2062	2453	1928	51604
水痘	68	54	49	67	92	70	64	118	122	150	168	202	235	263	295	250	7353
手足口病	321	196	149	118	102	96	79	88	66	66	55	62	43	29	25	10	9839
伝染性紅斑	11	6	8	6	12	4	5	7	3	1	7	2	11	6	4	3	313
突発性発しん	72	55	57	63	73	65	73	39	59	61	67	70	70	58	51	47	3324
百日咳	0	0	3	0	0	0	2	6	0	2	2	2	3	1	1	0	86
ヘルパンギーナ	128	66	43	33	36	17	20	12	15	12	7	3	5	5	4	1	4693
流行性耳下腺炎	19	21	22	22	21	21	22	20	19	12	11	17	25	12	18	17	919
急性出血性結膜炎	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	20
流行性角結膜炎	47	28	19	24	11	15	23	20	14	24	18	15	5	17	9	23	1104
細菌性髄膜炎*2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	19
無菌性髄膜炎	5	1	0	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	41
マイコプラズマ肺炎	8	6	2	6	2	3	1	1	1	5	4	3	6	1	2	2	258
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

*1鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *2インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。 *3平成25年10月14日より追加。

付表2-2 週報対象疾病の週別定点あたり患者数(平成25年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
インフルエンザ ^{*1}	1.21	6.43	14.79	29.61	36.69	29.19	18.21	16.58	13.06	10.08	7.88	6.57	4.28	2.53	1.93	2.69	3.38	2.16
RSウイルス感染症	0.74	1.36	0.80	0.69	0.46	0.46	0.33	0.39	0.21	0.22	0.21	0.13	0.10	0.16	0.11	0.05	0.14	0.09
咽頭結膜熱	0.16	0.31	0.40	0.47	0.32	0.39	0.37	0.28	0.52	0.57	0.51	0.31	0.39	0.36	0.25	0.45	0.43	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.23	1.00	0.84	1.23	0.94	1.29	1.25	1.26	1.24	1.45	1.38	1.14	0.91	0.78	0.91	1.02	0.81	0.64
感染性胃腸炎	2.92	8.26	7.51	8.55	8.60	9.37	9.49	10.95	12.09	13.58	13.33	11.42	10.33	8.75	9.57	10.29	11.09	7.05
水痘	1.11	1.89	1.36	1.36	1.22	1.53	1.01	1.26	0.99	1.29	1.19	1.05	1.15	1.16	1.14	0.98	1.04	0.95
手足口病	0.00	0.04	0.01	0.01	0.01	0.04	0.06	0.09	0.07	0.03	0.02	0.04	0.05	0.02	0.04	0.06	0.12	0.12
伝染性紅斑	0.01	0.02	0.01	0.05	0.07	0.05	0.05	0.06	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	0.03	0.03	0.05	0.06	0.02
突発性発しん	0.10	0.55	0.36	0.36	0.36	0.35	0.33	0.37	0.44	0.43	0.47	0.37	0.38	0.49	0.58	0.61	0.71	0.38
百日咳	0.00	0.03	0.00	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.01	0.01	0.00	0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.04	0.03	0.00	0.03	0.02	0.01	0.00	0.05	0.02
流行性耳下腺炎	0.08	0.10	0.11	0.11	0.09	0.07	0.15	0.08	0.03	0.09	0.09	0.08	0.06	0.13	0.14	0.09	0.07	0.09
急性出血性結膜炎	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.20	1.06	0.31	0.31	0.31	0.40	0.17	0.23	0.40	0.43	0.43	0.34	0.40	0.43	0.31	0.49	0.66	0.37
細菌性髄膜炎 ^{*2}	0.00	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.07	0.00	0.07	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07
マイコプラズマ肺炎	0.36	0.43	0.36	0.57	1.14	0.57	0.29	0.36	0.36	0.50	0.21	0.50	0.43	0.64	0.29	0.64	0.64	0.64
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.14	0.14	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾 病 名	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
インフルエンザ ^{*1}	1.76	2.29	1.09	0.46	0.39	0.23	0.04	0.03	0.00	0.00	0.02	0.01	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01
RSウイルス感染症	0.08	0.09	0.07	0.08	0.08	0.10	0.03	0.05	0.05	0.04	0.10	0.12	0.12	0.18	0.21	0.16	0.29	0.40
咽頭結膜熱	0.43	0.61	0.60	0.67	0.72	0.67	0.65	0.54	0.58	0.52	0.36	0.50	0.40	0.36	0.22	0.29	0.37	0.49
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.81	1.20	1.44	1.12	1.04	0.93	0.71	0.67	0.91	0.74	0.64	0.58	0.64	0.34	0.43	0.45	0.32
感染性胃腸炎	9.84	10.43	9.23	8.19	8.02	7.18	5.97	5.53	4.94	4.22	3.78	4.02	3.56	3.95	2.45	3.84	3.33	3.84
水痘	1.46	1.94	1.72	1.63	1.51	1.31	1.22	0.78	0.87	0.69	0.66	0.72	0.71	0.63	0.44	0.59	0.42	0.46
手足口病	0.12	0.19	0.26	0.42	0.55	0.92	1.28	1.98	3.71	5.23	6.84	9.86	9.06	8.40	5.33	3.97	3.01	2.67
伝染性紅斑	0.09	0.09	0.09	0.05	0.03	0.07	0.02	0.01	0.07	0.14	0.01	0.04	0.07	0.05	0.02	0.04	0.05	0.02
突発性発しん	0.55	0.60	0.61	0.56	0.56	0.80	0.66	0.49	0.74	0.64	0.51	0.55	0.61	0.50	0.37	0.44	0.65	0.68
百日咳	0.02	0.00	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.00	0.01	0.01	0.02	0.08	0.02	0.05	0.01	0.04	0.02	0.01
ヘルパンギーナ	0.01	0.04	0.05	0.17	0.39	0.46	0.73	1.21	2.00	3.05	4.03	5.17	4.75	4.13	2.33	1.71	1.71	1.05
流行性耳下腺炎	0.12	0.22	0.16	0.25	0.15	0.22	0.26	0.22	0.21	0.26	0.12	0.18	0.15	0.09	0.09	0.17	0.16	0.16
急性出血性結膜炎	0.00	0.03	0.03	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.34	0.80	0.40	1.03	1.17	0.86	0.89	0.94	0.71	0.46	0.43	1.03	0.89	1.29	0.74	1.00	1.23	1.17
細菌性髄膜炎 ^{*2}	0.07	0.00	0.14	0.00	0.07	0.14	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.07	0.07	0.07	0.00
無菌性髄膜炎	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.00	0.07	0.07	0.07	0.14	0.14	0.00	0.00	0.07	0.07	0.21	0.21	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.57	0.29	0.57	0.29	0.21	0.29	0.36	0.36	0.29	0.21	0.14	0.21	0.43	0.29	0.14	0.71	0.14	0.21
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾 病 名	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	週平均
インフルエンザ ^{*1}	0.01	0.00	0.01	0.06	0.15	0.01	0.06	0.02	0.06	0.18	0.12	0.22	0.32	0.36	0.96	1.45	4.18
RSウイルス感染症	1.09	1.20	1.26	1.35	1.68	1.49	1.47	1.80	1.20	1.64	1.61	1.56	1.53	1.53	1.26	0.62	0.62
咽頭結膜熱	0.44	0.19	0.27	0.25	0.22	0.19	0.12	0.27	0.22	0.39	0.35	0.47	0.49	0.48	0.42	0.35	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	0.40	0.37	0.50	0.62	0.39	0.61	0.73	0.62	0.50	0.67	0.80	0.92	1.09	1.09	0.84	0.85
感染性胃腸炎	3.55	2.99	2.98	3.57	3.43	3.73	4.64	5.50	5.38	7.19	7.60	11.21	12.83	15.98	19.02	14.95	7.69
水痘	0.53	0.42	0.38	0.52	0.71	0.54	0.50	0.91	0.95	1.16	1.30	1.57	1.82	2.04	2.29	1.94	1.10
手足口病	2.49	1.52	1.16	0.91	0.79	0.74	0.61	0.68	0.51	0.51	0.43	0.48	0.33	0.22	0.19	0.08	1.47
伝染性紅斑	0.09	0.05	0.06	0.05	0.09	0.03	0.04	0.05	0.02	0.01	0.05	0.02	0.09	0.05	0.03	0.02	0.05
突発性発しん	0.56	0.43	0.44	0.49	0.57	0.50	0.57	0.30	0.46	0.47	0.52	0.54	0.54	0.45	0.40	0.36	0.50
百日咳	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.02	0.05	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01
ヘルパンギーナ	0.99	0.51	0.33	0.26	0.28	0.13	0.16	0.09	0.12	0.09	0.05	0.02	0.04	0.04	0.03	0.01	0.70
流行性耳下腺炎	0.15	0.16	0.17	0.17	0.16	0.16	0.17	0.16	0.15	0.09	0.09	0.13	0.19	0.09	0.14	0.13	0.14
急性出血性結膜炎	0.06	0.03	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.01
流行性角結膜炎	1.34	0.80	0.54	0.69	0.31	0.43	0.66	0.57	0.40	0.69	0.51	0.43	0.14	0.49	0.26	0.66	0.61
細菌性髄膜炎 ^{*2}	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
無菌性髄膜炎	0.36	0.07	0.00	0.00	0.07	0.07	0.00	0.00	0.14	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.07
マイコプラズマ肺炎	0.57	0.43	0.14	0.43	0.14	0.21	0.07	0.07	0.07	0.36	0.29	0.21	0.43	0.07	0.14	0.14	0.41
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	-	-	-	-	-	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

^{*1}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*2}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。^{*3}平成25年10月14日より追加。

付表2-3 月報対象疾病の月別患者数(平成25年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
性器クラミジア感染症	69	68	88	98	73	73	98	88	62	73	70	52	912
性器ヘルペスウイルス感染症	16	18	24	30	26	20	23	32	26	25	25	23	288
尖圭コンジローマ	10	12	9	13	17	15	17	12	11	19	13	12	160
淋菌感染症	33	26	26	26	23	30	26	49	24	22	36	29	350
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	39	34	33	33	43	46	52	40	38	47	32	38	475
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	15	13	9	18	12	10	9	8	9	13	9	11	136
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	4
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

付表2-4 月報対象疾病の月別定点あたり患者数(平成25年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月平均
性器クラミジア感染症	1.50	1.48	1.91	2.13	1.59	1.59	2.13	1.91	1.35	1.59	1.52	1.13	1.65
性器ヘルペスウイルス感染症	0.35	0.39	0.52	0.65	0.57	0.43	0.50	0.70	0.57	0.54	0.54	0.50	0.52
尖圭コンジローマ	0.22	0.26	0.20	0.28	0.37	0.33	0.37	0.26	0.24	0.41	0.28	0.26	0.29
淋菌感染症	0.72	0.57	0.57	0.57	0.50	0.65	0.57	1.07	0.52	0.48	0.78	0.63	0.63
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.25	2.83	2.75	2.75	3.58	3.83	4.33	3.33	3.17	3.92	2.67	3.17	3.30
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1.25	1.08	0.75	1.50	1.00	0.83	0.75	0.67	0.75	1.08	0.75	0.92	0.94
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.17	0.00	0.00	0.00	0.03
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

付表3-1 週報対象疾病の保健所別患者数(平成25年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
インフルエンザ*1	9690	2952	5583	2230	380	2781	1691	2015	3377	3832
RSウイルス感染症	643	306	665	256	9	130	116	197	459	537
咽頭結膜熱	548	137	334	287	17	347	120	72	90	403
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1080	365	1361	404	50	527	125	153	243	265
感染性胃腸炎	13036	2880	6997	3522	526	3015	1835	2317	2513	4475
水痘	1587	341	1099	358	49	572	397	278	587	622
手足口病	2240	394	1240	507	73	480	444	450	510	914
伝染性紅斑	53	24	35	9	3	22	10	19	7	20
突発性発しん	712	149	505	247	40	217	184	167	247	307
百日咳	2	5	23	2	0	17	4	0	5	5
ヘルパンギーナ	788	254	671	326	16	238	355	136	443	554
流行性耳下腺炎	193	63	105	87	26	63	27	137	69	46
急性出血性結膜炎	12	2	1	0	0	0	1	0	1	0
流行性角結膜炎	143	146	43	19	0	161	47	25	129	307
細菌性髄膜炎*2	5	0	0	3	-	-	-	-	4	0
無菌性髄膜炎	27	0	4	1	-	-	-	-	5	0
マイコプラズマ肺炎	5	0	8	0	-	-	-	-	80	126
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	-	-	-	-	0	8
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
インフルエンザ*1	1602	1223	618	1893	1003	579	1853	43302
RSウイルス感染症	68	136	8	73	16	158	368	4145
咽頭結膜熱	35	65	44	1	12	48	117	2677
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	125	140	34	353	20	147	280	5672
感染性胃腸炎	1777	1740	709	2968	670	482	2142	51604
水痘	138	187	103	456	144	49	386	7353
手足口病	180	167	122	902	362	103	751	9839
伝染性紅斑	3	0	1	10	55	1	41	313
突発性発しん	102	67	27	179	51	24	99	3324
百日咳	10	6	0	3	1	3	0	86
ヘルパンギーナ	261	88	90	157	68	75	173	4693
流行性耳下腺炎	27	31	5	8	17	1	14	919
急性出血性結膜炎	0	-	3	0	-	-	0	20
流行性角結膜炎	47	-	20	8	-	-	9	1104
細菌性髄膜炎*2	0	2	-	5	0	0	0	19
無菌性髄膜炎	0	3	-	1	0	0	0	41
マイコプラズマ肺炎	0	13	-	5	15	6	0	258
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	-	0	0	0	0	8
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	0	0	-	0	0	1	0	1

*1鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。*2インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。*3平成25年10月14日より追加。

付表3-2 週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数(平成25年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
インフルエンザ ^{*1}	201.88	196.80	293.84	159.29	126.67	231.75	187.89	183.18	241.21	294.77
RSウイルス感染症	20.74	30.60	51.15	28.44	4.50	16.25	19.33	28.14	51.00	67.13
咽頭結膜熱	17.68	13.70	25.69	31.89	8.50	43.38	20.00	10.29	10.00	50.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34.84	36.50	104.69	44.89	25.00	65.88	20.83	21.86	27.00	33.13
感染性胃腸炎	420.52	288.00	538.23	391.33	263.00	376.88	305.83	331.00	279.22	559.38
水痘	51.19	34.10	84.54	39.78	24.50	71.50	66.17	39.71	65.22	77.75
手足口病	72.26	39.40	95.38	56.33	36.50	60.00	74.00	64.29	56.67	114.25
伝染性紅斑	1.71	2.40	2.69	1.00	1.50	2.75	1.67	2.71	0.78	2.50
突発性発しん	22.97	14.90	38.85	27.44	20.00	27.13	30.67	23.86	27.44	38.38
百日咳	0.06	0.50	1.77	0.22	0.00	2.13	0.67	0.00	0.56	0.63
ヘルパンギーナ	25.42	25.40	51.62	36.22	8.00	29.75	59.17	19.43	49.22	69.25
流行性耳下腺炎	6.23	6.30	8.08	9.67	13.00	7.88	4.50	19.57	7.67	5.75
急性出血性結膜炎	1.20	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00
流行性角結膜炎	14.30	48.67	14.33	6.33	0.00	80.50	23.50	12.50	43.00	153.50
細菌性髄膜炎 ^{*2}	1.67	0.00	0.00	-	-	-	-	-	4.00	0.00
無菌性髄膜炎	9.00	0.00	4.00	-	-	-	-	-	5.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.67	0.00	8.00	-	-	-	-	-	80.00	126.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	8.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	0.00

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	全県
インフルエンザ ^{*1}	200.25	203.83	309.00	236.63	334.33	96.50	231.63	217.60
RSウイルス感染症	13.60	34.00	8.00	14.60	8.00	39.50	73.60	32.13
咽頭結膜熱	7.00	16.25	44.00	0.20	6.00	12.00	23.40	20.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25.00	35.00	34.00	70.60	10.00	36.75	56.00	43.97
感染性胃腸炎	355.40	435.00	709.00	593.60	335.00	120.50	428.40	400.03
水痘	27.60	46.75	103.00	91.20	72.00	12.25	77.20	57.00
手足口病	36.00	41.75	122.00	180.40	181.00	25.75	150.20	76.27
伝染性紅斑	0.60	0.00	1.00	2.00	27.50	0.25	8.20	2.43
突発性発しん	20.40	16.75	27.00	35.80	25.50	6.00	19.80	25.77
百日咳	2.00	1.50	0.00	0.60	0.50	0.75	0.00	0.67
ヘルパンギーナ	52.20	22.00	90.00	31.40	34.00	18.75	34.60	36.38
流行性耳下腺炎	5.40	7.75	5.00	1.60	8.50	0.25	2.80	7.12
急性出血性結膜炎	0.00	-	3.00	0.00	-	-	0.00	0.57
流行性角結膜炎	47.00	-	20.00	8.00	-	-	9.00	31.54
細菌性髄膜炎 ^{*2}	0.00	2.00	-	5.00	0.00	0.00	0.00	1.58
無菌性髄膜炎	0.00	3.00	-	1.00	0.00	0.00	0.00	3.42
マイコプラズマ肺炎	0.00	13.00	-	5.00	15.00	6.00	0.00	21.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	0.00	0.00	-	0.00	0.00	1.00	0.00	0.08

^{*1}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*2}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。^{*3}平成25年10月14日より追加。

付表3-3 月報対象疾病の保健所別患者数(平成25年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
性器クラミジア感染症	261	110	191	61	21	0	43	43	81	31
性器ヘルペスウイルス感染症	98	28	16	9	3	0	42	13	3	3
尖圭コンジローマ	49	12	45	14	1	4	8	8	7	3
淋菌感染症	104	46	77	22	7	0	12	9	54	6
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	40	71	18	-	-	-	-	7	27
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	99	0	4	0	-	-	-	-	1	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	1	3	0	-	-	-	-	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
性器クラミジア感染症	22	6	14	5	0	15	8	912
性器ヘルペスウイルス感染症	3	6	42	6	0	2	14	288
尖圭コンジローマ	0	0	1	4	0	4	0	160
淋菌感染症	2	1	3	0	4	0	3	350
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	44	53	-	41	6	40	41	475
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	2	-	0	0	9	20	136
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	-	0	0	0	0	4
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	-	0	0	0	0	0

付表3-4 月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数(平成25年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
性器クラミジア感染症	21.75	27.50	47.75	20.33	21.00	0.00	14.33	21.50	20.25	10.33
性器ヘルペスウイルス感染症	8.17	7.00	4.00	3.00	3.00	0.00	14.00	6.50	0.75	1.00
尖圭コンジローマ	4.08	3.00	11.25	4.67	1.00	2.00	2.67	4.00	1.75	1.00
淋菌感染症	8.67	11.50	19.25	7.33	7.00	0.00	4.00	4.50	13.50	2.00
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87.00	40.00	71.00	18.00	-	-	-	-	7.00	27.00
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	99.00	0.00	4.00	0.00	-	-	-	-	1.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	1.00	3.00	0.00	-	-	-	-	0.00	0.00
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	0.00	0.00

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	全県
性器クラミジア感染症	22.00	6.00	14.00	5.00	0.00	15.00	4.00	19.83
性器ヘルペスウイルス感染症	3.00	6.00	42.00	6.00	0.00	2.00	7.00	6.26
尖圭コンジローマ	0.00	0.00	1.00	4.00	0.00	4.00	0.00	3.48
淋菌感染症	2.00	1.00	3.00	0.00	4.00	0.00	1.50	7.61
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	64.00	65.00	-	69.00	71.00	72.00	74.00	39.58
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	44.00	53.00	-	41.00	6.00	40.00	41.00	11.33
薬剤耐性緑膿菌感染症	1.00	2.00	-	0.00	0.00	9.00	20.00	0.33
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

付表4-1 週報対象疾病の年齢階級別患者数(平成25年)

	0-5ヶ月	6-11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	
インフルエンザ*1	152	566	1866	2039	2313	3148	3128	2913	2542	2323	2084	
RSウイルス感染症	782	854	1285	606	295	188	68	27	10	4	4	
咽頭結膜熱	15	158	506	344	328	400	299	194	92	89	55	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	48	244	343	510	795	844	758	486	443	315	
感染性胃腸炎	585	3052	7873	5961	5056	4905	4287	3361	2418	2090	1811	
水痘	110	328	1144	1189	1245	1131	909	506	274	173	126	
手足口病	98	879	3262	2173	1206	845	546	262	135	100	81	
伝染性紅斑	0	24	30	28	38	44	38	30	35	16	16	
突発性発しん	69	1337	1628	225	43	12	4	2	2	1	1	
百日咳	10	7	7	4	4	6	4	7	2	2	3	
ヘルパンギーナ	54	424	1205	947	685	534	355	185	93	68	30	
流行性耳下腺炎	0	4	20	42	96	143	171	127	90	78	53	
急性出血性結膜炎	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
流行性角結膜炎	5	10	65	52	56	38	43	27	21	11	15	
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	
細菌性髄膜炎*2	4	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	
無菌性髄膜炎	11	1	5	2	4	2	1	4	1	2	2	
マイコプラズマ肺炎	3	68	45	17	8	9	6	16	22	11	2	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	4	1	1	0	1	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計		
インフルエンザ*1	7631	2029	2011	2802	2331	1400	991	544	489	43302		
	10-14歳	15-19歳	20歳以上									
RSウイルス感染症	8	0	14									4145
咽頭結膜熱	116	19	62									2677
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	570	52	259									5672
感染性胃腸炎	4339	1059	4807									51604
水痘	182	12	24									7353
手足口病	139	10	103									9839
伝染性紅斑	13	0	1									313
突発性発しん	0	0	0									3324
百日咳	6	0	24									86
ヘルパンギーナ	80	5	28									4693
流行性耳下腺炎	79	7	9									919
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上				
急性出血性結膜炎	0	0	4	4	7	1	1	1	20			
流行性角結膜炎	37	23	114	217	132	76	90	72	1104			
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上							
細菌性髄膜炎*2	2	0	1	1	5	19						
無菌性髄膜炎	1	0	0	1	4	41						
マイコプラズマ肺炎	5	3	7	6	30	258						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	1	8						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)*3	0	0	0	0	0	1						

*1鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。*2インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。*3平成25年10月14日より追加。

付表4-2 週報対象疾病の年齢階級別患者割合(%) (平成25年)

	0-6ヶ月	7-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
インフルエンザ ^{*1}	0.35	1.31	4.31	4.71	5.34	7.27	7.22	6.73	5.87	5.36	4.81
RSウイルス感染症	18.87	20.60	31.00	14.62	7.12	4.54	1.64	0.65	0.24	0.10	0.10
咽頭結膜熱	0.56	5.90	18.90	12.85	12.25	14.94	11.17	7.25	3.44	3.32	2.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.09	0.85	4.30	6.05	8.99	14.02	14.88	13.36	8.57	7.81	5.55
感染性胃腸炎	1.13	5.91	15.26	11.55	9.80	9.51	8.31	6.51	4.69	4.05	3.51
水痘	1.50	4.46	15.56	16.17	16.93	15.38	12.36	6.88	3.73	2.35	1.71
手足口病	1.00	8.93	33.15	22.09	12.26	8.59	5.55	2.66	1.37	1.02	0.82
伝染性紅斑	0.00	7.67	9.58	8.95	12.14	14.06	12.14	9.58	11.18	5.11	5.11
突発性発しん	2.08	40.22	48.98	6.77	1.29	0.36	0.12	0.06	0.06	0.03	0.03
百日咳	11.63	8.14	8.14	4.65	4.65	6.98	4.65	8.14	2.33	2.33	3.49
ヘルパンギーナ	1.15	9.03	25.68	20.18	14.60	11.38	7.56	3.94	1.98	1.45	0.64
流行性耳下腺炎	0.00	0.44	2.18	4.57	10.45	15.56	18.61	13.82	9.79	8.49	5.77
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.45	0.91	5.89	4.71	5.07	3.44	3.89	2.45	1.90	1.00	1.36
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
細菌性髄膜炎 ^{*2}	21.05	0.00	10.53	0.00	5.26	5.26	0.00	5.26	5.26	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	26.83	2.44	12.20	4.88	9.76	4.88	2.44	9.76	2.44	4.88	4.88
マイコプラズマ肺炎	1.16279	26.3566	17.4419	6.58915	3.10078	3.48837	2.32558	6.20155	8.52713	4.26357	0.77519
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	50.00	12.50	12.50	0.00	12.50	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ ^{*1}	17.62	4.69	4.64	6.47	5.38	3.23	2.29	1.26	1.13	100.00	
	10-14歳	15-19歳	20歳以上								
RSウイルス感染症	0.19	0.00	0.34							100.00	
咽頭結膜熱	4.33	0.71	2.32							100.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10.05	0.92	4.57							100.00	
感染性胃腸炎	8.41	2.05	9.32							100.00	
水痘	2.48	0.16	0.33							100.00	
手足口病	1.41	0.10	1.05							100.00	
伝染性紅斑	4.15	0.00	0.32							100.00	
突発性発しん	0.00	0.00	0.00							100.00	
百日咳	6.98	0.00	27.91							100.00	
ヘルパンギーナ	1.70	0.11	0.60							100.00	
流行性耳下腺炎	8.60	0.76	0.98							100.00	
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上			
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	20.00	20.00	35.00	5.00	5.00	5.00		100.00	
流行性角結膜炎	3.35	2.08	10.33	19.66	11.96	6.88	8.15	6.52		100.00	
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上						
細菌性髄膜炎 ^{*2}	10.53	0.00	5.26	5.26	26.32					100.00	
無菌性髄膜炎	2.44	0.00	0.00	2.44	9.76					100.00	
マイコプラズマ肺炎	1.94	1.16	2.71	2.33	11.63					100.00	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	12.50					100.00	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) ^{*3}	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00					100.00	

*1鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *2インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。 *3平成25年10月14日より追加。

付表4-3 月報対象疾病の年齢階級別患者数(平成25年)

疾 病 名	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
性器クラミジア感染症	0	0	0	1	114	241	167	139	93
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	0	0	12	37	28	44	35
尖圭コンジローマ	0	0	0	0	12	19	32	24	19
淋菌感染症	0	0	0	0	46	64	62	52	37
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	15	17	4	2	0	3	5	3	10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	7	0	2	1	0	4	3	5
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾 病 名	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症	66	46	27	8	5	1	4	912
性器ヘルペスウイルス感染症	32	25	18	15	14	6	22	288
尖圭コンジローマ	20	15	5	5	3	5	1	160
淋菌感染症	37	19	14	12	6	0	1	350
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	11	12	19	31	43	298	475
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	2	2	4	12	12	79	136
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	1	0	0	0	3	4
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0

付表4-4 月報対象疾病の年齢階級別患者割合(%) (平成25年)

疾 病 名	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
性器クラミジア感染症	0.00	0.00	0.00	0.11	12.50	26.43	18.31	15.24	10.20
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	4.17	12.85	9.72	15.28	12.15
尖圭コンジローマ	0.00	0.00	0.00	0.00	7.50	11.88	20.00	15.00	11.88
淋菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	13.14	18.29	17.71	14.86	10.57
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.16	3.58	0.84	0.42	0.00	0.63	1.05	0.63	2.11
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1.47	5.15	0.00	1.47	0.74	0.00	2.94	2.21	3.68
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾 病 名	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症	7.24	5.04	2.96	0.88	0.55	0.11	0.44	100.00
性器ヘルペスウイルス感染症	11.11	8.68	6.25	5.21	4.86	2.08	7.64	100.00
尖圭コンジローマ	12.50	9.38	3.13	3.13	1.88	3.13	0.63	100.00
淋菌感染症	10.57	5.43	4.00	3.43	1.71	0.00	0.29	100.00
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.42	2.32	2.53	4.00	6.53	9.05	62.74	100.00
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.74	1.47	1.47	2.94	8.82	8.82	58.09	100.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00	75.00	100.00
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-

付表5 月報対象疾病の性別患者数と割合(%) (平成25年)

疾 病 名	男 (%)		女 (%)		計 (%)	
性器クラミジア感染症	492	(53.95)	420	(46.05)	912	(100.00)
性器ヘルペスウイルス感染症	114	(39.58)	174	(60.42)	288	(100.00)
尖圭コンジローマ	119	(74.38)	41	(25.63)	160	(100.00)
淋菌感染症	302	(86.29)	48	(13.71)	350	(100.00)
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	303	(63.79)	172	(36.21)	475	(100.00)
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	95	(69.85)	41	(30.15)	136	(100.00)
薬剤耐性緑膿菌感染症	3	(75.00)	1	(25.00)	4	(100.00)
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	-	0	-	0	-

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

第1 目的

感染症対策については、近年の新たな感染症の出現とともに、これまで制圧されてきた感染症の再興など感染症の脅威と感染症を取り巻く状況の変化に対応するため、健康危機管理の観点から、迅速かつ的確な対応、感染症の発生、拡大に備えた事前対応型の行政の構築などを柱として、平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）が施行された。

感染症発生動向調査事業は、感染症に関する情報を収集及び分析し、地域住民や医師等医療関係者に対して感染症に関する情報を公表していくという、感染症の予防のための施策の最も基本的な事業である。

本事業は、兵庫県内の感染症の発生情報の正確な把握と分析、その情報を速やかに地域に公表することにより、地域住民の感染症に対する理解と協力を促すとともに、医療機関における適切な初期診療を推進し、予防接種、衛生教育など適切な予防措置などを講じることにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として実施する。

第2 法令等の遵守

本事業の実施にあたっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、「国要綱」という。）を遵守する。

第3 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施主体

実施主体は、兵庫県、姫路市、尼崎市及び西宮市とする。

第5 実施体制

1 兵庫県感染症情報センター及び兵庫県基幹地方感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターを兵庫県立健康生活科学研究所（以下、「県立研究所」という。）内に設置し、兵庫県における基幹感染症情報センターとしての役割を併せ持ち、神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市と連携のうえ兵庫県における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課（以下、「県疾病対策課」という。）に報告するとともに、全国情報と併せて、これらをインターネット等により速やかに情報公開する。

なお、兵庫県感染症情報センターは公表する情報の収集、分析の効果的、効率的な運用を図るため、必要に応じて兵庫県健康づくり審議会感染症対策専門委員会の助言を求める。

2 指定届出機関（定点）

兵庫県（神戸市内を除く）は、定点把握対象の五類感染症について、患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集するため、患者定点、疑似症定点及び病原体定点をあらかじめ選定する。

第6 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 保健所

(ア) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）第12条に基づく医師からの届出、または法第13条に基づく獣医師からの届出を受けた兵庫県健康福祉事務所、姫路市保健所、尼崎市保健所及び西宮市保健所（以下、「健康福祉事務所・保健所」という。）は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、健康福祉事務所・保健所は、当該患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の確保について、協力依頼するものとする。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

イ 地方衛生研究所

(ア) 県立研究所、姫路市環境衛生研究所、尼崎市立衛生研究所又は西宮市保健所（以下、「地方衛生研究所」という。）は、検体又は病原体情報が送付された場合にあつては、当該検体を検査し、その結果を健康福祉事務所・保健所及び県疾病対策課に送付するとともに、健康福祉事務所・保健所を經由して診断した医師に通知する。

(イ) 検査のうち、姫路市環境衛生研究所、尼崎市立衛生研究所又は西宮市保健所において実施することが困難なものについては、必要に応じて県立研究所に検査を依頼する。

なお、県立研究所においても実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所において検査を依頼する。

ウ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、関係機関に情報提供する。

エ 県疾病対策課

県疾病対策課は、健康福祉事務所・保健所から患者情報の入力があり次第、登録情報を確認し、報告処理を行う。

2 全数把握対象の五類感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 保健所

(ア) 1 (1) アの(ア)の届出を受けた健康福祉事務所・保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、健康福祉事務所・保健所は、別表1の(61)、(63)、(65)、(66)、(67)、(70)、(72)、(74)、(75)、(76)、(77)又は(78)の患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の確保等について協力依頼するものとする。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

イ 地方衛生研究所

(ア) 地方衛生研究所は、検体又は病原体情報が送付された場合にあつては、当該検体を検査し、その結果を健康福祉事務所・保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、健康福祉事務所・保健所及び県疾病対策課に送付する。

(イ) 検査のうち、姫路市環境衛生研究所、尼崎市立衛生研究所又は西宮市保健所において実施することが困難なものについては、必要に応じて県立研究所に検査を依頼する。

なお、県立研究所においても実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所において検査を依頼する。

ウ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、関係機関に情報提供する。

エ 県疾病対策課

県疾病対策課は、健康福祉事務所・保健所から患者情報の入力があり次第、登録情報を確認し、報告処理を行う。

3 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 患者定点

感染症法第14条に定める定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、兵庫県（神戸市を除く）は次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、

定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ兵庫県全体（神戸市を除く）の感染症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

(ア) 小児科定点

対象感染症のうち、別表1の(79)から(89)までに掲げるものについては、小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定すること。小児科定点の数は国要綱に基づき算定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力するよう努めること。

(イ) インフルエンザ定点

対象感染症のうち、別表1の(90)に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。）については、前記（ア）で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とすること。内科定点の数は国要綱に基づき算定する。

(ウ) 眼科定点

対象感染症のうち、別表1の(91)及び(92)に掲げるものについては、眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定すること。眼科定点の数は国要綱に基づき算定する。

(エ) 性感染症定点

対象感染症のうち、別表1の(93)から(96)に掲げるものについては、産婦人科若しくは産科若しくは婦人科（産婦人科系）、性病科又は泌尿器科若しくは皮膚科若しくは皮膚泌尿器科（泌尿器科・皮膚科系）を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。性感染症定点の数は国要綱に基づき算定する。

(オ) 基幹定点

対象感染症のうち、別表1の(82)のうち病原体がロタウイルスであるもの及び(97)から(104)までに掲げるものについては、対象患者がほとんど入院患者であるため、患者を300人以上収容する施設を有する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を2次医療圏域毎に1カ所以上、基幹定点として指定する。

なお、基幹定点においては、別表1の(90)に掲げるインフルエンザのうち、入院患者も届出対象とする。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、兵庫県は患者定点として選定された医療機関の中から病原体定点を選定する。なお、病原体定点の数等については、次の基準の範囲内で、県立研究所と協議して決定する。

(ア) アの（ア）により選定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とする。

- (イ) アの(ア)及び(イ)により選定された患者定点の概ね10%をインフルエンザ病原体定点とする。
 - (ウ) アの(ウ)により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定する。
 - (エ) アの(エ)により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定する。
 - (オ) アの(オ)により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定する。
- (3) 調査単位等
調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。
- (4) 実施方法
- ア 患者定点
 - (ア) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。
 - (イ) (2)のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。
 - (ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。
 - イ 病原体定点
 - (ア) 病原体定点として選定された医療機関は、別途定める「病原体検査指針」により、微生物学的検査のために検体を採取する。
 - (イ) 病原体定点で採取された検体は、「病原体検査指針」に基づき、検体等を梱包のうえ県立研究所へ送付する。
 - ウ 健康福祉事務所・保健所
 - (ア) 健康福祉事務所・保健所は、原則として、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力する。
また、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、県疾病対策課に報告する。
 - (イ) 健康福祉事務所・保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況を提供し連携を図る。
 - エ 県立研究所
 - (ア) 県立研究所は、別記様式の検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を病原体情報として病原体定点に通知するとともに、定点を管轄する健康福祉事務所・保健所及び県疾病対策課に送付する。
 - (イ) 県立研究所において実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
 - (ウ) 県立研究所は、兵庫県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合

にあつては、検体を国立感染症研究所に送付する。

オ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、インターネット等による公表のほか、県疾病対策課等関係機関に情報提供する。

カ 県疾病対策課

健康福祉事務所・保健所からの週報又は月報の入力状況を確認し、国への報告処理を行う。

4 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の選定

(ア) 第一号疑似症定点

対象感染症のうち、別表1の(108)に掲げるものについては、内科又は小児科を標榜する医療機関（主として内科又は小児科医療を提供しているもの）を第一号疑似症定点とする。なお、小児科定点又はインフルエンザ定点を兼ねることができる。

(イ) 第二号疑似症定点

対象感染症のうち、別表1の(109)に掲げるものについては、内科、小児科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として内科又は小児科医療を提供しているもの）を第二号疑似症定点とする。ただし、当面の間は第一号疑似症定点を第二号疑似症定点として選定する。

(3) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時において、届出基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2) のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、直ちに別記様式7-7に記載する。なお、当該疑似症の届出については、原則として症候群サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。

(ウ) (イ) の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 保健所

(ア) 健康福祉事務所・保健所は、疑似症定点における症候群サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合、当該疑似症定点から得

られた疑似症情報を、直ちに、症候群サーベイランスシステムに入力するものとする。また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、県疾病対策課に報告する。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

ウ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての疑似症情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、関係機関に情報公開する。

エ 県疾病対策課

健康福祉事務所・保健所からの入力状況を確認する。

5 その他

- (1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、兵庫県の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査を構築していくこととする。
- (2) 本実施要領に定める事項以外の内容については、姫路市、尼崎市及び西宮市の意見を聞きながら、必要に応じて県健康福祉部健康局長が定めることとする。

6 神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市との関係

兵庫県は、本事業を実施するため神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市と協議し、連携を図る。

附 則

- 1 この実施要領は、平成 22 年 9 月 1 日から施行する。
- 2 兵庫県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱（昭和 62 年 1 月 1 日施行）は廃止する。
- 3 この実施要領の一部改正は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。
- 4 この実施要領の一部改正は、平成 23 年 9 月 5 日から施行する。
- 5 この実施要領の一部改正は、平成 25 年 3 月 4 日から施行する。
- 6 この実施要領の一部改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 7 この実施要領の一部改正は、平成 25 年 10 月 14 日から施行する。

別表1 兵庫県感染症発生動向調査事業の対象感染症

類型	疾患名	届出
一類	(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱	全数
二類	(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、(12)鳥インフルエンザ (H5N1)	全数
三類	(13)コレラ、(14)細菌性赤痢、(15)腸管出血性大腸菌感染症、(16)腸チフス、(17)パラチフス	全数
四類	(18)E 型肝炎、(19)ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、(20)A 型肝炎、(21)エキノコックス症、(22)黄熱、(23)オウム病、(24)オムスク出血熱、(25)回帰熱、(26)キャサナル森林病、(27)Q 熱、(28)狂犬病、(29)コクシジオイデス症、(30)サル痘、(31)重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、(32)腎症候性出血熱 (HFRS)、(33)西部ウマ脳炎、(34)ダニ媒介脳炎、(35)炭疽、(36)チクングニア熱、(37)つつが虫病、(38)デング熱、(39)東部ウマ脳炎、(40)鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く。）、(41)ニパウイルス感染症、(42)日本紅斑熱、(43)日本脳炎、(44)ハンタウイルス肺症候群(HPS)、(45)B ウイルス病、(46)鼻疽、(47)ブルセラ症、(48)ベネズエラウマ脳炎、(49)ヘンドラウイルス感染症、(50)発しんチフス、(51)ボツリヌス症、(52)マラリア、(53)野兎病、(54)ライム病、(55)リッサウイルス感染症、(56)リフトバレー熱、(57)類鼻疽、(58)レジオネラ症、(59)レプトスピラ症、(60)ロッキー山紅斑熱	全数
五類	(61)アメーバ赤痢、(62)ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く。）、(63)急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、(64)クリプトスポリジウム症、(65)クロイツフェルト・ヤコブ病、(66)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(67)後天性免疫不全症候群、(68)ジアルジア症、(69)侵襲性インフルエンザ菌感染症、(70)侵襲性髄膜炎菌感染症、(71)侵襲性肺炎球菌感染症、(72)先天性風しん症候群、(73)梅毒、(74)破傷風、(75)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(76)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(77)風しん、(78)麻しん	全数
	(79)RS ウイルス感染症、(80)咽頭結膜熱、(81)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(82)感染性胃腸炎、(83)水痘、(84)手足口病、(85)伝染性紅斑、(86)突発性発しん、(87)百日咳、(88)ヘルパンギーナ、(89)流行性耳下腺炎、(90)インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、(91)急性出血性結膜炎、(92)流行性角結膜炎、(93)性器クラミジア感染症、(94)性器ヘルペスウイルス感染症、(95)尖圭コンジローマ、(96)淋菌感染症、(97)クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(98)細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、(99)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(100)マイコプラズマ肺炎、(101)無菌性髄膜炎、(102)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(103)薬剤耐性アシネトバクター感染症、(104)薬剤耐性緑膿菌感染症	定点
疑似症	法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (108)摂氏 38 度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）、(109)発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該感染症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。）	定点
新型インフルエンザ等感染症	(105)新型インフルエンザ、(106)再興型インフルエンザ	全数
指定感染症	(107)鳥インフルエンザ (H7N9)	全数

別表2 定点把握対象の五類感染症の調査単位

定点種類	対象疾患	調査単位
小児科定点	(79)RSウイルス感染症、(80)咽頭結膜熱、(81)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(82)感染性胃腸炎、(83)水痘、(84)手足口病、(85)伝染性紅斑、(86)突発性発しん、(87)百日咳、(88)ヘルパンギーナ、(89)流行性耳下腺炎	1週間(月曜日から日曜日)
インフルエンザ定点	(90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	1週間(月曜日から日曜日)
眼科定点	(91)急性出血性結膜炎、(92)流行性角結膜炎	1週間(月曜日から日曜日)
性感染症定点	(93)性器クラミジア感染症、(94)性器ヘルペスウイルス感染症、(95)尖圭コンジローマ、(96)淋菌感染症	各月
基幹定点	(90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。) ※ただし、入院患者に限定する。	1週間(月曜日から日曜日)
	(82)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(97)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(98)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)、(100)マイコプラズマ肺炎、(101)無菌性髄膜炎	
	(99)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(102)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(103)薬剤耐性アシネトバクター感染症、(104)薬剤耐性緑膿菌感染症	各月